

浅草未来図案

まちづくりビジョン

資料編

(最終案)

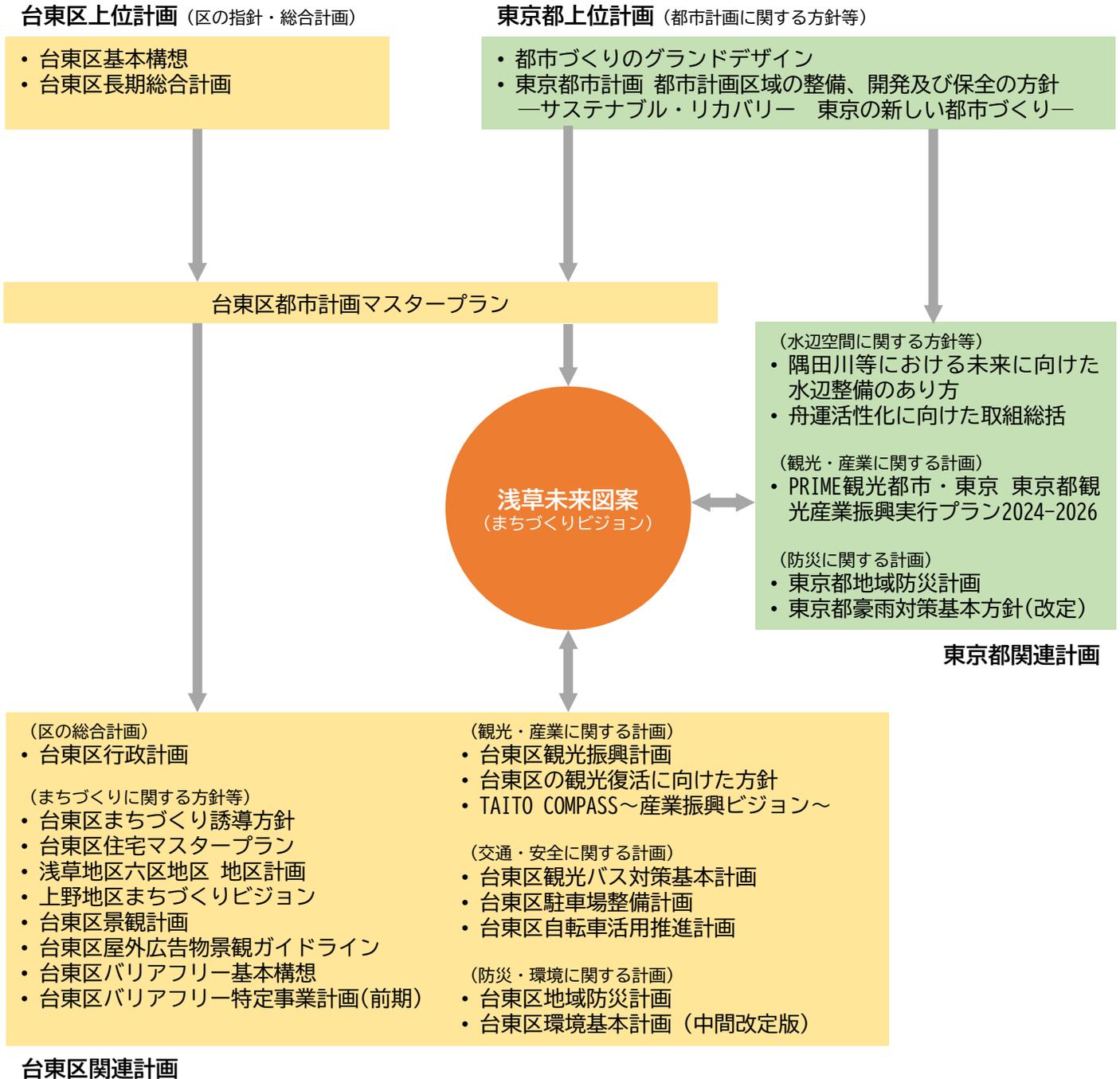
【目次】

1. 上位計画・関連計画との関係性	1
2. 現況整理編	3
3. ビジョンの構成	47
4. 地域・部会員から挙げた意見	48
5. 委員会・部会の開催経緯	58

1. 上位計画・関連計画との関係性

(1) 浅草未来図案（まちづくりビジョン）の位置づけについて

東京都及び本区における上位計画・関連計画との関係を踏まえた、浅草未来図案（以下「本図案」という。）の位置づけは以下のようになります。



1. 上位計画・関連計画との関係性

(2) 浅草地域まちづくり総合ビジョン（平成19年6月策定）の概要と進捗

本図案の検討にあたり、平成19年に策定した浅草地域まちづくり総合ビジョンの概要と進捗を整理しました。状況は、以下に示す通りです。

「完了」プロジェクト
(計：5プロジェクト)

- ⑧浅草文化観光センター改築
- ⑭街並み景観整備
- ⑯浅草通りシンボルロード整備
- ⑰かっぱ橋本通り整備
- ⑳水上バス乗り場建替えは完了しています。

「未了」プロジェクト
(計：2プロジェクト)

- ①駅の結節機能及び駅周辺を含めた整備
 - ⑫都市機能再生整備ゾーン街並み整備
- は未了であり、鉄道事業者との協議状況を踏まえた検討が必要です。

「継続」プロジェクト
(計：15プロジェクト)

左記以外のプロジェクトは、継続して実施していきます。

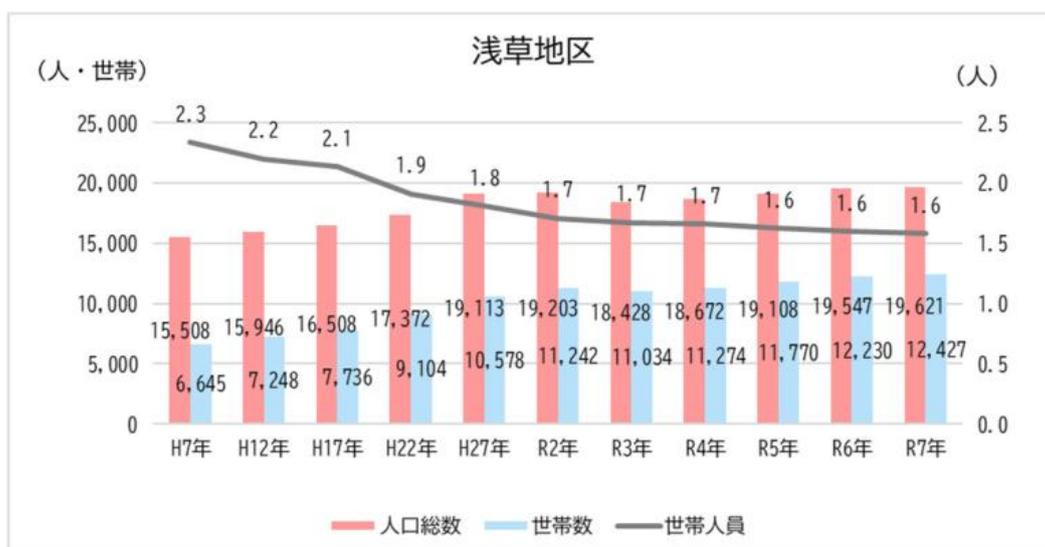
		進捗状況	評価	備考
アクセス環境充実プロジェクト	1 交通結節点の再整備	①駅の結節機能及び駅周辺を含めた整備	未了	浅草駅周辺を含めた整備は、鉄道事業者等との協議が必要
	2 ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進	②地域全体のバリアフリー化<優先>	継続	バリアフリー基本構想の改定を踏まえながら、バリアフリー施策を一層推進
		③浅草各駅周辺・地域内の案内強化	継続	情報の更新など、誰もがわかりやすい観光案内板として維持・管理
	3 「伝統のまち」と「新しいまち」の連携強化	④交通網の拡充 ⑤交通システムの新設<シャトルバス等><優先>	継続	新たな交通手段も含め検討
	4 新たな舟運ルートの整備	⑥新たな舟運ルート整備	継続	東京都の「水辺空間活用(舟運)ワーキンググループ」(H27.8-)の内容も踏まえながら検討
5 観光バス乗降・待機システムの構築	⑦観光バス乗降・待機システムの構築	継続	観光バスの乗降台数の推移や駐車場・乗降場の需要予測などを踏まえ、適切な運用を検討	
賑わい創出プロジェクト	6 文化観光資源の育成・創出と情報発信の強化	⑧浅草文化観光センター改築<優先>	完了	—
		⑨観光情報発信力強化<優先>	継続	継続して実施
	7 にぎわいを誘導する街並み整備の誘導・推進	⑩芸術文化の支援育成、生活文化の保存等	継続	継続して実施
		⑪六区興行街地区整備	継続	エリアマネジメント団体等と協働し、にぎわいを誘導
	8 街並み整備と連動した歩行空間の整備	⑫都市機能再生整備ゾーン街並み整備	未了	浅草駅周辺を含めた整備は、鉄道事業者等との協議が必要
		⑬街並み整備	継続	ガイドラインの適切な運用を継続
	9 浅草と上野を結ぶブロード整備	⑭街並み景観整備<カラータン等><優先>	完了	要望があれば随時実施
		⑮道路事業	継続	快適な歩行空間を検討
	10 安心・安全まちづくりの充実	⑯浅草通りシンボルロード整備<優先>	完了	—
		⑰かっぱ橋本通り整備	完了	街並み景観整備は、要望があれば随時実施 「かっぱ橋本通り(西浅草)」以外の電線類地中化については、整備の検討が必要
水辺活性化プロジェクト	11 水辺の散策ルートづくり	⑱観水テラス延伸<優先>	継続	観水テラス延伸については完了 まちから水辺への誘導施策等を検討
	12 水上交通拠点の整備	⑲水上バス乗り場建替え<優先>	完了	—
		⑳-2 新船着場整備等	継続	事業者に対する周知等により、定期船・不定期船の利用を促進
	13 川並み景観づくりへの誘導	㉑川並みの景観形成	継続	適正な運用を継続 まちづくりの進捗や建物の更新にあわせてスパー堤防整備を検討
14 緑と水辺を活かす隅田公園づくり	㉒隅田公園整備・各種イベント開催	継続	隅田公園の魅力向上に向けた取組みを検討	

2. 現況整理編

(1) 人口・観光客の推移

① 浅草地区の人口の推移

- 台東区全域、浅草地区ともに人口総数及び世帯数は増加傾向にあります。



出典 平成7年～令和2年：国勢調査、令和3年以降：台東区住民基本台帳（各年の1月1日時点を参照）

※浅草地区：浅草1,2,3,4,6,7丁目、雷門1,2丁目、花川戸1,2丁目の数値を使用

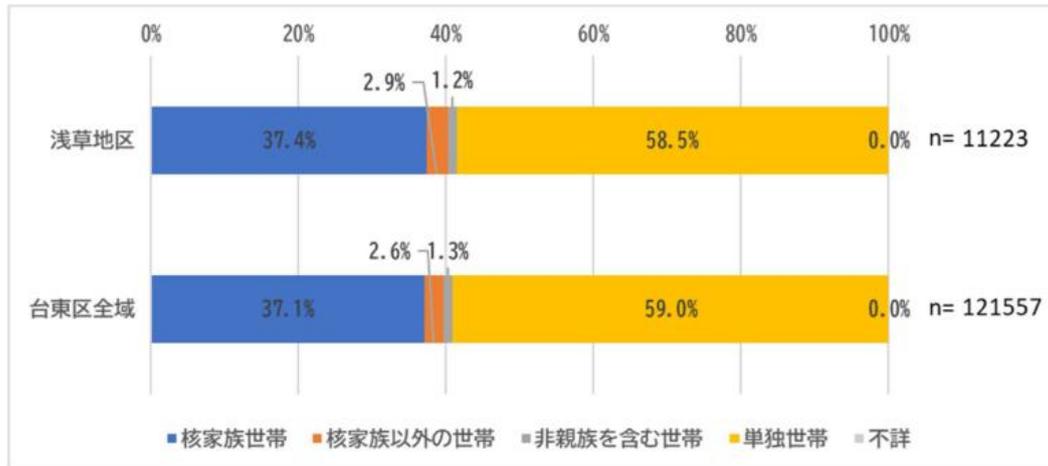
※令和3年以降は住民基本台帳の数値を使用しているため、令和2年度までの推移と傾向が不連続になる部分がある

2. 現況整理編

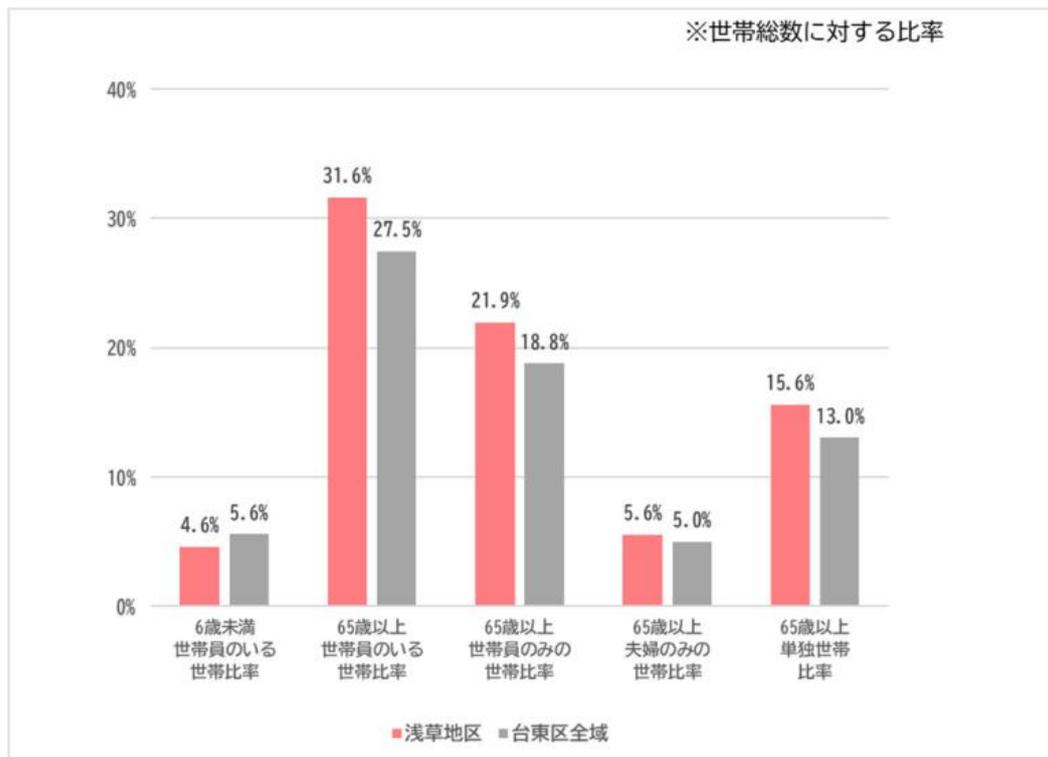
(1) 人口・観光客の推移

② 浅草地区の世帯構成・世帯比率

- 単独世帯が半数以上を占めています。
- 65歳以上世帯員のみの世帯が20%強、65歳以上の単独世帯が15%強を占めています。



世帯類型別構成



子育て世帯・高齢者世帯比率

出典 令和2年：国勢調査

※浅草地区：浅草1, 2, 3, 4, 6, 7丁目、雷門1, 2丁目、花川戸1, 2丁目の数値を使用

2. 現況整理編

(1) 人口・観光客の推移

③ 浅草地区の昼間人口・夜間人口

- 昼間人口は平成22年まで減少傾向、その後増加傾向に転じ、夜間人口は増加傾向となっていますが、総じて昼夜間人口比率は減少しています。

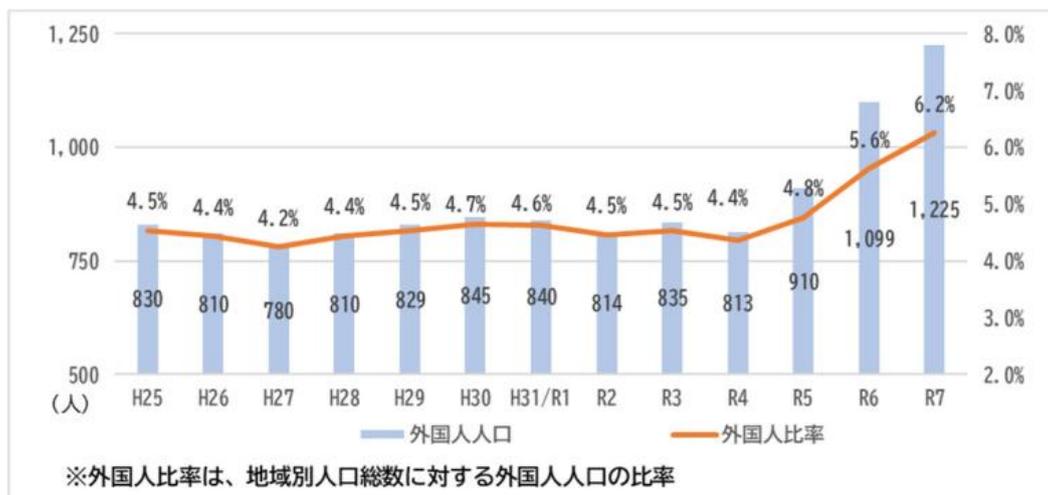


出典 平成7年～令和2年：国勢調査

※浅草地区：浅草1, 2, 3, 4, 6, 7丁目、雷門1, 2丁目、花川戸1, 2丁目の数値を使用

④ 浅草地区の外国人人口

- 外国人人口比率は、地域内の人口総数の概ね4～5%程度で横ばいで推移してきましたが、近年になって外国人人口が増加し、人口比率としても増加傾向となっています。



出典 平成25年～令和7年：台東区住民基本台帳

※浅草地区：浅草1, 2, 3, 4, 6, 7丁目、雷門1, 2丁目、花川戸1, 2丁目の数値を使用

2. 現況整理編

(2) 土地利用・建物利用現況

① 浅草地区の土地利用現況・建物利用現況（令和3年）

- 浅草寺をはじめとする大規模な教育文化施設が点在しており、東側は隅田川や隅田公園の用地が広がっています。
- 浅草寺の南側や西側を中心に、商業系用地が多くみられます。



土地利用現況



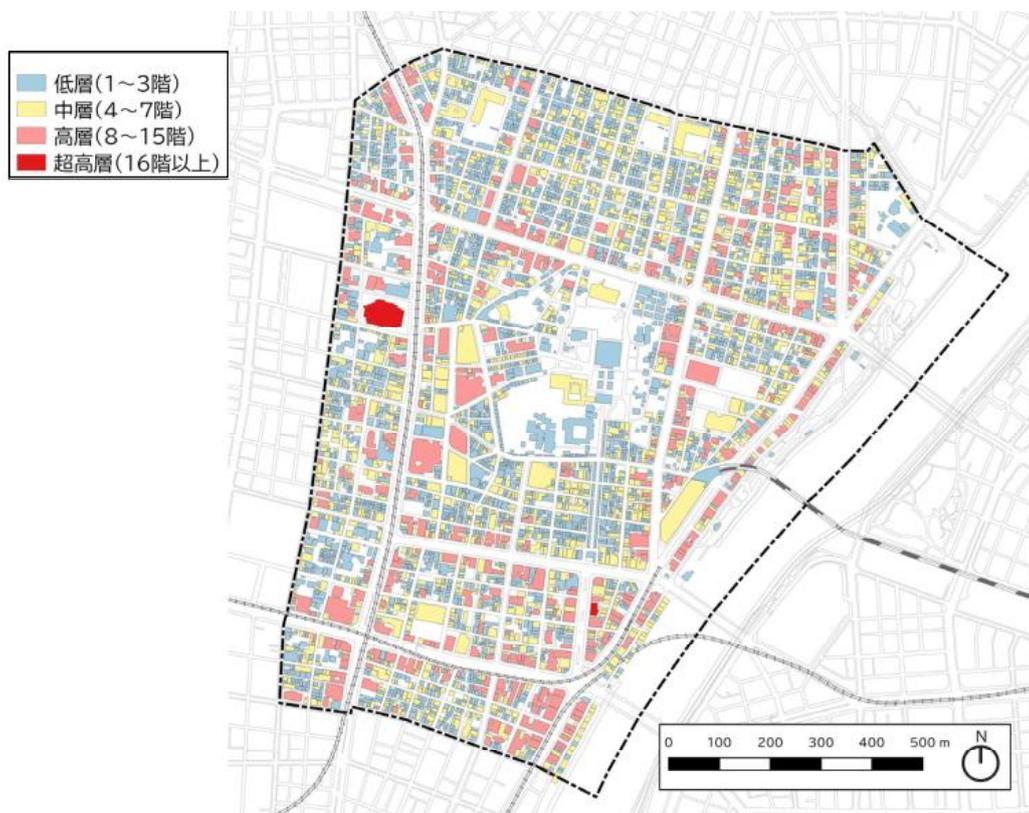
建物利用現況

2. 現況整理編

(2) 土地利用・建物利用現況

② 浅草地区の建物地上階数（令和3年）

- 幹線道路沿いに8階建て以上の建物が多く立地しています。



浅草地区の建物地上階数の状況

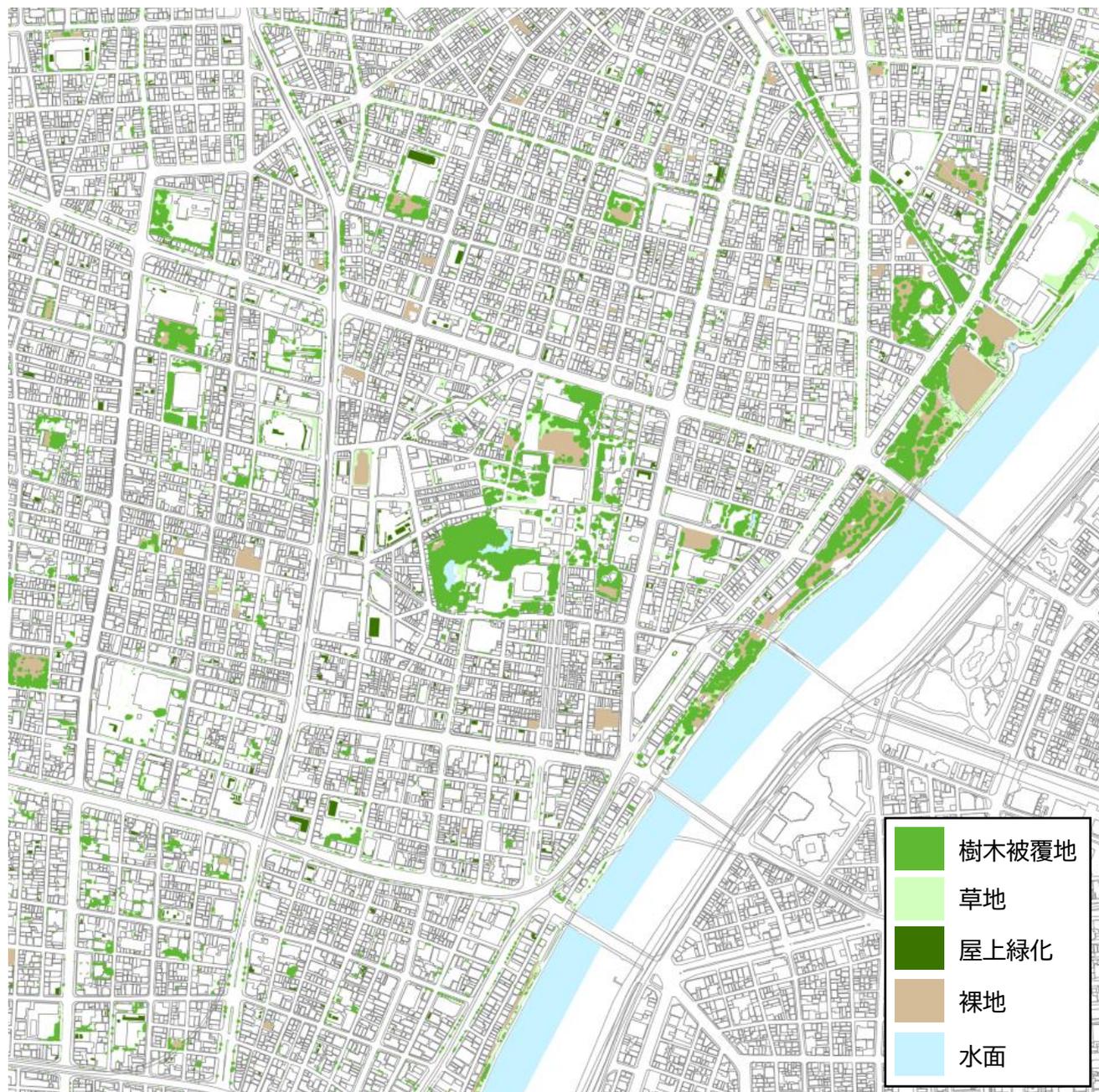
出典 東京都土地利用現況調査（令和3年）

2. 現況整理編

(2) 土地利用・建物利用現況

③ 緑被状況の確認（平成31年）

- 緑被地は隅田公園・待乳山聖天・浅草寺周辺に集中しており、市街地の緑は限られている状況です。



出典 台東区緑の実態調査報告書（平成31年3月）

2. 現況整理編

(3) 浅草地区の事業所数・従業者数

①事業所数及び従業者数

- 事業所数は3,000件程度、従業者数は20,000人程度で推移していますが、近年は減少傾向となっており、コロナ禍であった令和3年にはその傾向が大きくなっています。

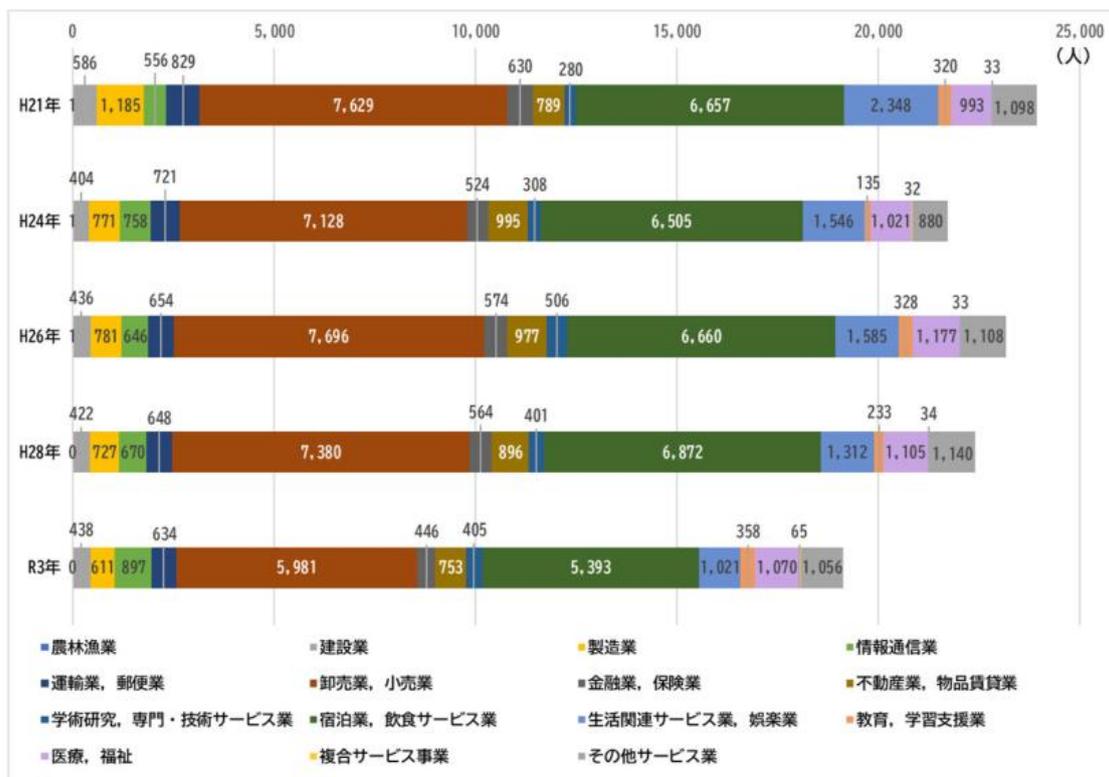


出典 経済センサス-活動調査

※浅草地区：浅草1,2,3,4,6,7丁目、雷門1,2丁目、花川戸1,2丁目の数値を使用

②産業別従業者数

- 従業者は、卸売業・小売業と宿泊業・飲食サービス業が多くを占めていますが、コロナ禍を経て大きく減少しています。



出典 経済センサス-活動調査

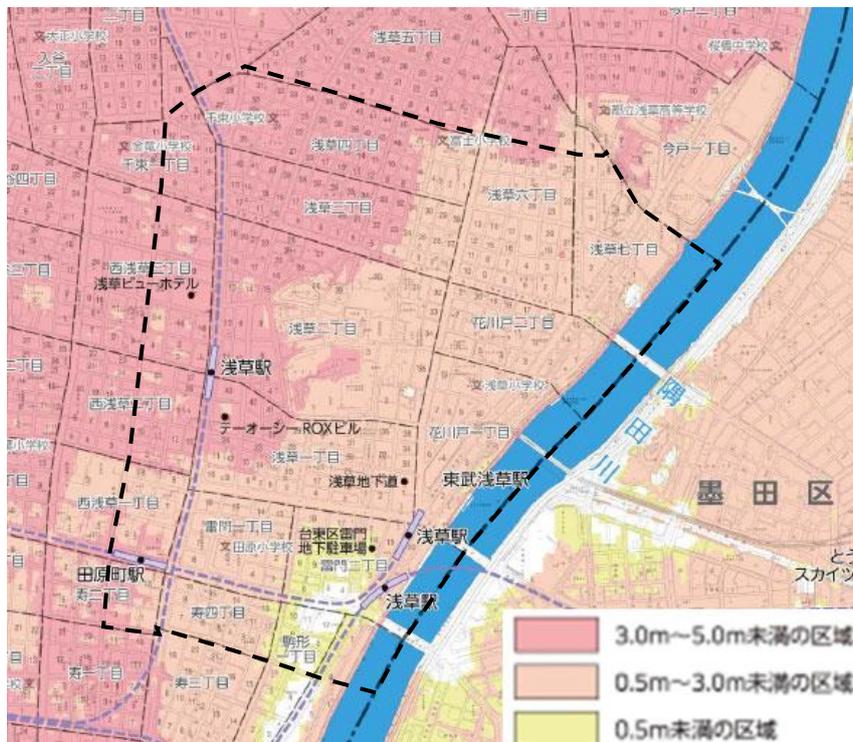
※浅草地区：浅草1,2,3,4,6,7丁目、雷門1,2丁目、花川戸1,2丁目の数値を使用

2. 現況整理編

(4) 浅草地区の防災

① 荒川水害ハザードマップ

- 東側では0.5m~3.0m、西側では3.0m~5.0mの浸水が予想されています。



出典 台東区荒川水害ハザードマップ（令和3年1月）を基に作成

② 帰宅困難者用支援施設位置図

- 帰宅困難者の一時滞在候補施設として、浅草文化観光センター、台東区民会館、浅草公会堂、雷門地下駐車場、台東都税事務所が挙げられますが、観光客等の不特定多数の帰宅困難者の受け入れとしてさらなる充実が求められています。



出典 台東区帰宅困難者用支援施設マップ（令和2年1月）を基に作成

2. 現況整理編

(5) 観光客の来訪状況

①延べ観光客数と浅草地区の1人あたりの平均消費額（平成28年/平成26年（※））

- 延べ観光客数は増加傾向にありますが、飲食・買物・入場料等のいずれも1人当たりの平均消費額は減少傾向となっています。

延べ観光客数(平成26～28年/単位：万人)

	平成28年	平成26年	差
浅草地区	3,230	3,050	180
上野地区	2,726	2,592	134
谷中地区	291	223	68
浅草橋地区	154	150	4

浅草地区の1人当たりの平均消費額(平成26～28年/単位：円/人)

	平成28年	平成26年	差
飲食	1,521	1,732	-211
買物	1,351	1,667	-316
入場料等	86	354	-268
その他	9	105	-96
計	2,967	3,858	-891

出典 台東区観光統計・マーケティング調査（平成26年・28年）

②平均滞在時間（平成28年/平成26年（※））

- 平均滞在時間は、上野地区や浅草橋地区は増加傾向にあるのに対し、浅草地区は減少傾向となっています。

平均滞在時間(平成26～28年)

	平成28年	平成26年	差
浅草地区	2時間10分	3時間00分	-50分
上野地区	4時間00分	3時間30分	+30分
谷中地区	2時間00分	2時間30分	-30分
浅草橋地区	2時間00分	1時間22分	+38分

出典 台東区観光統計・マーケティング調査（平成26年・28年）

（※）調査時点以降、当該データ取得なし

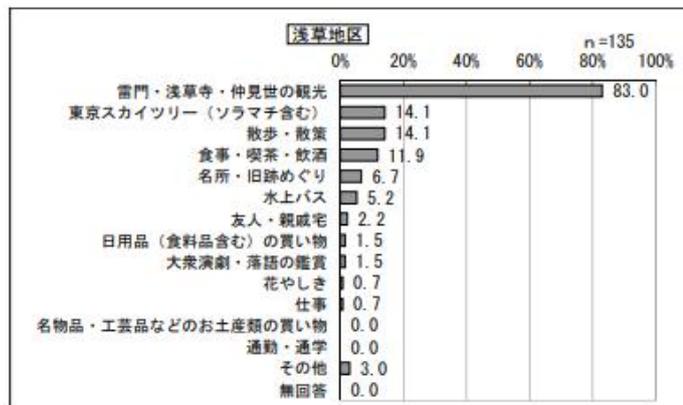
2. 現況整理編

(5) 観光客の来訪状況

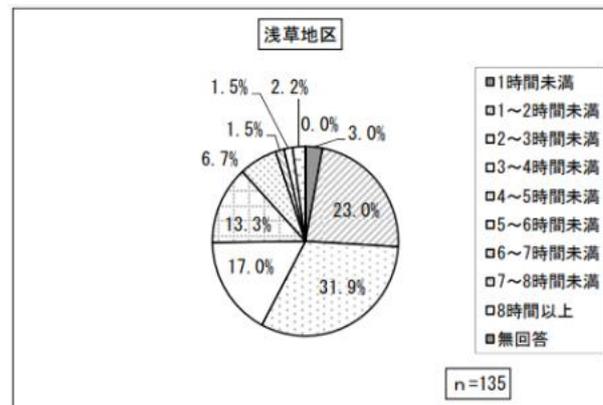
③ 浅草地区の来訪目的・滞在時間（平成28年（※））

- 雷門・浅草寺・仲見世の観光を目的とする方の割合が特に高くなっています。
- 滞在時間は、「1～2時間未満」と「2～3時間未満」であわせて5割以上を占めています。

浅草地区の来訪目的(平成28年)



浅草地区の滞在時間(平成28年)

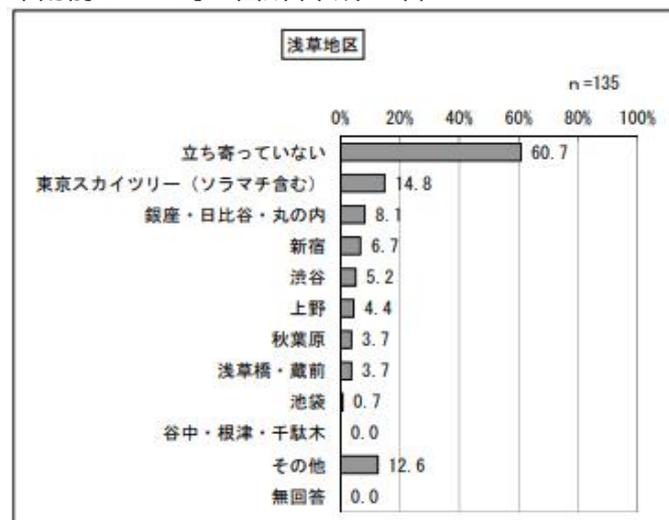


出典 台東区観光統計・マーケティング調査（平成28年）

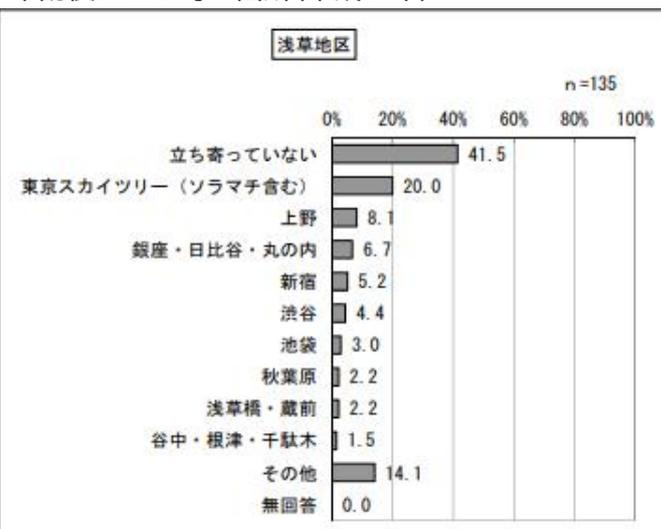
④ 浅草来訪前・来訪後の立ち寄り場所（平成28年（※））

- 浅草地区の来訪前後とも「立ち寄っていない」が多くを占めています。立ち寄りがある中では、「東京スカイツリー（ソラマチ含む）」が最も多くなっています。

来訪前の立ち寄り箇所(平成28年)



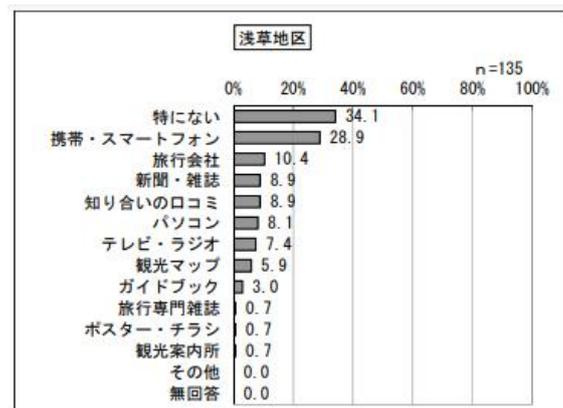
来訪後の立ち寄り箇所(平成28年)



出典 台東区観光統計・マーケティング調査（平成28年）

⑤ 浅草地区の情報入手先（平成28年（※））

- 事前に情報収集している場合は、「携帯・スマートフォン」での入手が最も多くなっています。



出典 台東区観光統計・マーケティング調査（平成28年）

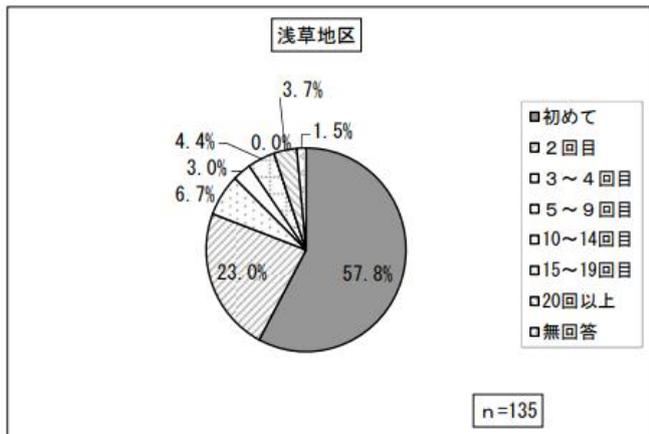
(※) 調査時点以降、当該データ取得なし

2. 現況整理編

(5) 観光客の来訪状況

⑥ 浅草地区の来訪回数（平成28年（※））

- 来訪回数は、「初めて」の回答が6割弱となっています。



出典 台東区観光統計・マーケティング調査（平成28年）（※）調査時点以降、当該データ取得なし

⑦ 観光バス利用台数—公共観光バス駐車場利用実績・観光バス乗降場利用実績（平成30年-令和6年）

- 駐車場、乗降場ともにコロナ禍には利用台数が大きく落ち込みましたが、令和3年度以降は微増の傾向が見られ、近年に入ってコロナ禍前の傾向に戻りつつあります。

公共観光バス駐車場の利用実績（平成30年～令和6年） 観光バス乗降場の利用実績（平成30年～令和6年）



出典

公共観光バス駐車場：台東区行政資料集 令和7年度版

※台東区民会館駐車場、今戸駐車場（令和3年度は休止）、清川駐車場（令和2年9月1日から令和3年2月28日まで休止）の合計値

観光バス乗降場：台東区駐車場利用実績資料

※乗車場：二天門乗車場、東武浅草駅乗車場の合計値

降車場：雷門通り降車場、国際通り降車場（令和3年度集計なし）、言問通り降車場の合計値

2. 現況整理編

(6) 来訪者の意向

- 令和4年度に、浅草地区に来訪したことがある方を対象に来訪者webアンケート調査を実施し、来訪者の傾向や意向を把握しました。

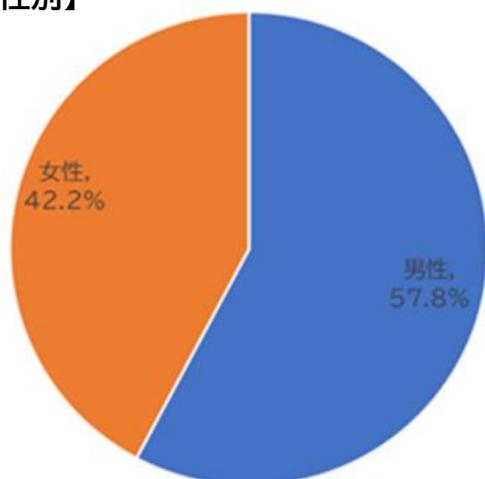
調査概要

目的	浅草地区への来訪実態や観光動向、まちづくりの考え等を把握する
方法	携帯キャリアによるweb形式アンケート ※NTTコミュニケーションズ株式会社のキャリア利用
時期	令和4年11月7日
対象	過去2年間に浅草地区周辺に来訪実績がある方（有効回答数：1,327件） ※浅草地区内の居住者は除く、外国人は調査対象外

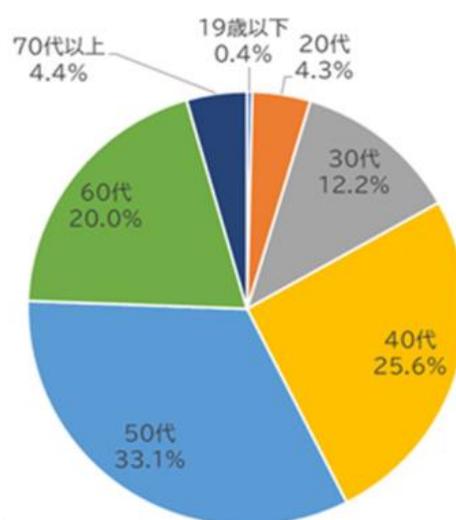
回答者の属性

- 性別：男性がやや多いものの、大きな偏りはありません。
- 年代：40代～60代が多く、50代が最多となっています。
- 居住地：都内居住者が約4割、関東居住者も含めると8割以上となっています。

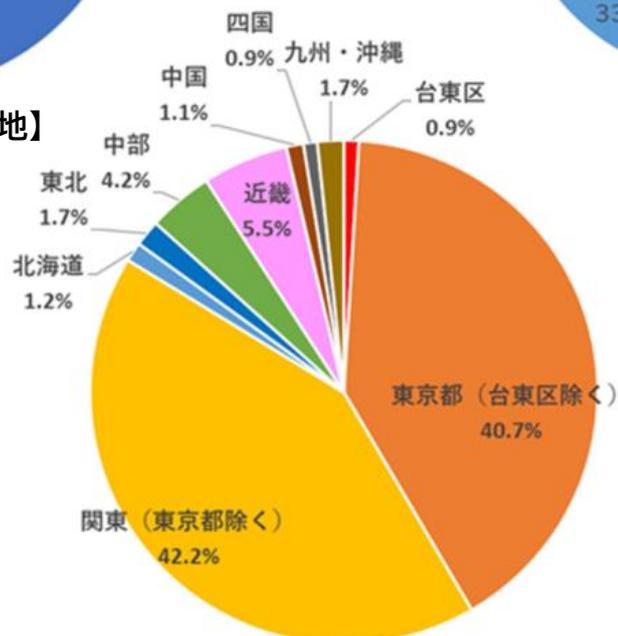
【性別】



【年代】



【居住地】



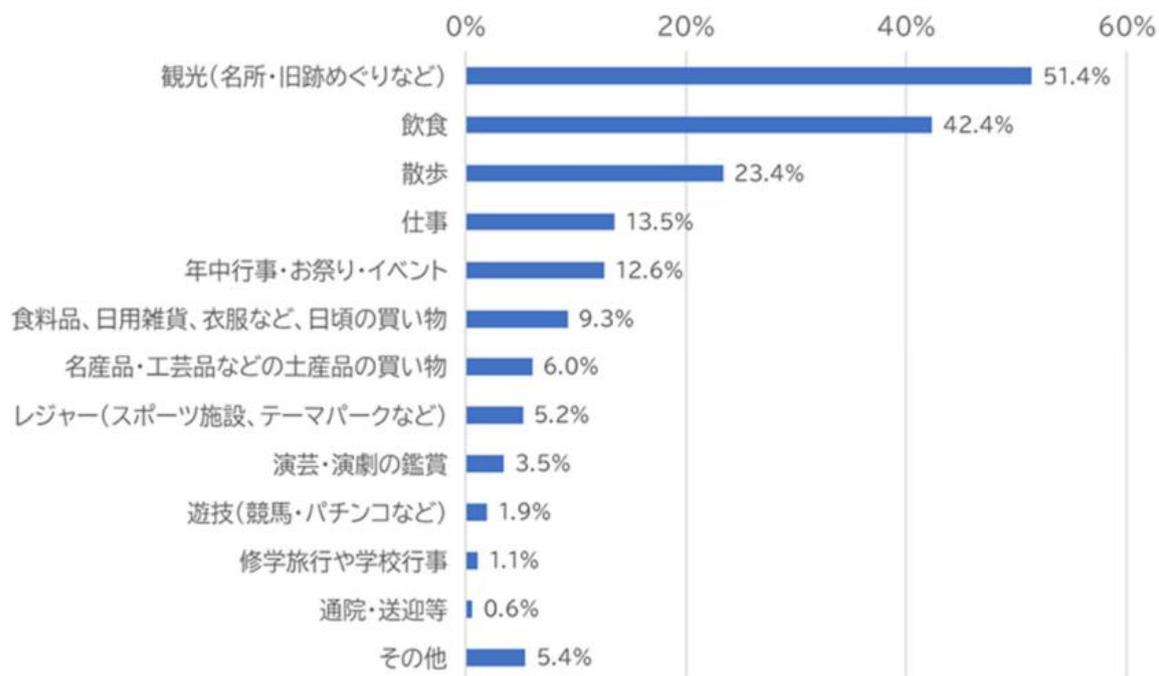
出典 浅草地区まちづくりビジョン策定委員会資料（令和4年度）

2. 現況整理編

(6) 来訪者の意向

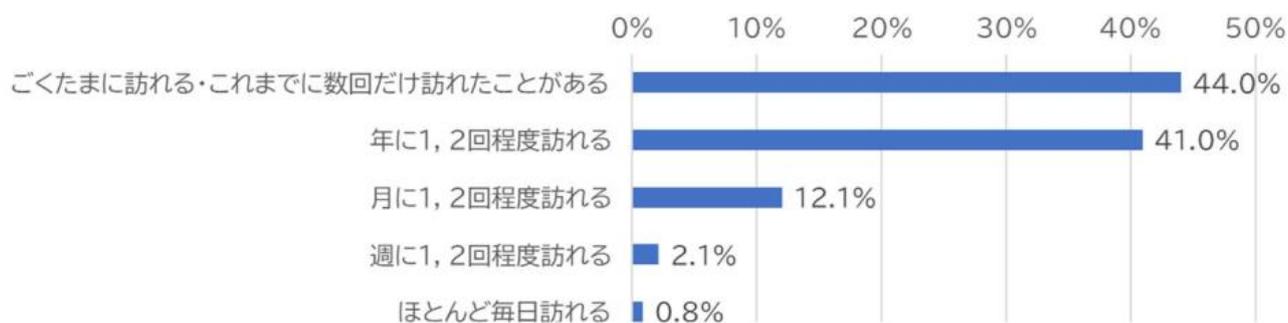
①来訪目的

- 来訪目的は「観光」と「飲食」が4割以上の回答率で多くなっています。



②来訪頻度

- 来訪頻度は「ごくたまに訪れる・これまでに数回だけ訪れたことがある」「年に1,2回程度訪れる」が4割以上の回答率で多くなっています。

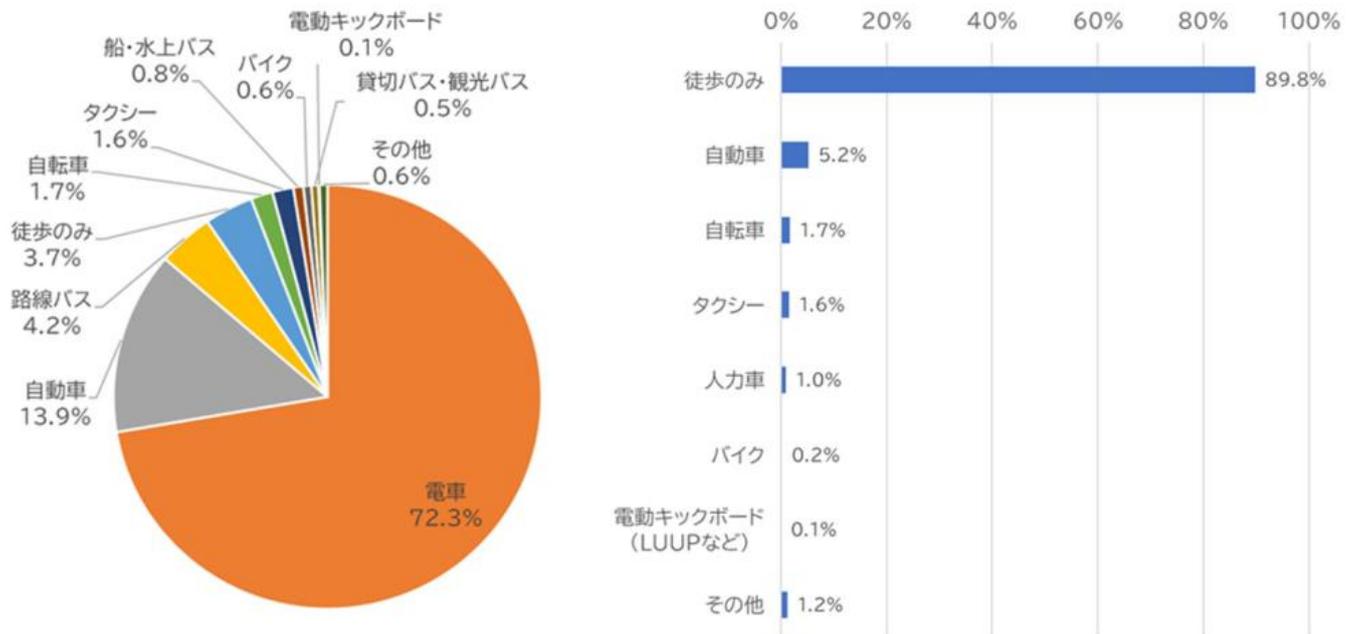


2. 現況整理編

(6) 来訪者の意向

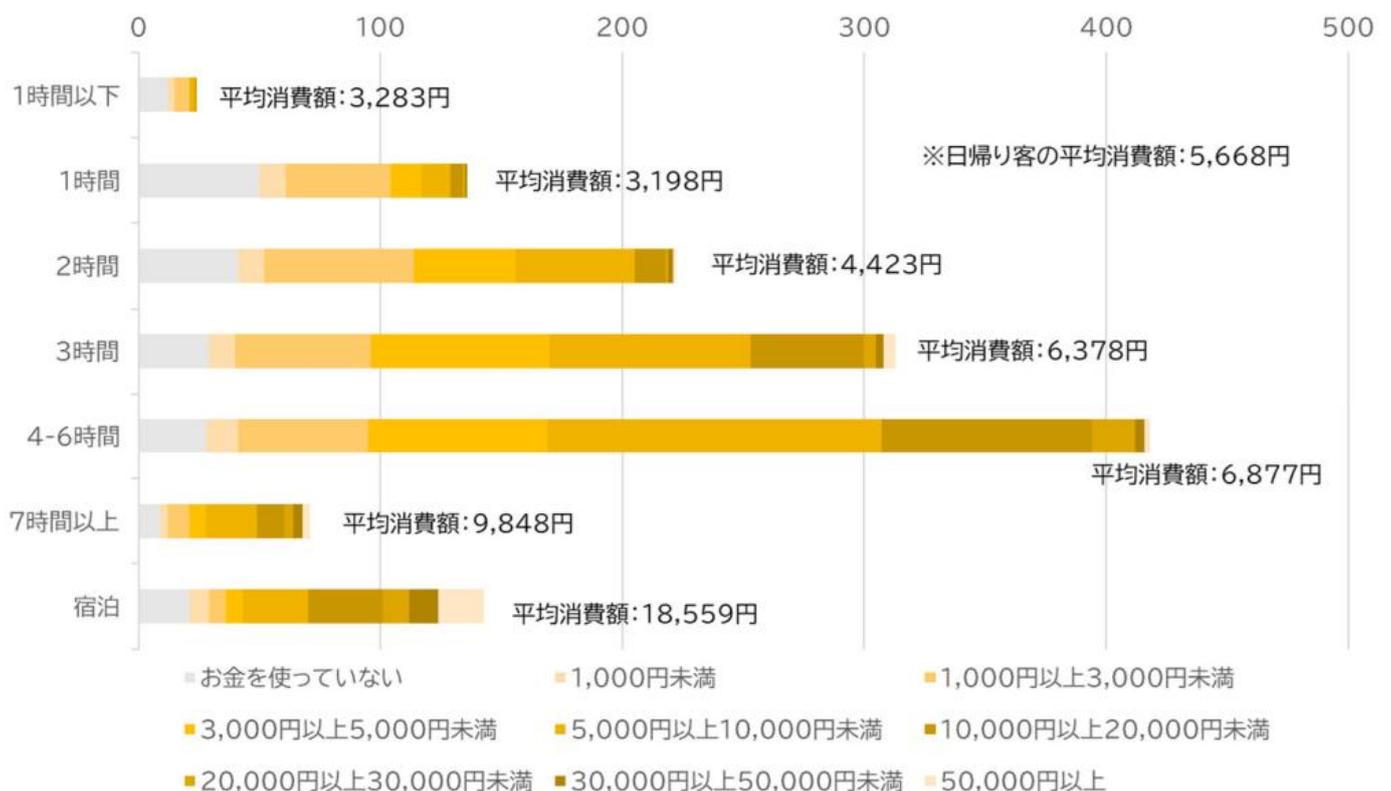
③ 来訪時の交通手段・地区内の移動手段

- 来訪時の交通手段は「電車」が7割強と多く、地区内の移動は「徒歩のみ」が9割弱で最も多くなっています。



④ 滞在時間と平均消費額の関係性

- 滞在時間が延びると消費額が増加する傾向が見られます。例えば、滞在時間が1時間→3時間になると、平均消費額は約2倍に増加しています。



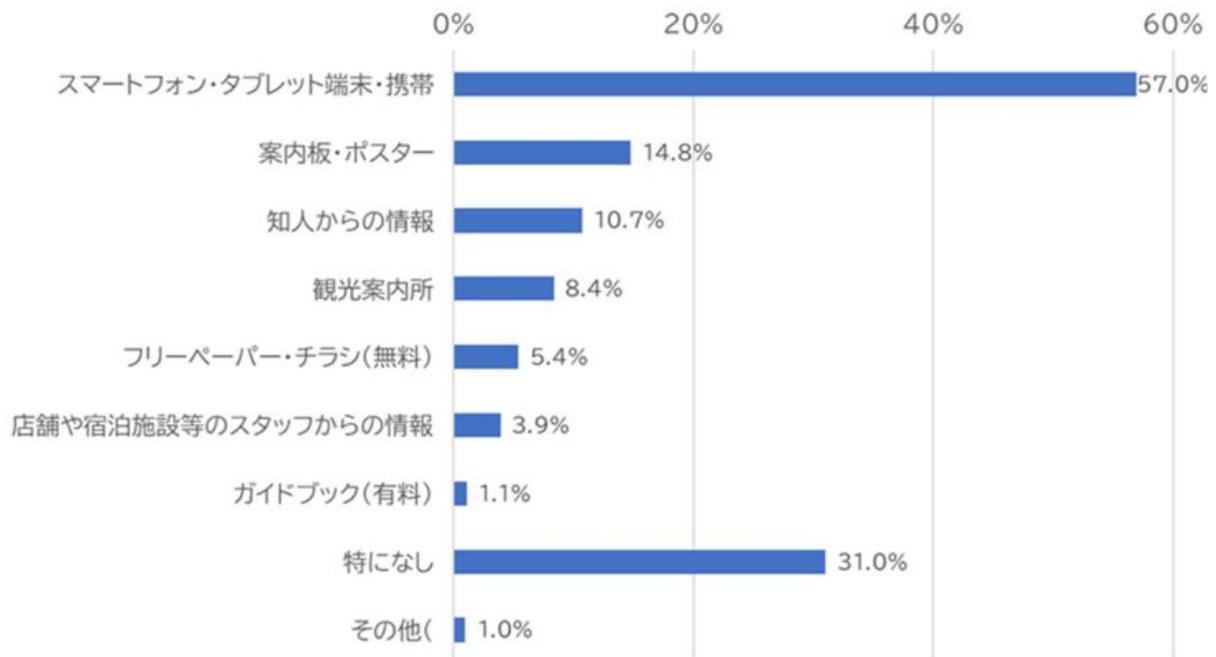
出典 浅草地区まちづくりビジョン策定委員会資料 (令和4年度)

2. 現況整理編

(6) 来訪者の意向

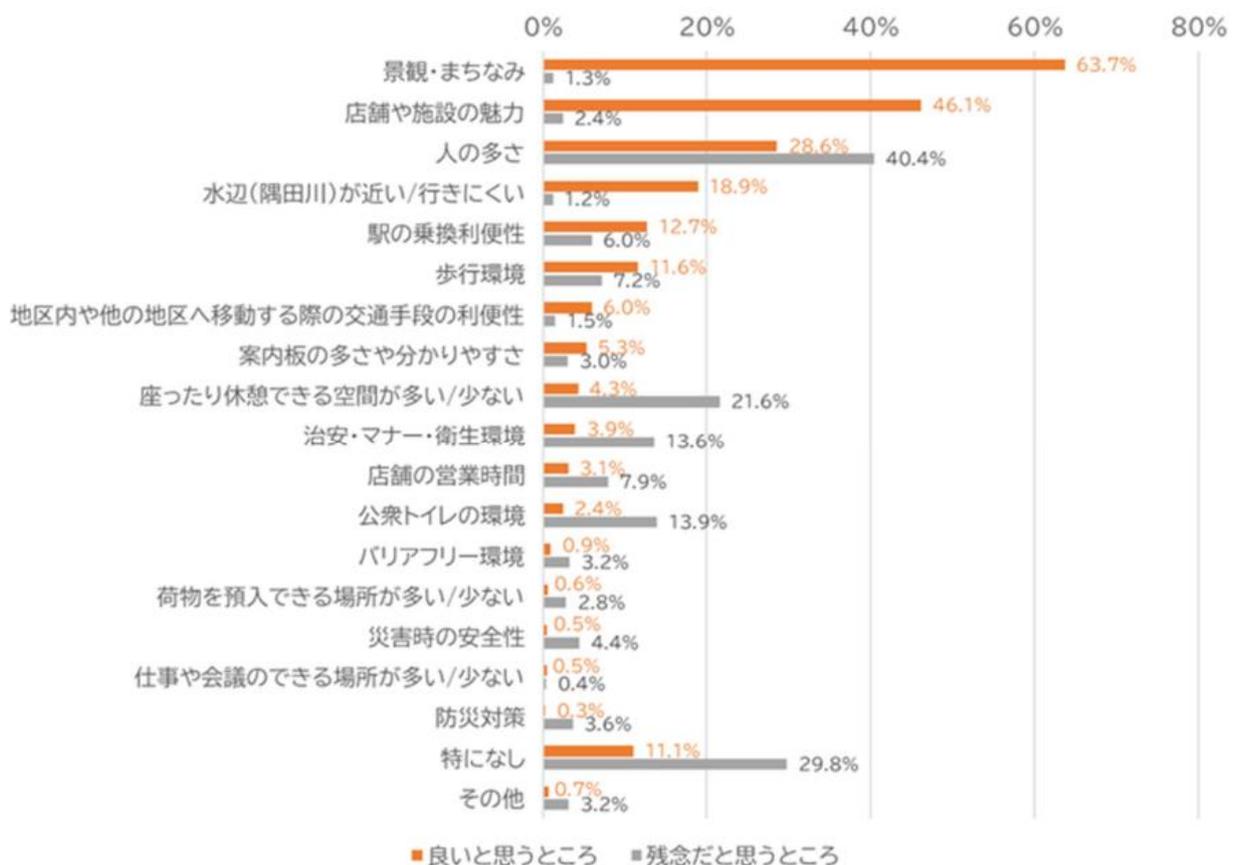
⑤情報収集ツール

- 情報収集の手段は「スマートフォン・タブレット端末・携帯」が5割強と最も多くなっています。



⑥浅草のまちの良いところ・残念なところ

- まちの良いところとして、「景観・まちなみ」「店舗や施設の魅力」の評価が高くなっています。
- まちの残念なところとして、「人の多さ」「座ったり休憩できる空間が多い／少ない」が挙がっていますが、「人の多さ」を良いところと評価する方も見られます。



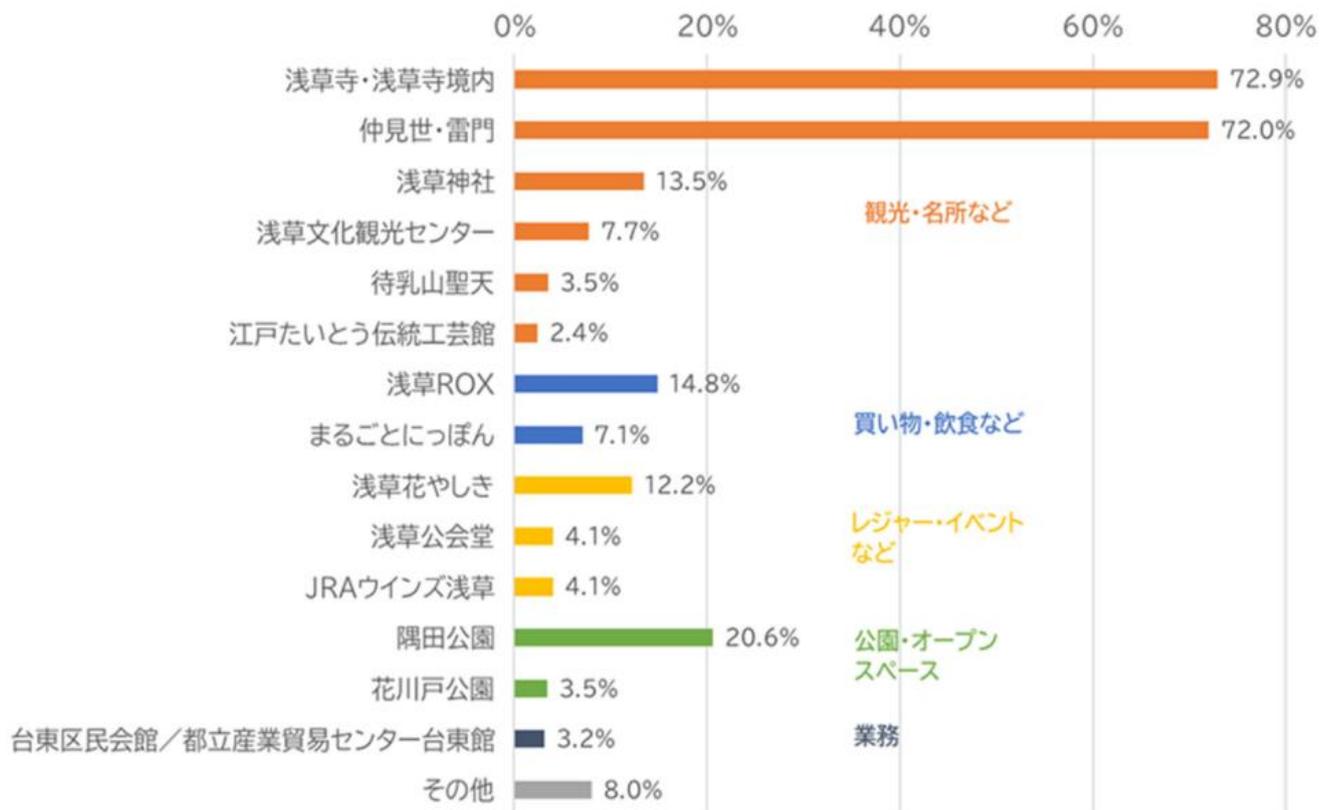
出典 浅草地区まちづくりビジョン策定委員会資料 (令和4年度)

2. 現況整理編

(6) 来訪者の意向

⑦ 主な来訪場所

- 来訪場所は「浅草寺・浅草寺境内」「仲見世・雷門」に集中しています。



出典 浅草地区まちづくりビジョン策定委員会資料（令和4年度）

2. 現況整理編

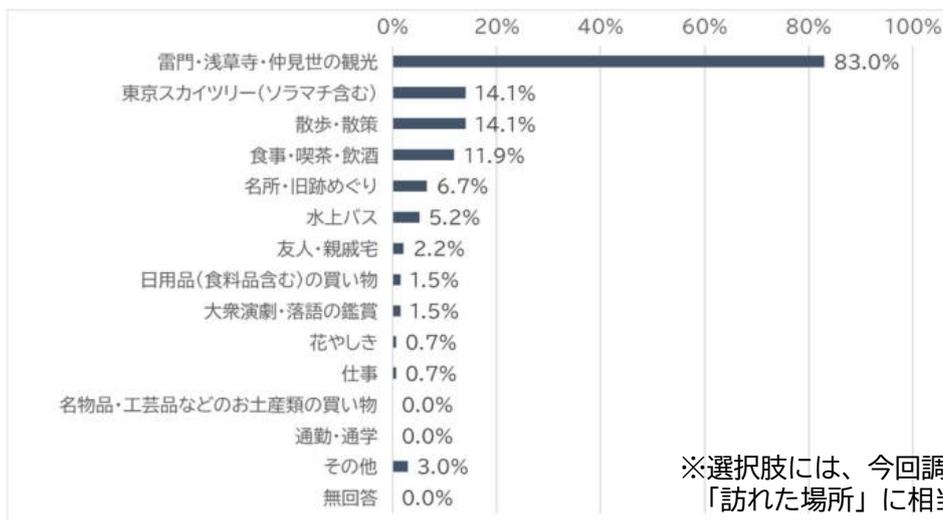
(6) 来訪者の意向

(参考)平成28年台東区観光統計・マーケティング調査との比較

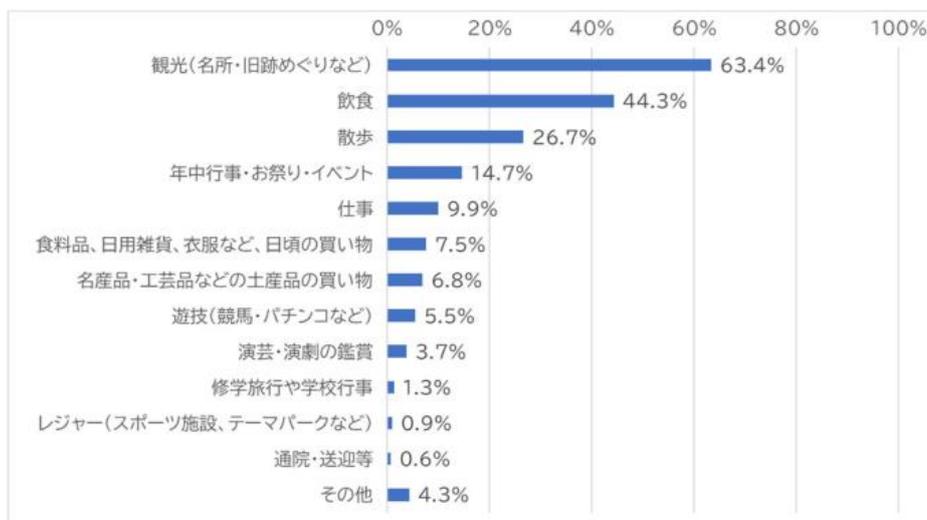
【来訪目的及び来訪場所】

- 来訪目的で「観光」が多いこと、「雷門・浅草寺・仲見世」に訪れた人が多い傾向には変化が見られませんでした。

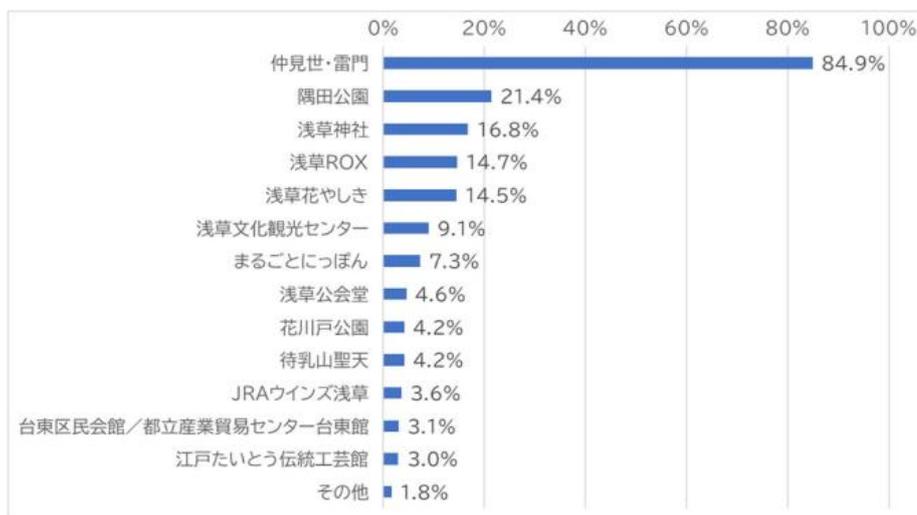
来訪目的（複数回答）：平成28年度調査(n=135)



来訪目的（複数回答）：令和4年度調査(n=968)



来訪場所（複数回答）：令和4年度調査(n=968)



2. 現況整理編

(6) 来訪者の意向

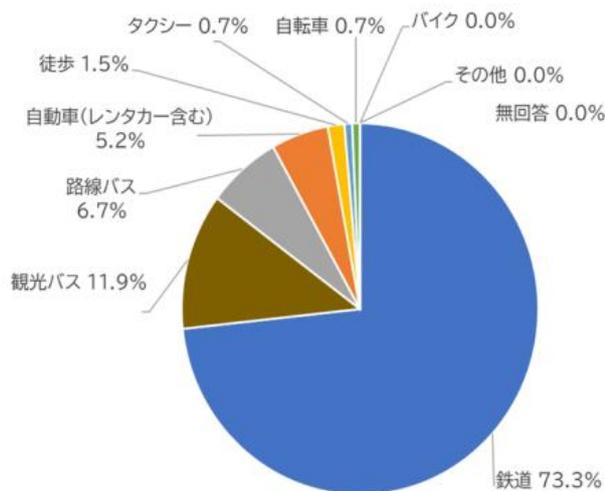
(参考)平成28年台東区観光統計・マーケティング調査との比較

※調査方法やサンプル数、設問の選択肢、回答者の属性等が異なるため、参考値として示し、変化を確認しました。

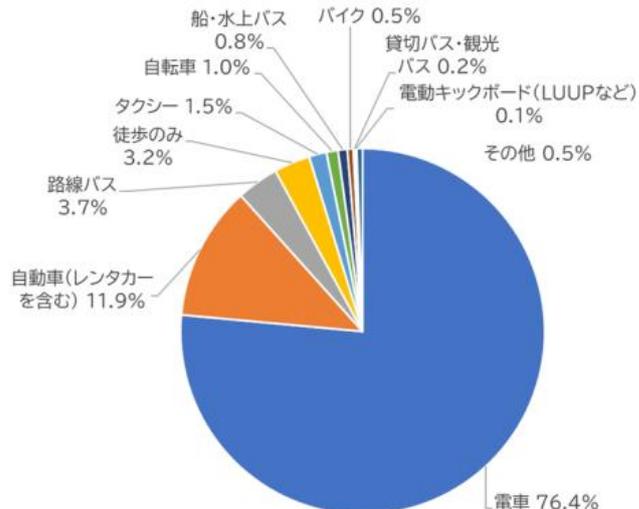
【来訪の交通手段】

- 来訪の交通手段で、「電車」が多い傾向には変化が見られませんでした。
- 次いで多い交通手段は、「観光バス」から「自動車」となっています。

来訪で利用した交通手段：平成28年度調査(n=135)



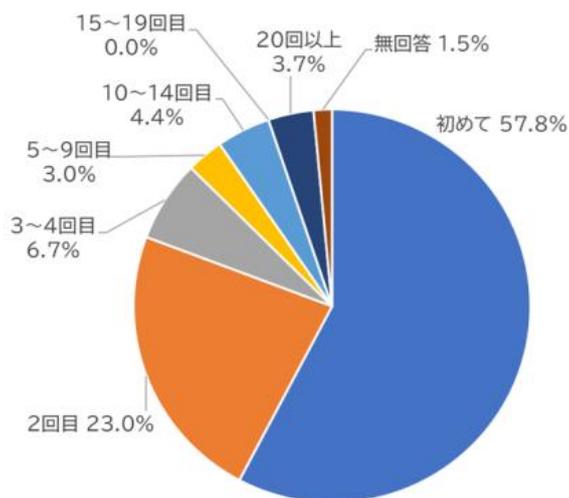
来訪時の主な交通手段：令和4年度調査(n=968)



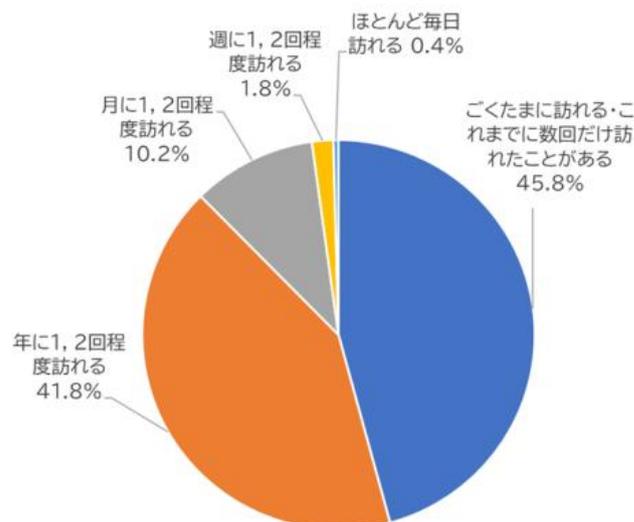
【来訪頻度】

- 訪れた回数が比較的少ない人が多くを占める傾向には、変化が見られませんでした。

地区来訪回数：平成28年度調査(n=135)



来訪頻度：令和4年度調査(n=968)



※平成28年度調査では「最近1年間で浅草地域及び台東区を訪れた回数」を、令和4年度調査では、「どのくらいの頻度で浅草地区を訪れるか」を聞きました。

※令和4年度調査のグラフは、「浅草地区滞在中に訪れた場所」で「浅草寺・浅草寺境内」と回答した人のみを抜き出して作成、平成28年度調査のグラフは、当時の調査結果をもとに作成しました。

2. 現況整理編

(6) 来訪者の意向

(参考)平成28年台東区観光統計・マーケティング調査との比較

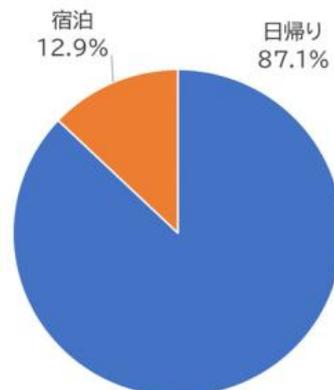
【宿泊の有無】

- 「日帰り」が多い傾向に変化は見られませんが、本調査においてその割合が増加しました。

宿泊の有無：平成28年度調査(n=135)



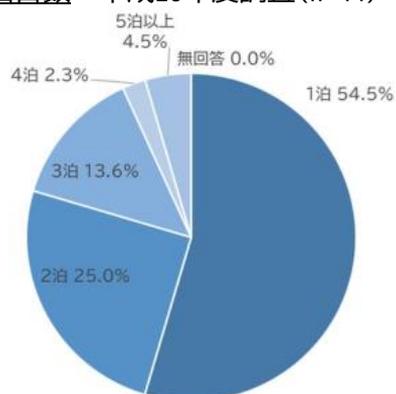
宿泊の有無：令和4年度調査(n=968)



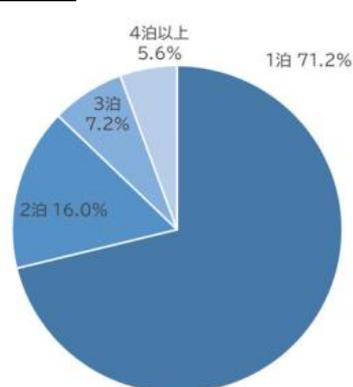
【宿泊日数】

- 「1泊」が多い傾向に変化は見られませんが、本調査においてその割合が増加しました。

宿泊日数：平成28年度調査(n=44)



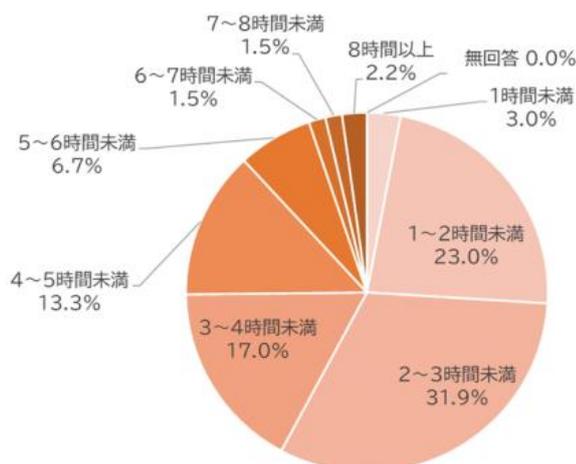
宿泊日数：令和4年度調査(n=125)



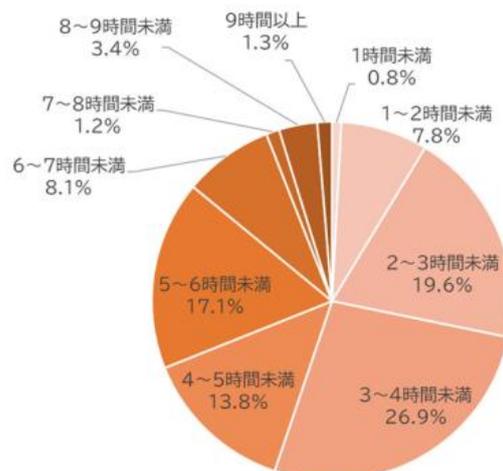
【滞在時間】

- 平成28年度調査は「2～3時間未満」、令和4年度調査は「3～4時間未満」が割合として最も多くなっています。

滞在時間：平成28年度調査(n=135)



滞在時間(日帰りの場合)：令和4年度調査(n=843)



2. 現況整理編

(6) 来訪者の意向

(参考)平成28年台東区観光統計・マーケティング調査との比較

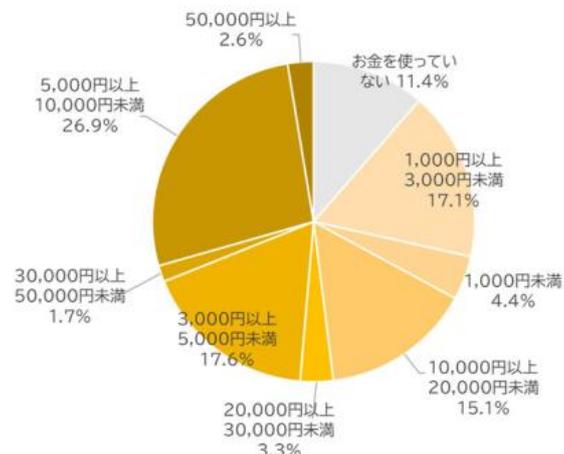
【平均消費額】

- 平成28年度調査は区内全地区の結果ですが、平均消費額は約1,400円増加する結果となりました。

消費額：平成28年度調査

	平成28年度調査		平成26年度調査
	平成28年度調査	平成26年度との差	
飲食	850億円	-141億円	991億円
買物	900億円	+81億円	819億円
入場料等	308億円	+14億円	294億円
その他	25億円	-116億円	141億円
宿泊	589億円	+182億円	407億円
観光消費額 台東区合計	2,672億円	+20億円	2,652億円
台東区観光客数	5,061万人	+557万人	4,504万人
1人あたりの消費額	5,279円	-609円	5,888円

消費額：令和4年度調査



※滞在時間（中央値）と平均消費額の比較

	平成26年度調査	平成28年度調査	令和4年度調査	平成28年度との差
滞在時間	3時間00分	2時間10分	3時間00分	+50分
平均消費額	5,888円	5,279円	6,712円	+1,433円

※台東区全体の一人当たりの観光消費額の推移

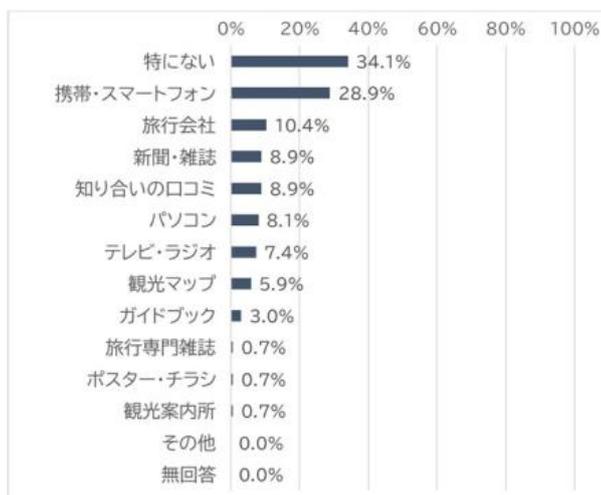


出典：令和3年度台東区観光統計分析

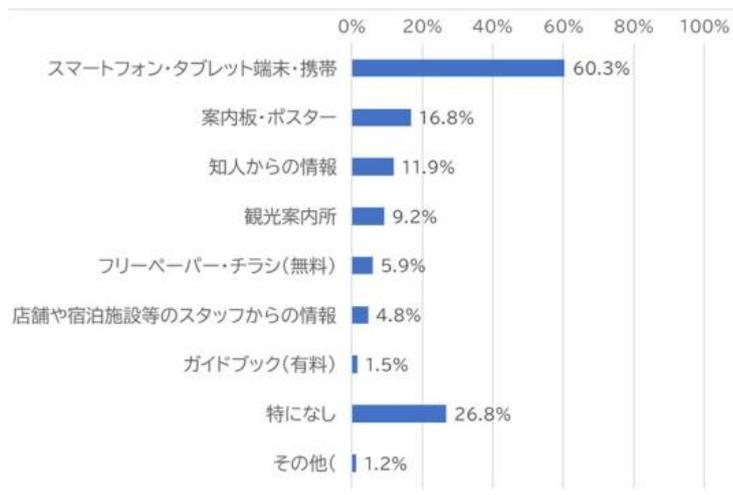
【役立つ情報源】

- 「スマートフォン等」が多い傾向に変化は見られませんが、令和4年度調査においてその割合が増加する結果となりました。
- 本調査では、「ポスター」や「観光案内所」の割合が増加する結果となりました。

情報の入手先：平成28年度調査(n=135)



役立つ情報源：令和4年度調査(n=968)



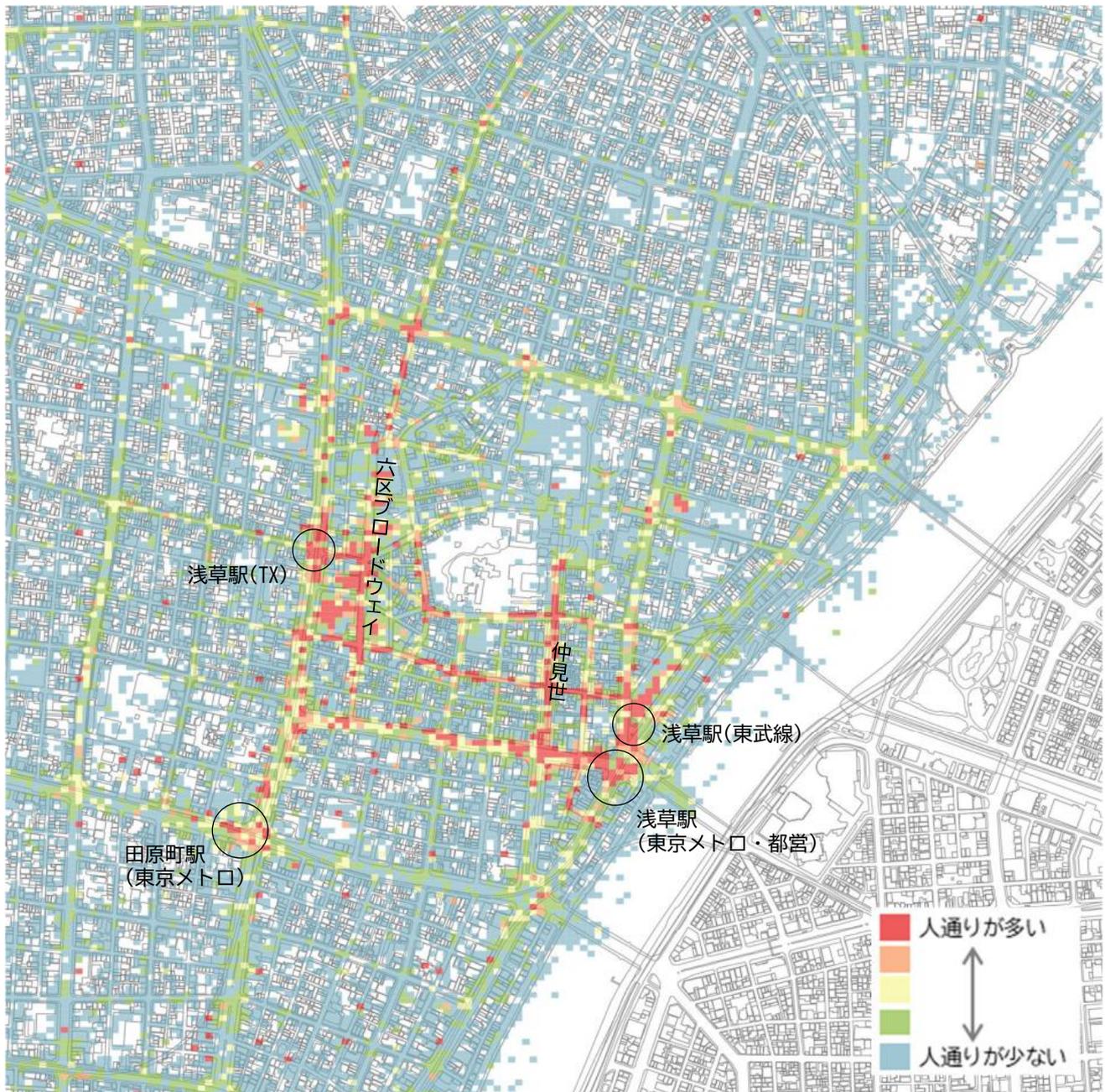
出典 浅草地区まちづくりビジョン策定委員会資料（令和4年度）

2. 現況整理編

(7) 浅草地区の滞留状況

① デジタル人流データ分析：休日における来訪状況

- 休日においては、仲見世・浅草駅周辺に集中する傾向が見られます。また、六区ブロードウェイでも人が多く集まっています。



データ取得：令和7年5月4週目

株式会社プログウォッチャーの非集計ODデータを基に作成

2. 現況整理編

(7) 浅草地区の滞留状況

②滞留状況の実測調査結果（平日・休日）

調査概要

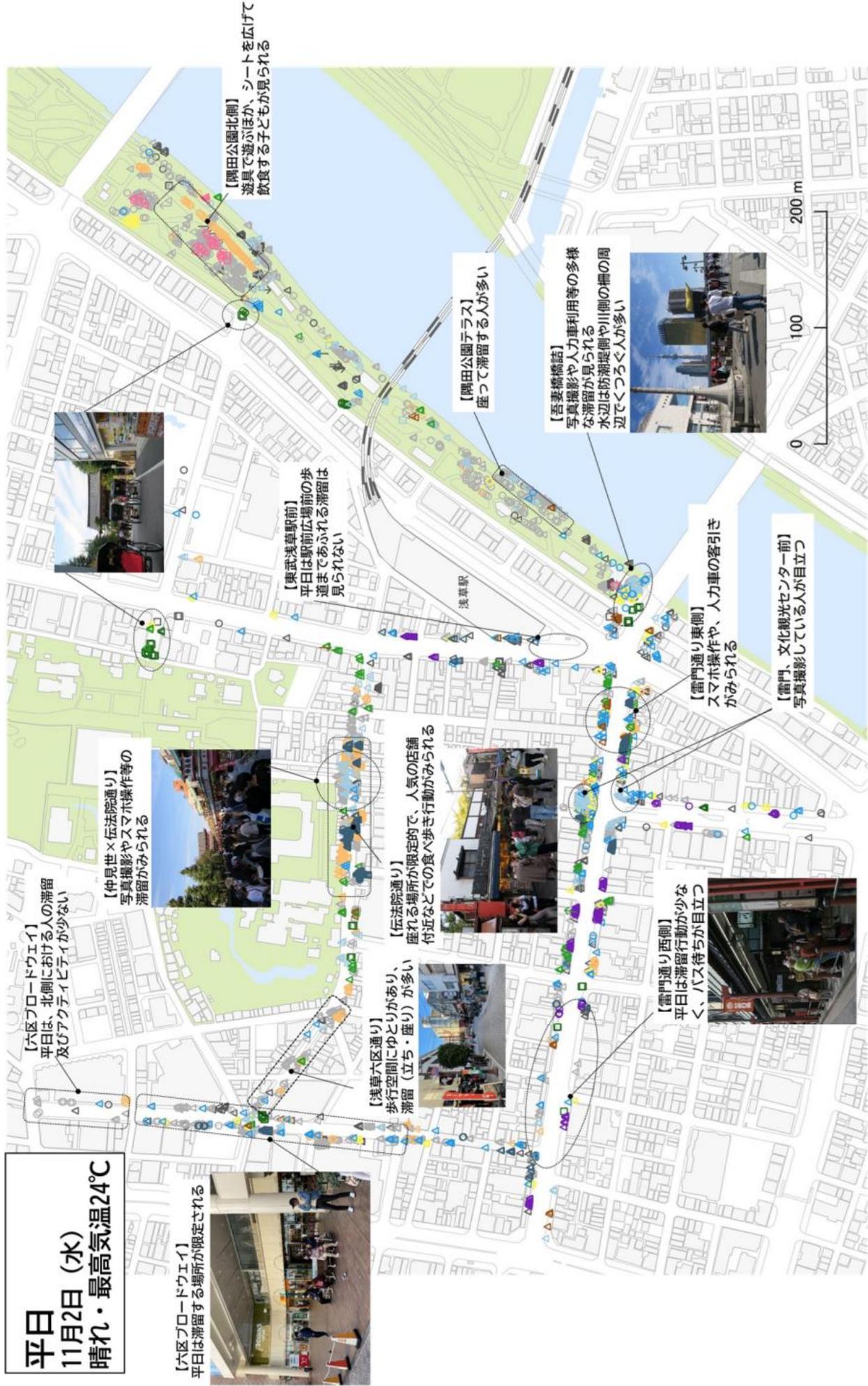
目的	滞留行動の傾向・特性を把握する ※対象地点における通行以外の行動を滞留行動として定義
時期	平日：令和4年11月2日（水） 晴れ・最高気温24度 休日：令和4年10月23日（日） 晴れ・最高気温23度
方法	屋外の来訪者の滞留状況について、調査員が実測しマッピング ※下記対象における滞留者の性別、年代、アクティビティ、日本人・外国人の分類を調査員が目視で確認 ※各日とも日中1時間ごとに6回調査
対象	①雷門通り ②浅草六区通り ③伝法院通り ④すしや通り ⑤馬道通り ⑥六区ブロードウェイ ⑦並木通り ⑧東参道・二天門通り ⑨隅田公園

主な調査結果

- 滞留者の行動を「立ち」「座る」「その他」に分類すると、隅田公園と東参道・二天門通りを除き、いずれも「立ち」の割合が高くなっています。
- 隅田公園は、「座り」の割合が高く、東参道・二天門通りは、人力車で移動している人が多くなっています。
- 伝法院通りでは「飲食」、吾妻橋付近では「写真撮影」など、通りによってアクティビティに違いが出ています。
- 滞留が多い通りでは、活動が制限されることから、一時的な「立ち」「座る」が多くなる傾向が見られました。

対象	通りの現況	特徴的なアクティビティ		求められる機能のイメージ
		平日	休日	
①雷門通り	雷門付近は特に混雑しており、活動が制限されている	バス待ち、スマホ操作	店に並ぶ、バス待ち	歩行・滞留空間の確保
②浅草六区通り	滞留行動があり、ゆとりもあるが、周囲と比較して歩行者が少ない	飲食	飲食	滞留空間の確保、通りへの歩行者の誘導、六区ブロードウェイ・伝法院通りとの連携
③伝法院通り	店への行列や食べ歩きなどにより、特に休日は混雑している	店に並ぶ、飲食、写真撮影	店に並ぶ、飲食	歩行空間の確保
④すしや通り	休日は沿道店舗のイベントで留まる人がみられるが、周囲の通りと比較して歩行者が少ない	スマホ操作、店に並ぶ	イベントを眺める	通りへの歩行者の誘導、六区ブロードウェイとの連携
⑤馬道通り	浅草駅付近は待ち合わせやバス待ち等で立ち止まる人が多い	スマホ操作、店に並ぶ	会話、スマホ操作	歩行・滞留空間の確保
⑥六区ブロードウェイ	平日は、滞留できる場所が限られている。休日は、北側のオープンカフェに滞留が多い	スマホ操作、店に並ぶ	飲食、イベントを眺める	滞留空間のさらなる増設 エリアマネジメントの取組みの推進
⑦並木通り	平日休日ともに他の通りに比べて滞留・歩行者が少ない	バス待ち、スマホ操作	店に並ぶ、バス待ち	通りへの歩行者の誘導、南方への動線としての強化
⑧東参道・二天門通り	平日休日ともに他の通りに比べて滞留・歩行者が少ない	店を眺める、人力車に乗る	店を眺める、写真撮影	通りへの歩行者の誘導 隅田公園への動線としての強化
⑨隅田公園	川沿いでくつろいだり、公園で遊んだり飲食する人が多い	飲食、写真撮影	公園で遊ぶ、写真撮影	滞留空間の充実、安全に遊べる空間の維持・管理

出典 浅草地区まちづくりビジョン策定委員会資料（令和4年度）



滞留者の行動・姿勢
 △立ち ○座る □その他

特徴的なアクティビティ
 ●飲食 ●会話 ●写真撮影 ●スマホ操作 ●地図や案内を見る ●店などを眺める ●バス待ち ●人力車に乗る ●公園で遊ぶ ●その他

休日
10月23日(日)
晴れ・最高気温23℃

【六区プロードウェイ】
 まるごとにつぼん前はテール周辺
 での滞留が多く、エリアマネジメン
 トの取り組み成果が見られる



【六区プロードウェイ】
 平日よりも滞留が増加する



【伝法院通り】
 平日休日の入出の差が少なく、
 食べ歩き行動が多い

【東参道・二天門通り】
 起終点において、人力車の滞留が見られるが、
 他路線と比べ滞留が少ない

【隅田公園北側】
 休日は公園で遊ぶ親子連れ
 や子どもが増加する



【東武浅草駅前】
 駅前三角広場前の歩道空
 間にも滞留する人があふ
 れている



【駅前五差路】
 信号待ち空間が限られ、
 乱横断が目立つ



【隅田公園テラス】
 テラス周辺に座る人が多い。
 特徴的なアクティビティはみられず、
 川を眺めるなどつろいでいる



【雷門通り西側】
 休日は店の行列やバス待ちの
 列が多く発生する



【雷門前】
 写真撮影や待ち合わせの滞
 留で歩道まで混雑している



【雷門通り東側】
 歩道は、人力車の客引き
 や店舗の行列等、多様な
 滞留行動が混在している



【雷門通り東側】
 店舗の行列で歩道の幅員
 が狭くなる箇所がある



【吾妻橋橋詰】
 写真撮影や人力車の解説
 スポットになっている



0 100 200 m

滞留者の行動・姿勢
 △立ち ○座る □その他

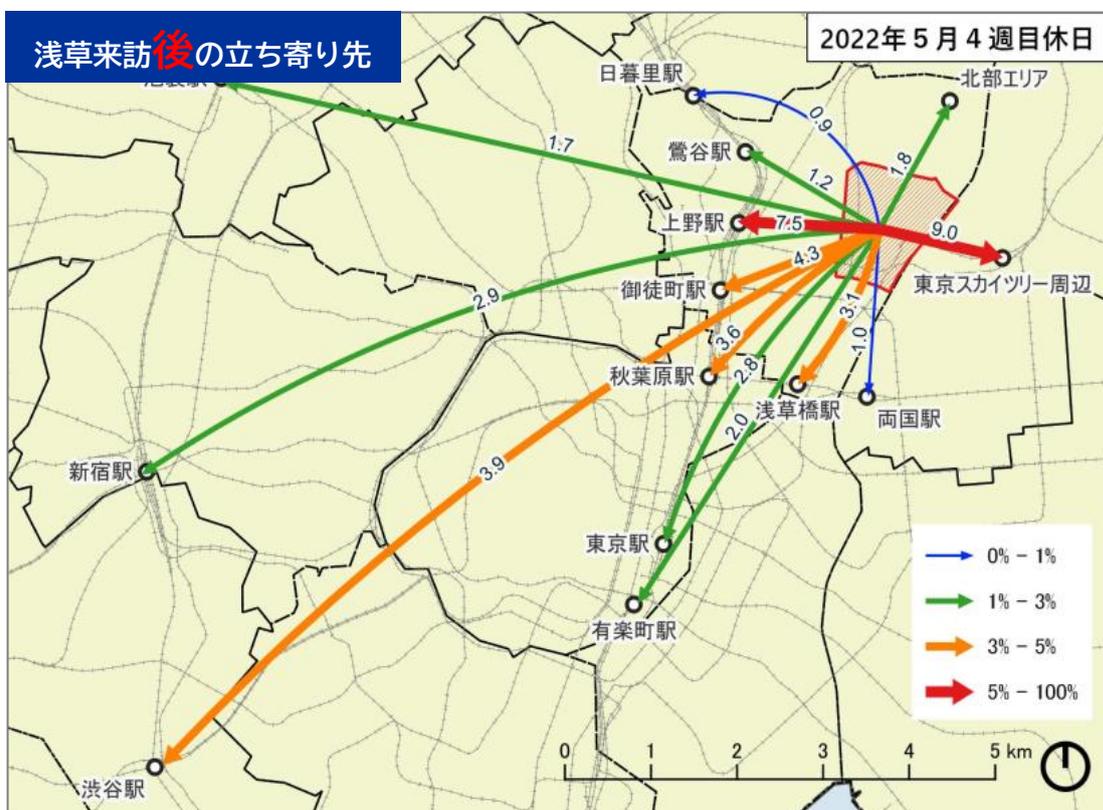
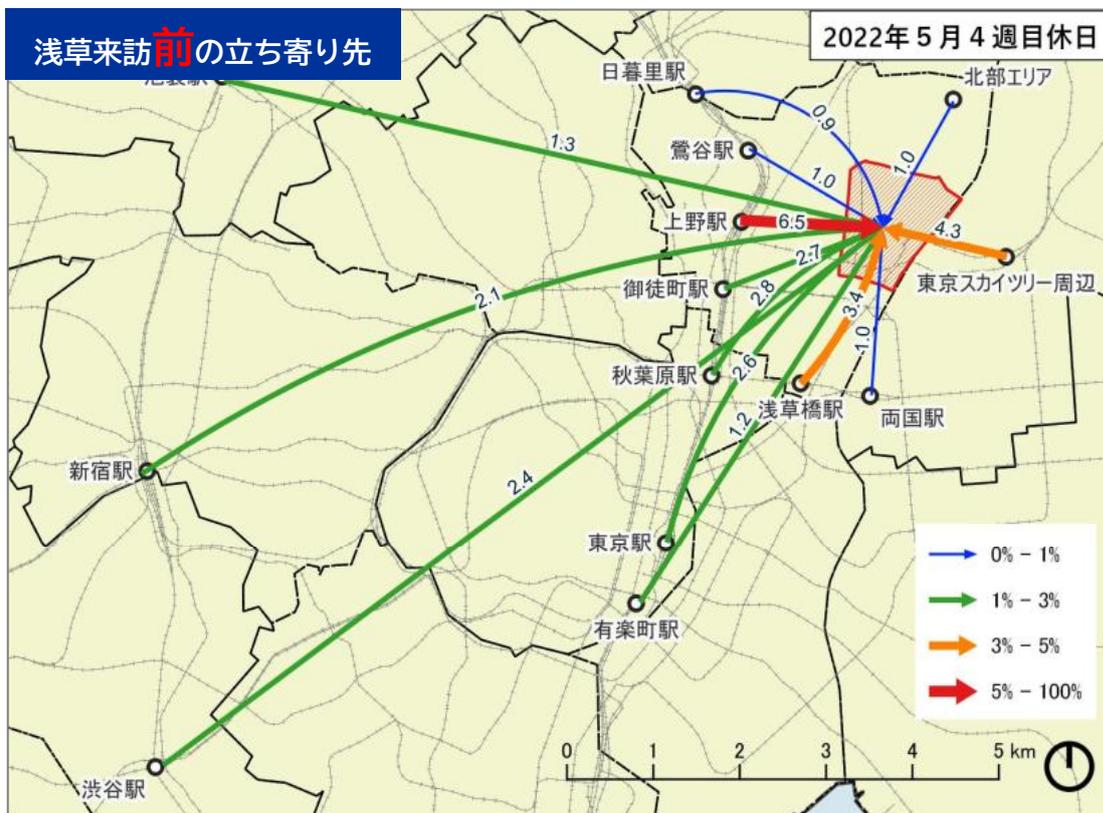
特徴的なアクティビティ
 ●飲食 ●会話 ●写真撮影 ●スマホ操作 ●地図や案内を見る ●店などを眺める ●店に並ぶ ●バス待ち ●人力車に乗る ●公園で遊ぶ ●特筆事項なし ●その他

※「特筆事項なし」は特徴的なアクティビティを行っていない、一時的にその場に立ったり座ったりしている人を指す

2. 現況整理編

(7) 浅草地区の滞留状況

- ③上野～浅草地区～東京ミズマチ～東京スカイツリーの人流の確認
他地区との往来は、上野・東京スカイツリー周辺が多い状況となっています。



※浅草地区への来訪者全数を100%とした場合の割合を記載

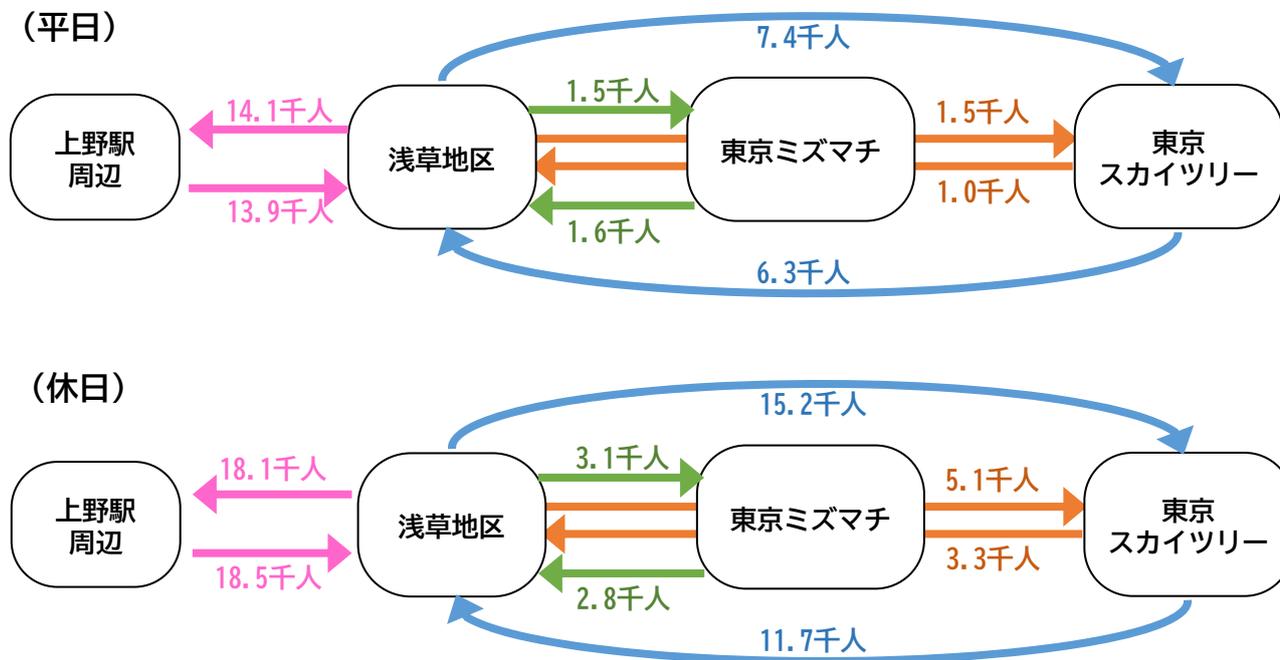
出典 浅草地区まちづくりビジョン策定委員会資料（令和4年度）

2. 現況整理編

(7) 浅草地区の滞留状況

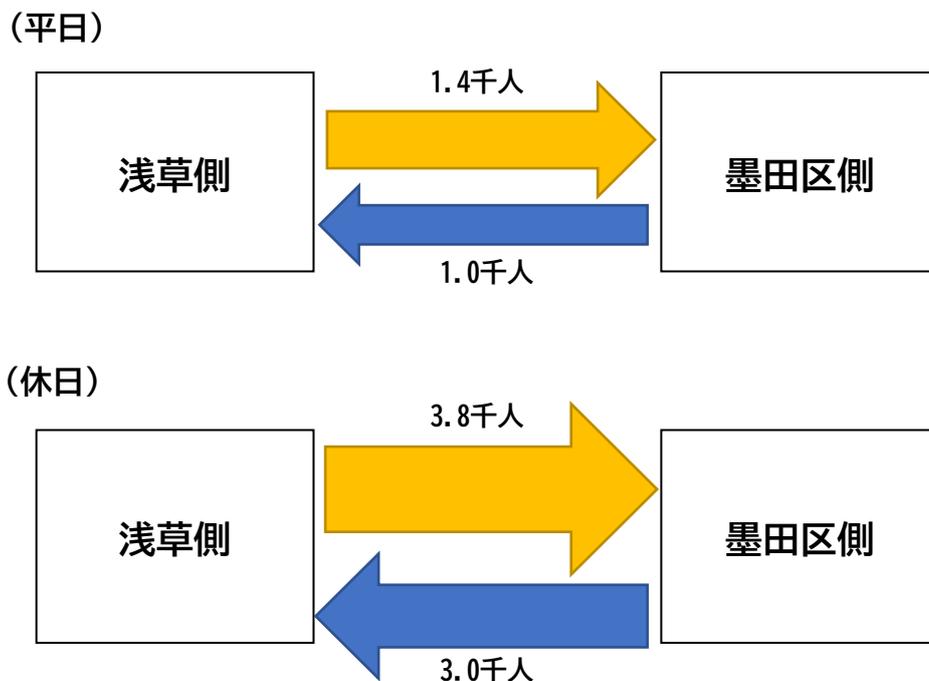
③上野～浅草地区～東京ミズマチ～東京スカイツリーの人流の確認

【1日あたりのエリア間の往来者数】（2022年5月4週）



デジタル人流データ調査結果

【1日あたりのリバーウォークの利用者数】（2022年5月4週）



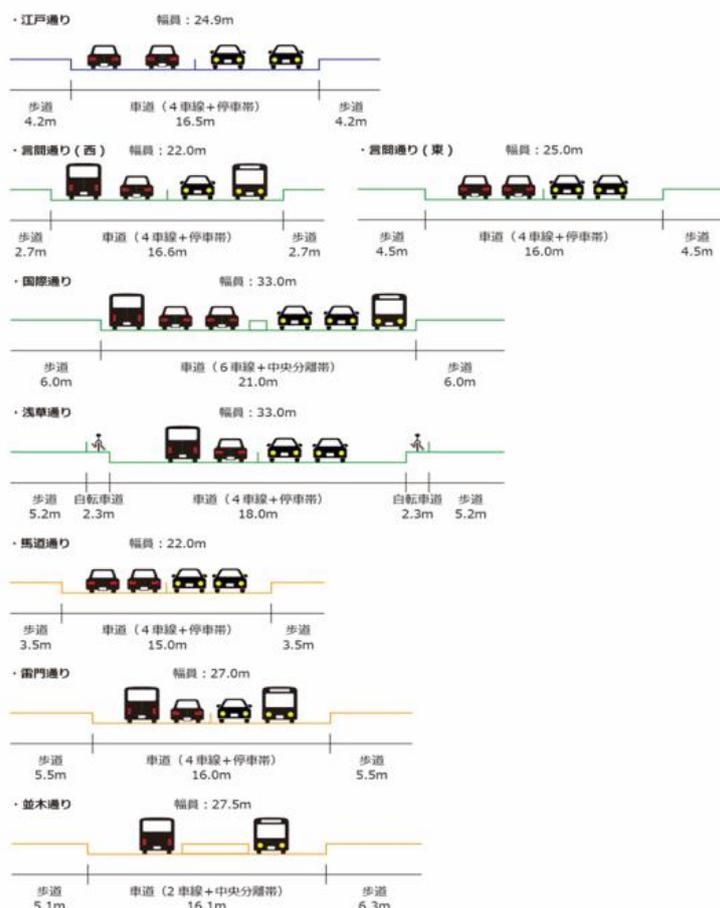
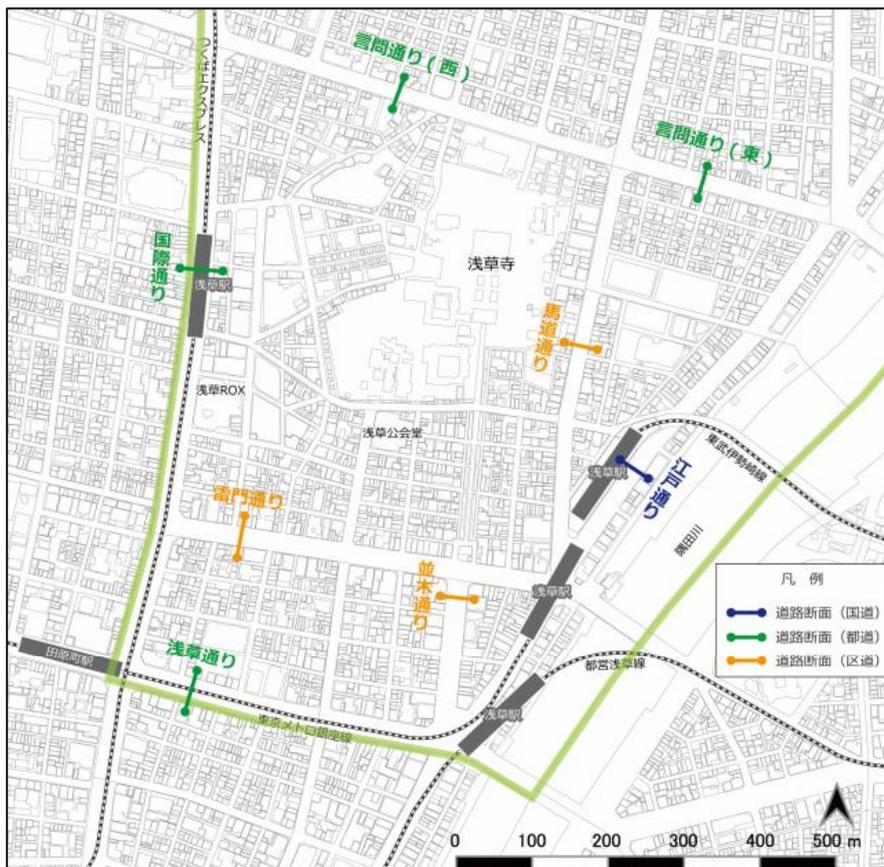
リバーウォーク通行人員(東武鉄道株式会社提供データより作成)

2. 現況整理編

(8) まち・交通の現況

①道路網の状況

- 広幅員の通り・狭い幅員の通り等、車両・歩行者の通行に資する道路網は形成されています。

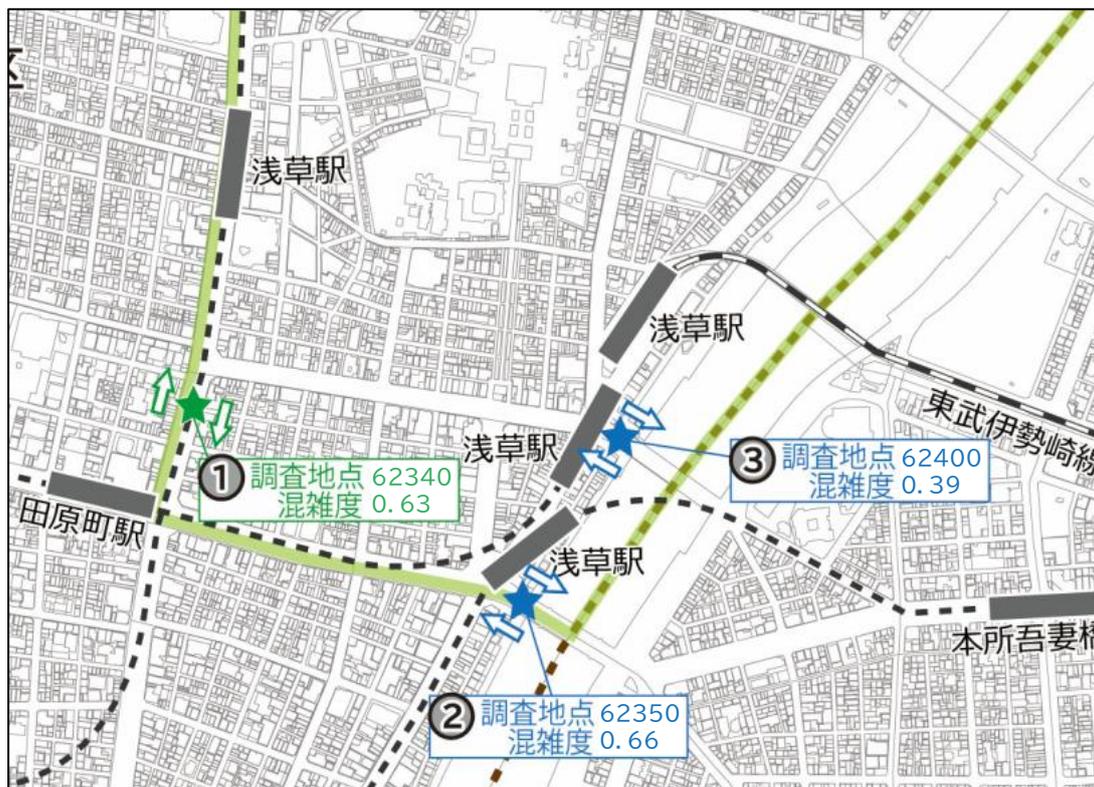


2. 現況整理編

(8) まち・交通の現況

②交通車両による混雑状況

- 交通車両による目立った混雑は見られていません。



区域内外	No	調査地点	通称道路名 (路線名)	交通量(上下双方向計)		混雑度
				12時間計	24時間計	
調査範囲内	①	62340	国際通り (都道462号)	12,432	—	0.63
	②	62350	浅草通り (都道463号)	12,440	—	0.66
	③	62400	吾妻橋 (都道463号)	5,063	—	0.39

混雑度	定義
1.00未満	昼間12時間を通じて、道路が混雑することなく、円滑に走行できる。 渋滞やそれに伴う極端な遅れはほとんどない。
1.00~1.25	昼間12時間のうち、道路が混雑する可能性のある時間帯が1~2時間(ピーク時間)ある。 何時間も混雑が連続する可能性は非常に小さい。
1.25~1.75	ピーク時間はもとより、ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性の高い状態。ピーク時のみの混雑から日中の連続的混雑への過度状態と考えられる。
1.75以上	慢性的混雑状態を呈する。

出典 令和3年度版道路交通センサデータを基に作成

2. 現況整理編

(8) まち・交通の現況

③歩行者の集中状況

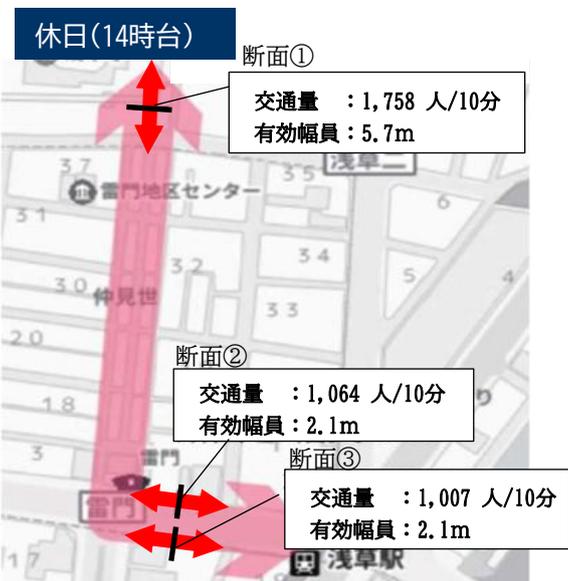
- 歩行者は特定の場所に集中しています。平日・休日とも、特に仲見世から吾妻橋交差点区間に人が集中しています。



※10~11時台、13~14時台、16~17時台、19~21時台の計9時間帯において、各時間帯の10分間計測値の合計値（従って延べ90分間の歩行者交通量）

歩行者交通量調査(平成30年11月)

- 歩行者へのサービス水準の観点では、仲見世や雷門通りなど、多くの観光客が集まる場所において制約が出ている状況が確認できます。



【流動係数】

断面①（仲見世 北側）：30.8(人/m・分)

断面②（雷門通り北側）：50.7(人/m・分)

断面③（雷門通り南側）：48.0(人/m・分)

	「大規模開発地区関連交通計画マニュアル」によるサービス水準					
	A	B	C	D	E	
流動係数 (人/m・分)	~27	27~51	51~71	71~87	87~100	
歩行状況	自由歩行	やや制約	やや困難	困難	ほとんど不可能	
	「歩行者の空間」(JOHN J. FRUIN)によるサービス水準					
	A	B	C	D	E	F
流動係数 (人/m・分)	~20	20~30	30~45	45~60	60~80	80~
歩行状況	自由歩行	正常歩行可能	自由度は制限 衝突率大	追い抜き衝突 回避が困難	すべての人は 通常の歩行速度で 歩けない	足りず
適用対象	ピークや空間的 制約のない 公共建築や広場	交通ターミナルや あまり厳しくない程度 のピークが時々 生じる建物	面積が制約されてお きびしいピーク の生じるような 交通ターミナル・ 公共建築、あるいは オープンスペース	最も混雑する 公共空間	スポーツスタジアムや 鉄道駅施設において、 短時間に大量の人間が 退場しようとする時	歩行路の設計に 適用すべきでない

※有効幅員は、アーケードの柱のほか、バス待ち・客引き等を考慮し、歩行通行上支障のない歩道幅を設定

出典 浅草地区まちづくりビジョン策定委員会資料（令和4年度）

2. 現況整理編

(8) まち・交通の現況

④ 駅前の歩行空間の規模

東武浅草駅周辺の歩行者空間は、東京都内の主要駅に比べて小さい傾向となっています。

【参考：他駅の駅前空間】

- ・ 同区内のターミナル駅である上野駅 約13,380㎡【浅草駅の約12.7倍】
- ・ 乗降客数が同程度の駅である錦糸町駅 約 5,180㎡【浅草駅の約 4.9倍】
- ・ 外国人観光客が多い駅である原宿駅 約 1,840㎡【浅草駅の約 1.8倍】



特に休日は、駅前の歩道空間に滞留する人や信号待ちをする人が溢れるほか、交差点における乱横断が目立ちます。

出典 浅草地区まちづくりビジョン策定委員会資料（令和4年度）

2. 現況整理編

(8) まち・交通の現況

⑤交通結節機能の状況

- 路線バスのほか、タクシーや人力車の待機場所の多くが路上に整備されており、交通結節機能が不足している状況です。また、駅周辺の放置自転車台数が多く、特につくばエクスプレス浅草駅周辺の放置台数は、都内上位5駅に含まれている状況です。



(上段：自転車台数 下段：バイク台数)

駅名	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
浅草駅	92	151	139
	11	11	14
つくばエクスプレス浅草駅	158	187	218
	5	15	13

データ：駅前放置自転車等の現況と対策（東京都）

出典 浅草地区まちづくりビジョン策定委員会資料（令和4年度）
※「駅周辺の自転車台数・バイク台数」の表等は時点更新

2. 現況整理編

(8) まち・交通の現況

⑥鉄道路線の駅の配置状況

- 鉄道4路線の駅が別構内にて配置されており、乗換空間としての利便性は低い状況です。

駅の位置



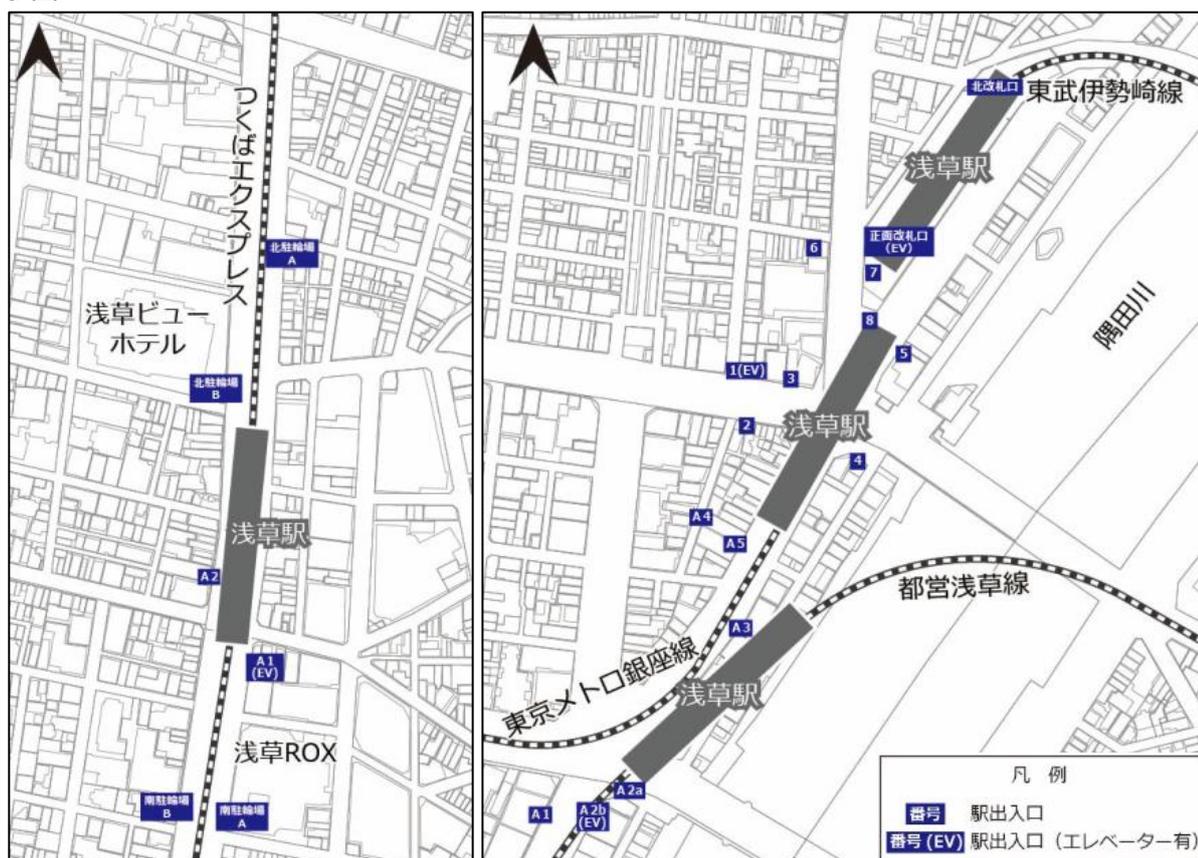
銀座線浅草駅：昭和2年に東洋最初の地下鉄駅として開業。4駅の中で最も利用者が多い。始発(終着)駅であり、渋谷駅(上り)へ運行しています。

東武浅草駅：昭和6年に地上駅として開業。松屋浅草店が併設。平成24年に耐震補強及び外壁リニューアルを実施。始発(終着駅)であり、館林及び日光方面(下り)へ運行しています。

浅草線浅草駅：昭和35年に開業。大田区西馬込駅と墨田区押上駅を結び、押上家期から京成線と相互直通運行がされています。

つくばエクスプレス (TX) 浅草駅：平成17年に開業。千代田区秋葉原駅と茨城県つくば駅を結び運行しています。

駅出入口



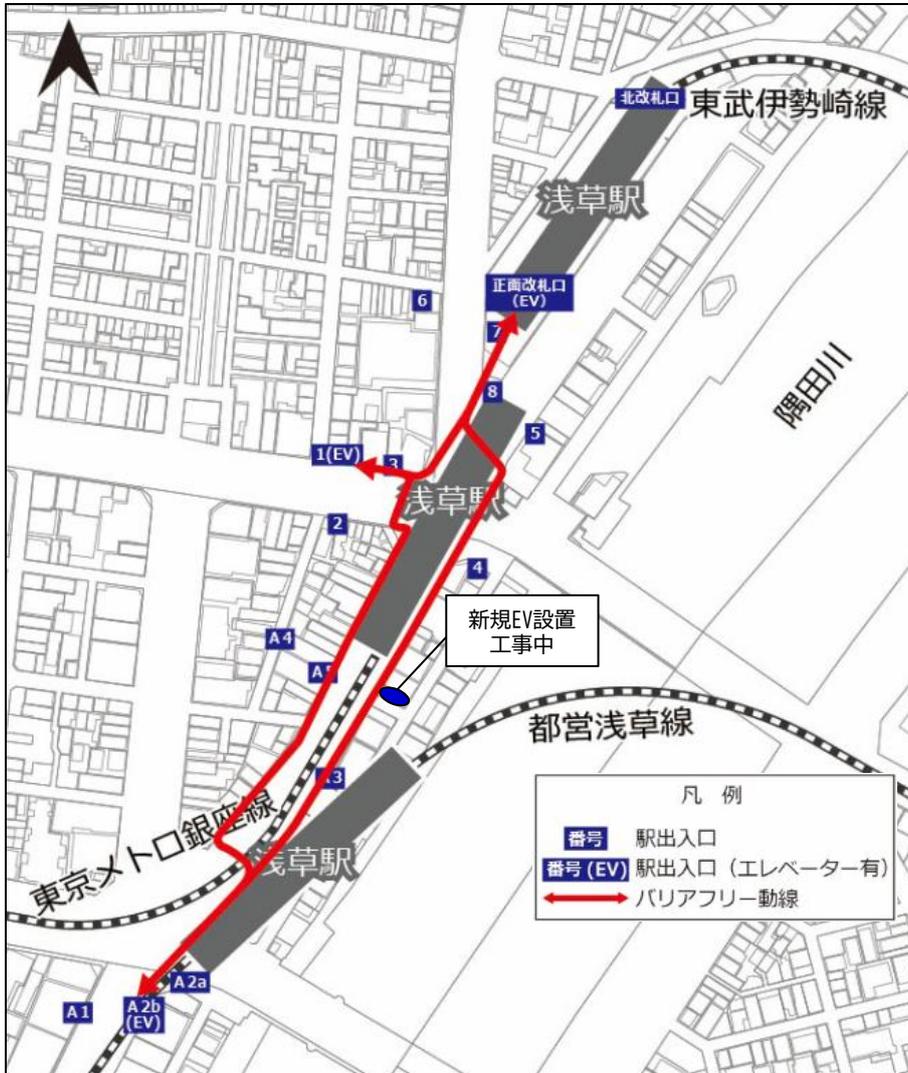
2. 現況整理編

(8) まち・交通の現況

⑥鉄道路線の駅の配置状況

- バリアフリー動線は、利便性の高い動線となっていない状況です。

バリアフリー動線



出典 浅草地区まちづくりビジョン策定委員会資料 (令和4年度)

2. 現況整理編

(8) まち・交通の現況

⑦鉄道路線の乗降客数の変化

- 令和元年度時点では、銀座線が1日約10万人と最も多く、江戸通り沿いの3路線と合わせると、20万人を超えました。コロナ禍により一時的に減少しましたが、令和6年度時点では概ね元の水準まで回復傾向にあります。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 【参考】他駅乗降客数
銀座線	108,434	57,513	63,485	84,355	101,926	108,544	渋谷駅：191,505 上野広小路駅：25,666
浅草線	55,671	29,467	33,309	45,976	56,120	59,010	浅草橋駅：60,025 押上駅：227,566
東武線	45,422	27,140	28,993	34,577	38,346	39,076	スカイツリー駅+押上駅 計：119,805
TX	(11,640)	(6,719)	(7,451)	(9,273)	(11,199)	(12,467)	秋葉原駅：(62,597) 新御徒町駅：(23,431)

※TX（つくばエクスプレス）は乗車人員のみ

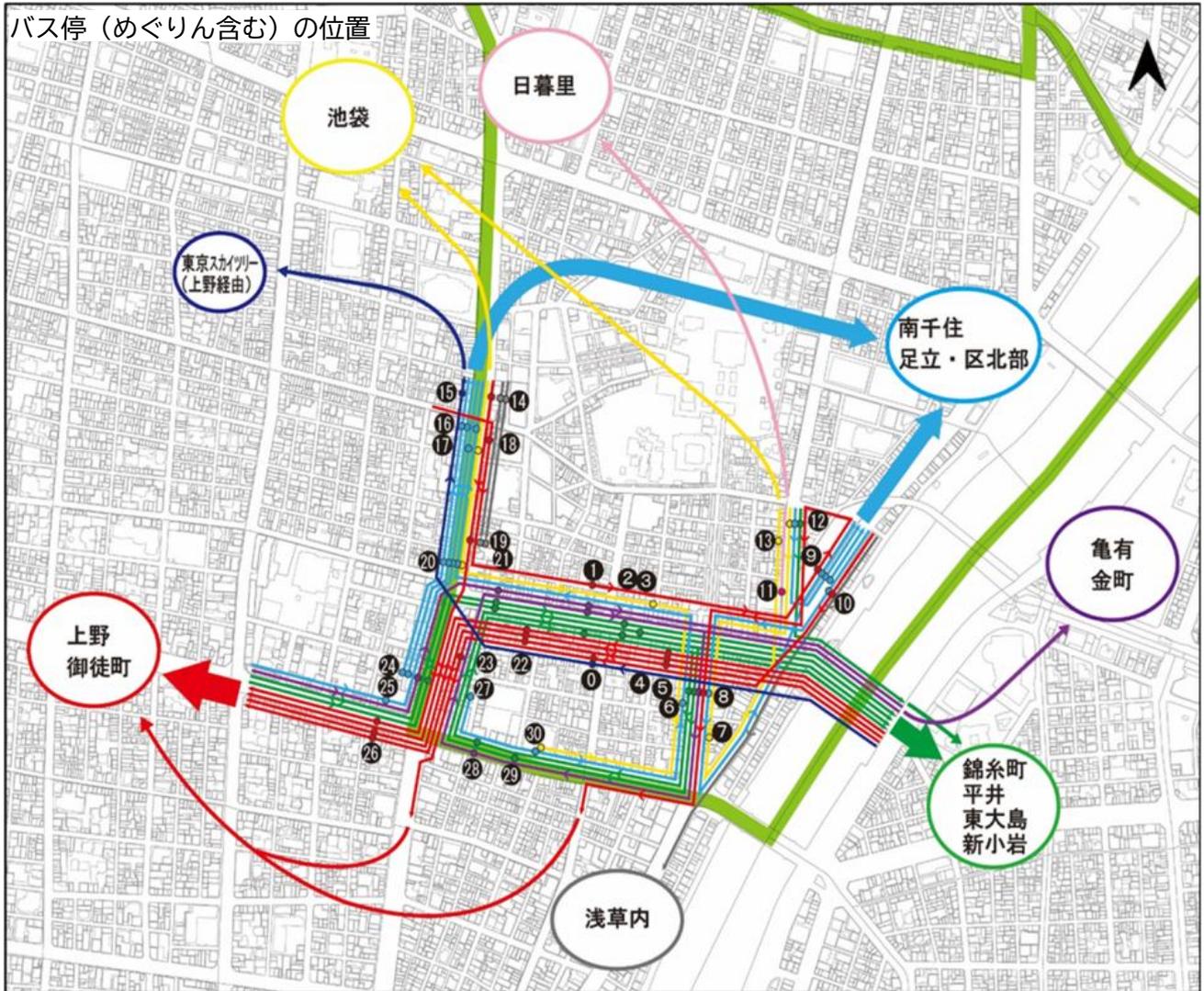
出典 鉄道会社各社ホームページ

2. 現況整理編

(8) まち・交通の現況

⑧ バス停の利用状況 — 設置状況

- 都内の各方面に向かうバス路線が充実しており、バス停も数多く設置されています。



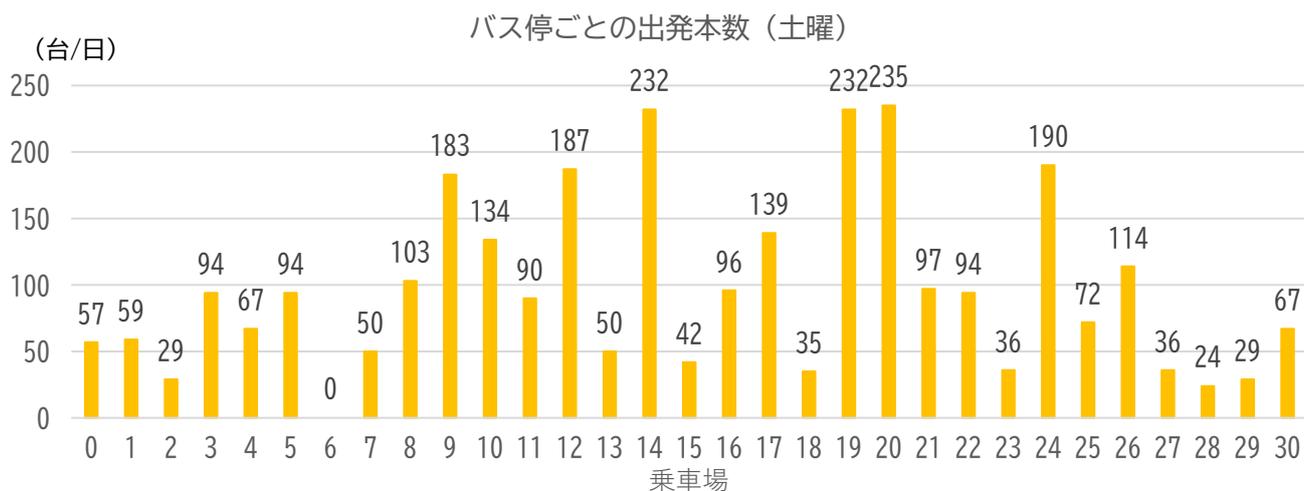
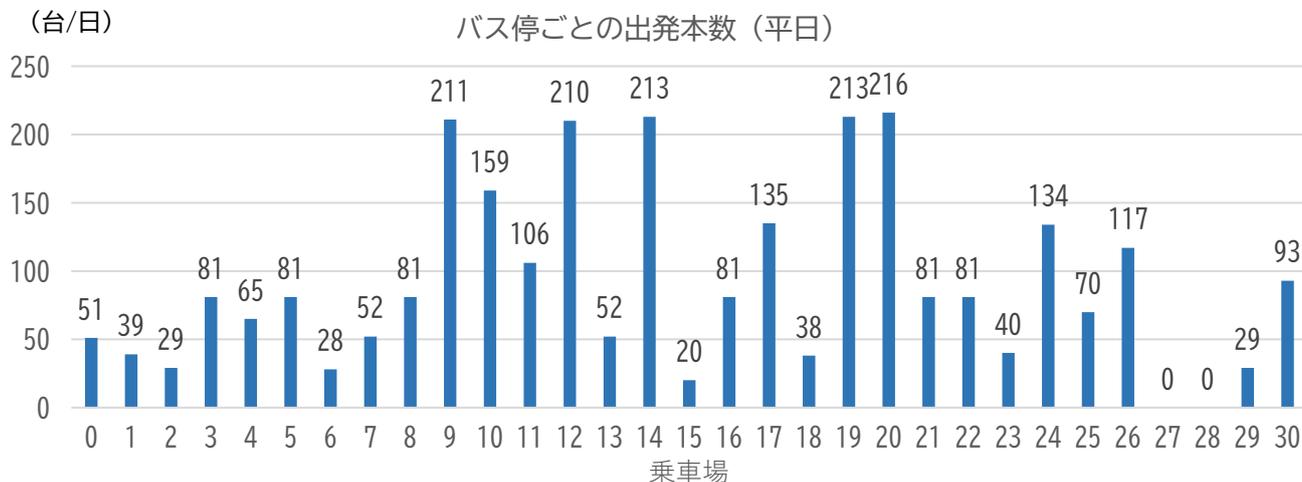
出典 浅草地区まちづくりビジョン策定委員会資料（令和4年度）

2. 現況整理編

(8) まち・交通の現況

⑧バス停の利用状況 —バス停ごとの出発本数

● 特に江戸通り（⑨・⑩）、馬道通り（⑫）、国際通り（⑭・⑰・⑳・㉔）の発着が多い状況です。



出典：各路線時刻表より作成（令和2年度）

出典 浅草地区まちづくりビジョン策定委員会資料（令和4年度）

2. 現況整理編

(8) まち・交通の現況

⑨観光バス乗降場の設置状況

- 観光バス乗降場は分散配置となっています。コロナ禍を経て利用実績は大きく落ち込みましたが、収束するにつれ、利用台数が従来の傾向にまで戻りつつあります。

観光バス乗降場の位置



観光バス乗降場の利用実績（平成30年～令和6年）



出典

浅草地区まちづくりビジョン策定委員会資料（令和4年度） ※「観光バス乗降場の利用実績」の表は時点更新

観光バス乗降場：台東区駐車場利用実績資料

※乗車場：二天門乗車場、東武浅草駅乗車場の合計値

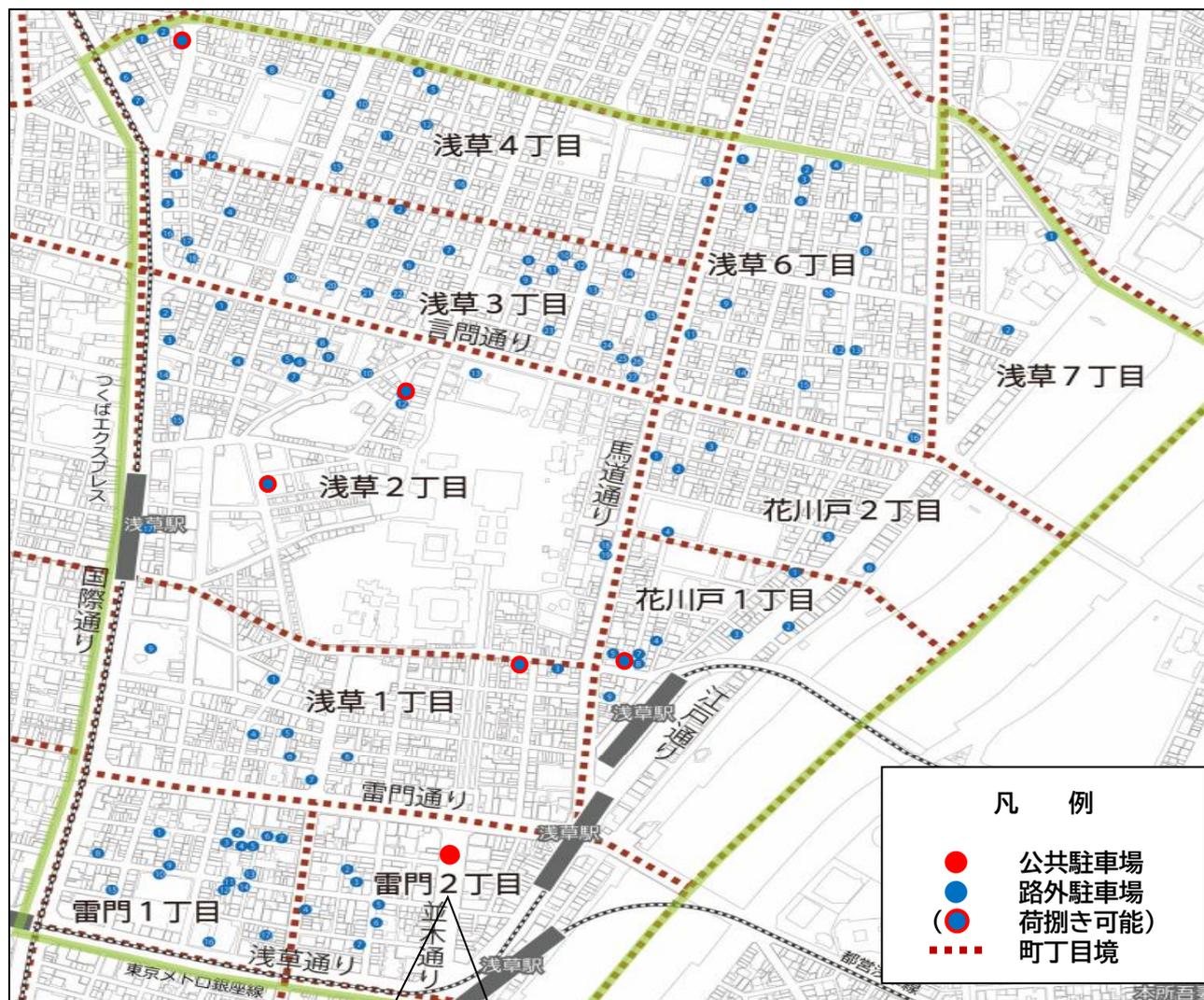
降車場：雷門通り降車場、国際通り降車場（令和3年度集計なし）、言問通り降車場の合計値

2. 現況整理編

(8) まち・交通の現況

⑩貨物用駐車場の確認

路外駐車場（公共・民間）の整備状況



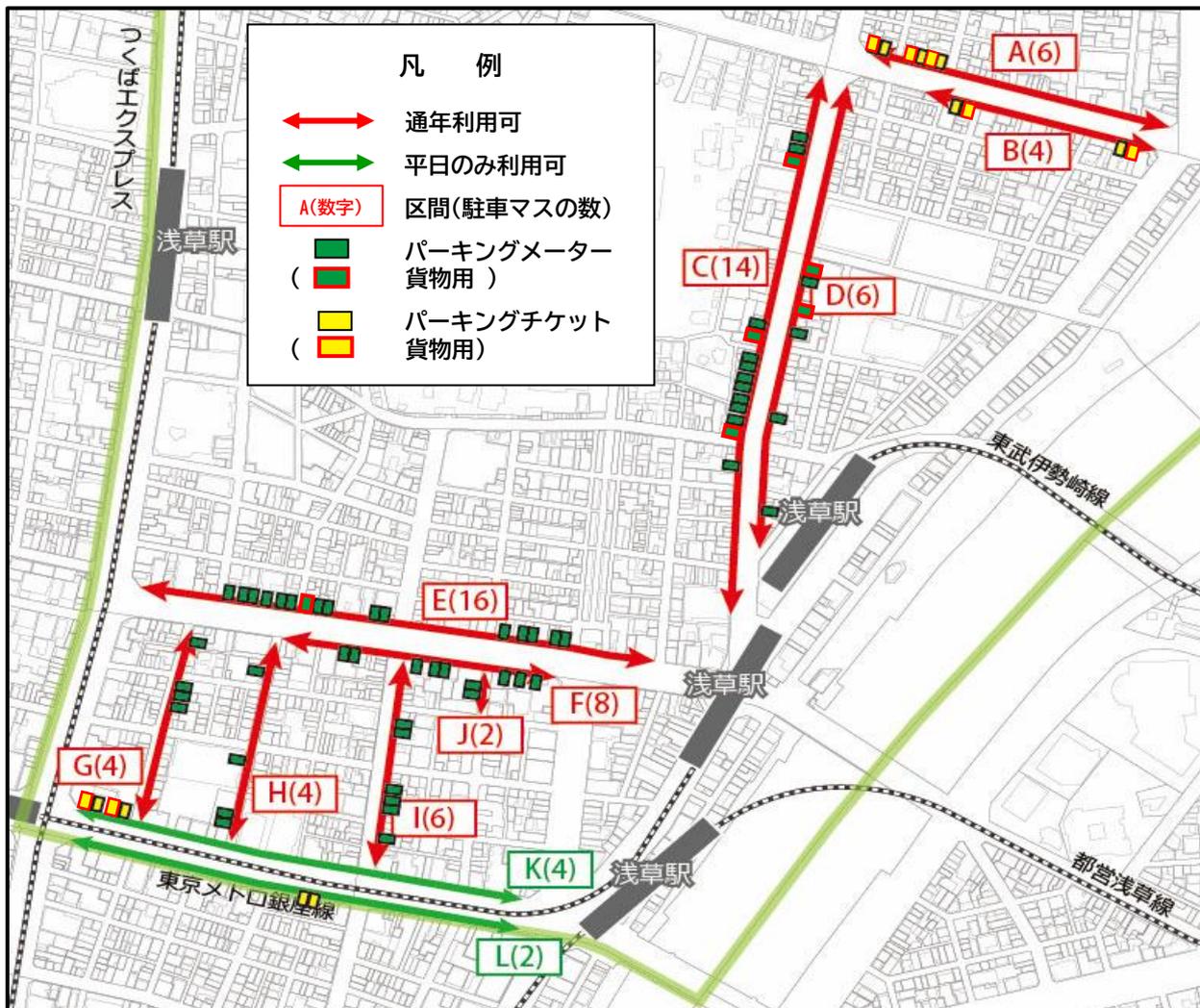
町丁目	個所数	収容台数(台)
浅草1丁目	9	135
浅草2丁目	19	180
浅草3丁目	27	111
浅草4丁目	16	75
浅草6丁目	16	71
浅草7丁目	2	25
花川戸1丁目	9	126
花川戸2丁目	6	32
雷門1丁目	17	95
雷門2丁目	7	238
合計	128	1088

出典 浅草地区まちづくりビジョン策定委員会資料（令和4年度）

2. 現況整理編

(8) まち・交通の現況

路上パーキングメーター等の整備状況



番号	種別 ※1	料金	利用可能日時 ※2	利用可能時間帯	対象車両	台数 [台]
A	PC	300円/60分以内	通年	9:00~19:00	普通車、貨物用あり	6
B	PC	300円/60分以内	通年	9:00~19:00	普通車、貨物用あり	4
C	PM	300円/60分以内	通年	9:00~19:00	普通車、貨物用あり	14
D	PM	300円/60分以内	通年	9:00~19:00	普通車、貨物用あり	6
E	PM	300円/60分以内	通年	9:00~19:00	普通車、貨物用あり	16
F	PM	300円/60分以内	通年	9:00~19:00	普通車	8
G	PM	300円/60分以内	通年	9:00~19:00	普通車	4
H	PM	300円/60分以内	通年	9:00~19:00	普通車	4
I	PM	300円/60分以内	通年	9:00~19:00	普通車	6
J	PM	300円/60分以内	通年	9:00~19:00	普通車	2
K	PC	300円/60分以内	平日のみ	9:00~19:00	普通車、貨物用あり	4
L	PC	300円/60分以内	平日のみ	9:00~19:00	普通車	2
計						76

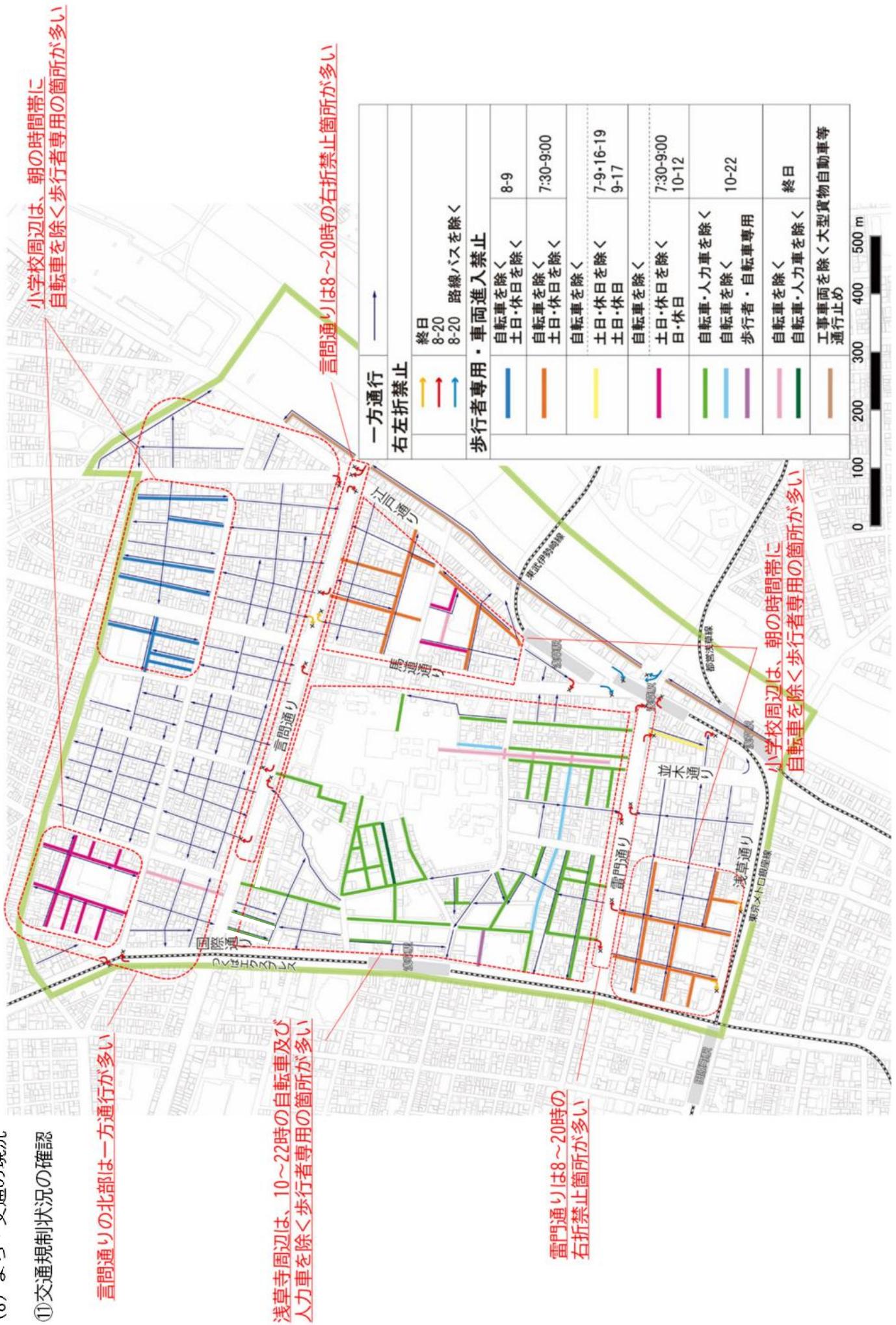
※1 PM：パーキングメーター、PC：パーキングチケット

※2 1月1日～1月3日を除く。

出典 浅草地区まちづくりビジョン策定委員会資料（令和4年度）

(8) まち・交通の現況

①交通規制状況の確認



2. 現況整理編

(8) まち・交通の現況

⑫ バリアフリー状況の確認

主な短期特定事業



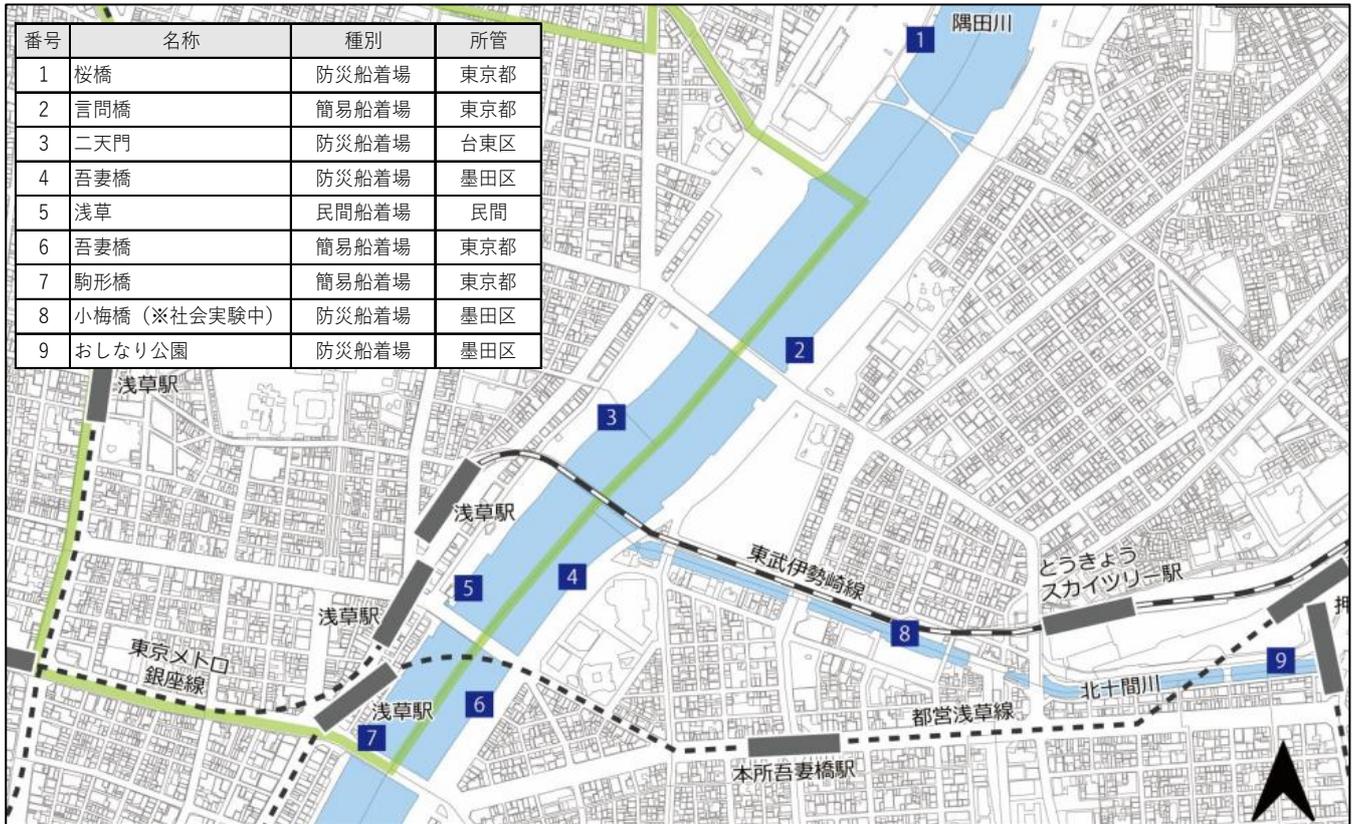
出典 台東区バリアフリー特定事業計画 前期(令和4~8年度)

2. 現況整理編

(8) まち・交通の現況

⑬船着き場の設置状況

浅草地区周辺には多数の船着き場が設置されています。



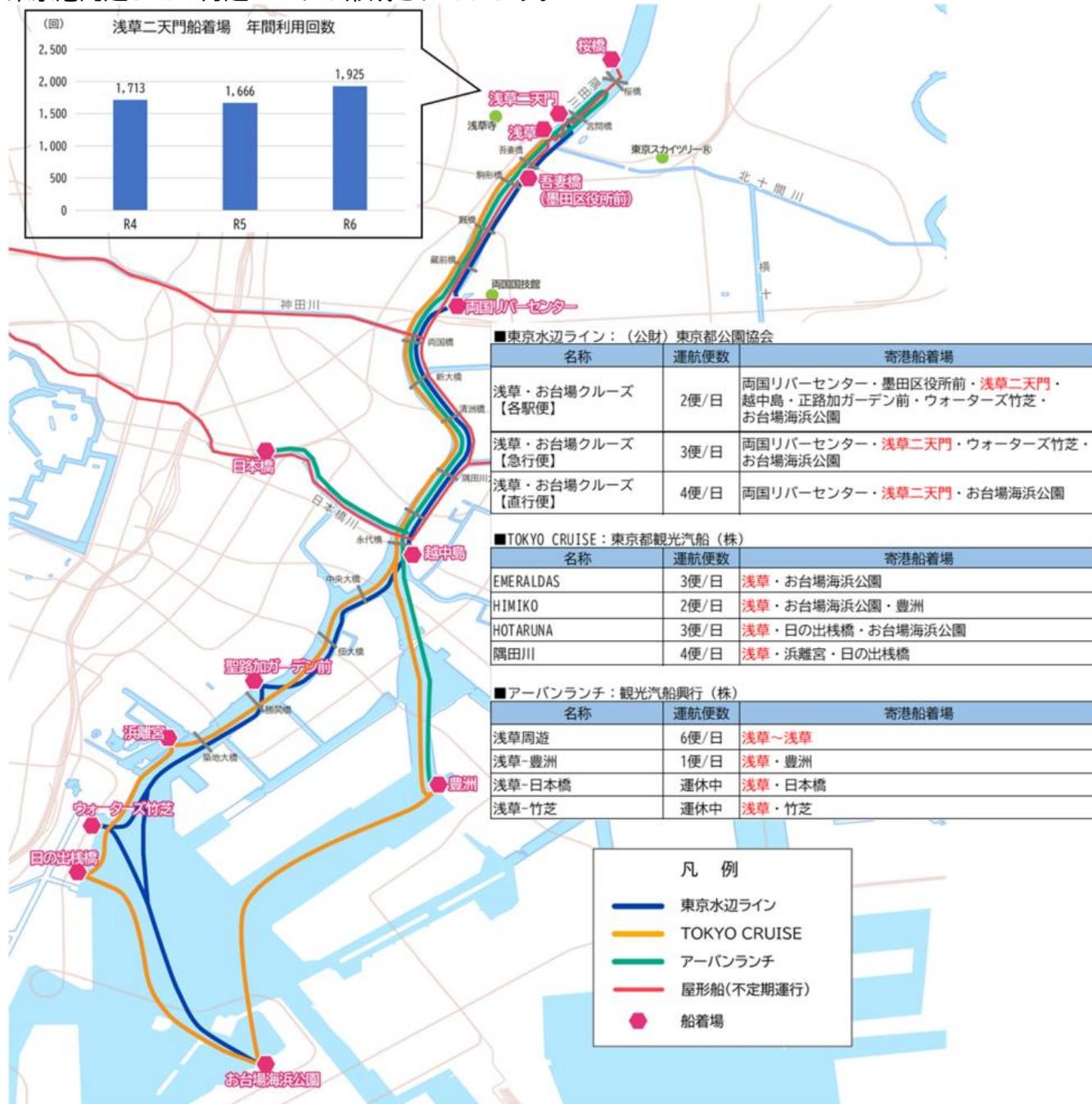
出典 浅草地区まちづくりビジョン策定委員会資料（令和4年度）

2. 現況整理編

(8) まち・交通の現況

⑭ 舟運ルートの形成状況

東京港周辺までの舟運ルートが形成されています。



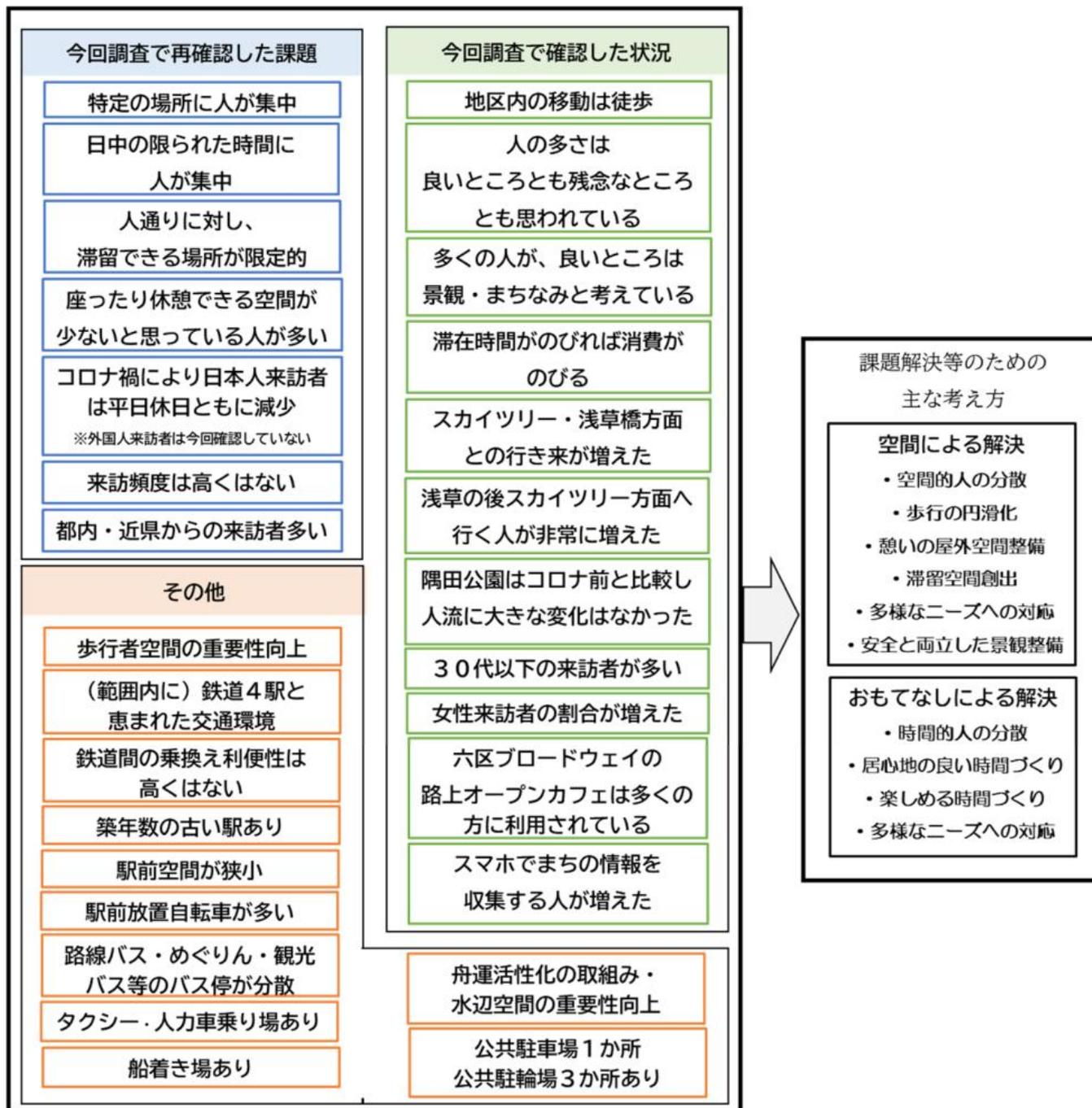
出典 浅草地区まちづくりビジョン策定委員会資料(令和4年度)

※「浅草二天門船着場年間利用回数」の表は時点更新

2. 現況整理編

(9) 浅草地区の課題

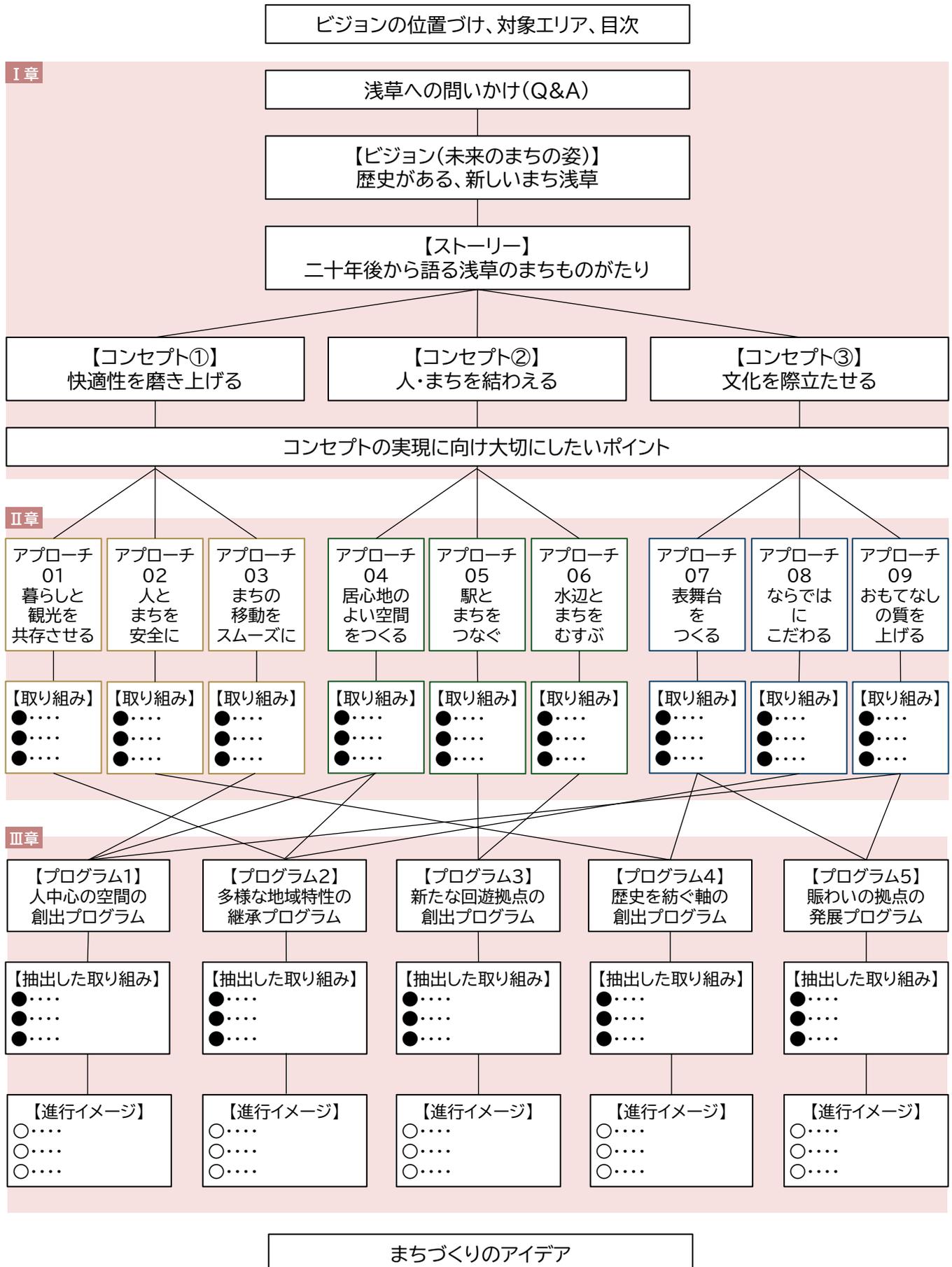
ここまでの現況整理結果を踏まえると、浅草地区の課題とその解決のための主な考え方は以下のように整理できました。



出典 浅草地区まちづくりビジョン策定委員会資料（令和4年度）

3. ビジョンの構成

本図案は、将来のまちの姿を前面に提示したうえで、どのような取り組みや整備の考え方に則り事業を進めていくかを整理する「バックキャスト型」の構成としました。



4. 地域・部会員から挙がった意見

(1) 浅草地区観光まちづくり推進協議会ワークショップで挙がった意見

ビジョン検討に関連する動きとして、「浅草地区観光まちづくり推進協議会」の中でワークショップが開催され、地区ごとにさまざまな意見交換が行われました。そこで挙がった意見の概要についてご紹介します。

浅草地区観光まちづくり推進協議会について

設立日	平成16年7月
会員	会長：協同組合浅草商店連合会 理事 熊澤 永行 会員：浅草観光連盟・浅草商店連合会、各種団体及び地元企業 町会、浅草寺 事務局長：松本 光昭 他
設立目的	浅草地区において観光まちづくりの方策を検討し、推進する。
近年の活動の方向性	「世界に通用する国際観光都市・浅草」の実現に向けた浅草の未来戦略を基本とし、「浅草の魅力づくり」への課題抽出・再生への提案を行うとともに、「行政」と「地域」が一体となったまちづくりへの推進活動を行う。
主な活動内容	平成17年3月「浅草まちづくりマスタープラン」作成 ⇒まちづくりの実現に向けた活動 ⇒伝法院通り等景観整備事業の実現 ⇒「浅草六区地区地区計画」の提案 ⇒浅草六区地区「国家戦略特区」の認定支援 ⇒オープンカフェの社会実験実施支援 等

ワークショップ開催経緯について

～コロナ禍により浅草の観光の特性は大きく変化～

活動方針

アフターコロナ・ウィズコロナを見据えた「浅草の目指すべき将来像」を描く
「浅草の観光資源とは何か」の再発見



活動内容

浅草のまちづくりへの課題と取組みは地域特性により異なる
▷浅草全体を5地区に分け、ワークショップを開催



地区ごとの特性を踏まえた課題と解決方針を抽出

課題の抽出

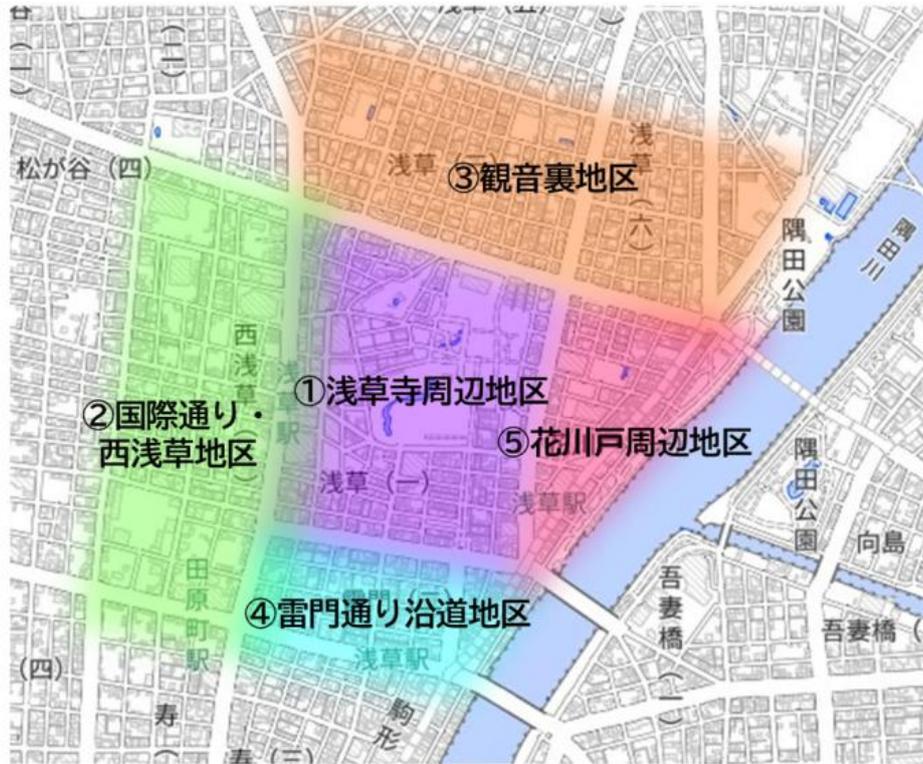
⇒ 解決方針の提案

⇒ 方針のまとめ

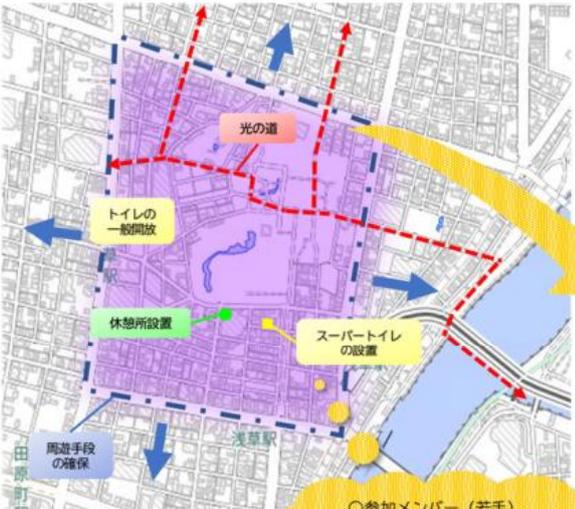
⇒ 将来像（案）

4. 地域・部会員から挙がった意見

地区分けについて



①浅草寺周辺地区



第1回：令和4年9月1日（木）@浅草公園町会会館
 第2回：令和5年2月14日（火）@浅草公園町会会館

参加メンバー（若手）
 株式会社コマチセンター、浅草よ兵衛、
 よろみ屋、大黒家天麩羅、どぜう飯田屋、
 木村屋本店、株式会社雷おこし本舗、
 甘味処彩夏、麻鳥、ふじ屋



魅力	<ul style="list-style-type: none"> ・雰囲気の異色性、魅力ある伝統文化 ・観光客での賑わい
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・回遊性の向上 ・公衆トイレ、休憩所不足 ・喫煙所不足によるポイ捨ての増加 ・食歩きの意識改革
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・光の道（スカイツリー～浅草寺～観音裏地区のライトアップ） ・周辺地区への周遊手段の確保（LUUPや小型循環バス等） ・スーパートイレ（パウダールーム+ベビールーム）の設置 ・トイレ、喫煙所の一般開放呼びかけ（公共、民間施設） ・沿道未利用地等へ休憩所設置

出典 浅草地区まちづくりビジョン策定委員会資料（令和5年度）

4. 地域・部会員から挙げた意見

②国際通り・西浅草地区



第1回：令和4年11月28日（月）@生涯学習センター

第2回：令和5年2月8日（水）@生涯学習センター

魅力	<ul style="list-style-type: none"> ・「食」「芸能」「祭り」などの魅力ある伝統文化 ・商店街主催のイベントによるまちの活性化
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆トイレ不足 ・回遊性の向上 ・夜の魅力不足
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの一般開放呼びかけ（民間施設） ・民間施設のトイレ利用に関するルールづくり ・各商店街の連携による地域の活性化 ・国際通りに人を滞留させ賑わいを創出 ・東西動線の強化（浅草～上野間との連携） ・夜の飲食・観光で宿泊を増やし観光客の滞在時間を延長

③観音裏地区



第1回：令和4年12月1日（木）@馬道区民館

第2回：令和4年12月16日（土）@馬道区民館

第3回：令和5年2月25日（土）@馬道区民館

魅力	<ul style="list-style-type: none"> ・花柳界などの歴史や伝統文化 ・小料理店などの名店が点在 ・観光と生活圏が共存するまち
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・花柳界の衰退 ・公衆トイレ、休憩所不足 ・観光客と居住者の双方にバランスが取れたまちづくり
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・芸者の魅力発信及び料亭を増やすための仕組みづくり ・観光拠点、ワークショップスペースの形成（見番建替え） ・路上イベントの企画 ・観音裏地区のローカルルールを作成 ・伝統工芸の各工房に作品展示場やカフェの併設 ・トイレの一般開放呼びかけ（公共、民間施設）

出典 浅草地区まちづくりビジョン策定委員会資料（令和5年度）

4. 地域・部会員から挙げた意見

④雷門通り沿道地区

～ワークショップの様子～



第1回：令和4年12月16日（金）@浅草文化観光センター
 第2回：令和5年3月4日（土）@浅草公園町会会館

○参加メンバー（若手）
 雷門田原町会、雷門中部町会、
 雷門東部町会、雷門西部町会にお住まいの方 等



魅力	<ul style="list-style-type: none"> ・賑わいの創出が可能な人中心の道路空間のあるまち ・観光と生活圏が共存するまち
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗が少なくなり、まちの賑わいや活気が衰退 ・公衆トイレ、喫煙所や広場が不足 ・店先へのごみのポイ捨て・放置 ・観光客の回遊コースの固定化
解決策	<ul style="list-style-type: none"> ・路面店の出店による観光客の誘致 ・雷門前の広場化 ・景観の一体化（オレンジ通り～雷門仲通り） ・観光地図の作成（浅草～スカイツリー） ・トイレ、喫煙所、ごみ箱の設置 ・学校、図書館や文化施設等が併設された複合施設の整備

出典 浅草地区まちづくりビジョン策定委員会資料（令和5年度）

4. 地域・部会員から挙げた意見

(2) まちづくり部会ワークショップで挙げた意見

まちづくり部会でも、構成員からの意向を把握するためワークショップが開催され、にさまざまな意見交換が行われました。そこで挙げた意見の概要についてご紹介します。

■開催日時

- 令和5年7月24日（月）10:00～

■実施内容

- 岡村先生班と西村先生班に分かれて、ワークショップを実施
- テーマは「20年後の浅草をどういうまちにしたいか?」
- ワークショップの流れは下記のとおり

約30分	各班で意見交換
約10分	各班内での意見のとりまとめ
約10分	先生からの各班発表



出典 浅草地区まちづくりビジョン策定委員会資料（令和5年度）

4. 地域・部会員から挙げた意見

■意見交換の様子



出典 浅草地区まちづくりビジョン策定委員会資料 (令和5年度)

4. 地域・部会員から挙げた意見

■主なご意見

観光

浅草らしさ

- 来訪者の求める「らしさ」の追求が必要
- かつてあったエンタメ機能・要素の復活
- きれいになりすぎないまち
- 時代の最先端の導入
- ひとつにまとまらない幅広い魅力
- 暮らしや営みの感じられるまち
- 普段からワクワク（イベントがなくても魅力的）
- 水辺の盛り場
- 景観の保全
- すぐれた食文化

守るべきもの

- 地域の歴史や伝統
- 昔から続くイベント
- 地域の人も楽しめる店舗
- ほのかに残る江戸・明治・大正の時代感、営み
- 地域の暮らしや営み
- 来街者のマナー啓発ルール作り
- 歴史的なストーリー

これから必要なもの

ハード

- 高級ホテル（富裕層向け施設）
- トイレ・休憩所・ゴミ箱
- バリアフリー
- 水辺との連携、つながり
- 水辺のにぎわい

現状や課題意識

- ごみのポイ捨て
- 食べ歩き
- トイレ不足
- 民泊は地元への還元が少ない？
- 浴衣の若者は消費が少ない？

ソフト（地域向け）

- SDGsのような概念
- 持続可能、多様性
- 新規出店者への意識（ルール）づくり
- 店舗同士の協力
- 芸人の育成
- 個店の魅力の発信、魅力を活かしたプロモーション
- 来街者・地域の青年部ともに若い世代に歴史の継承
- 働く人の満足度向上

ターゲット

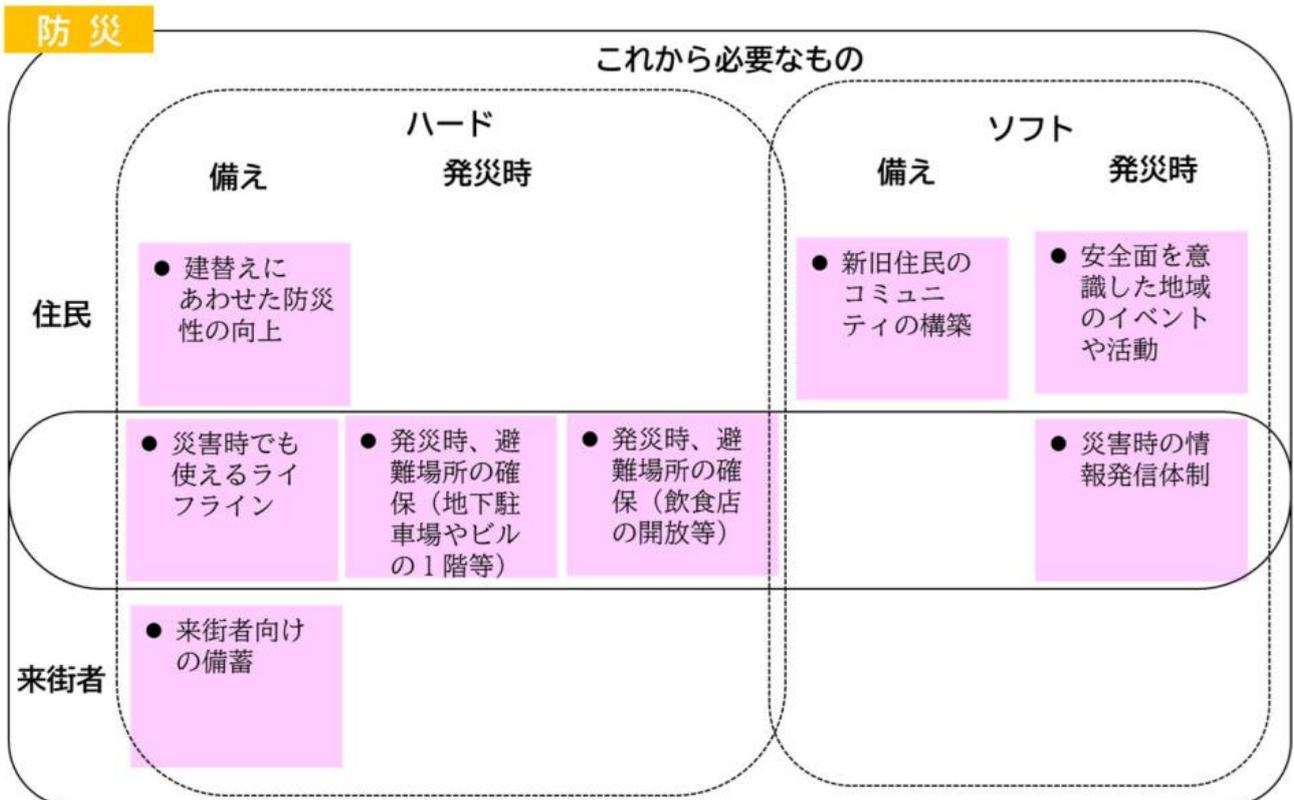
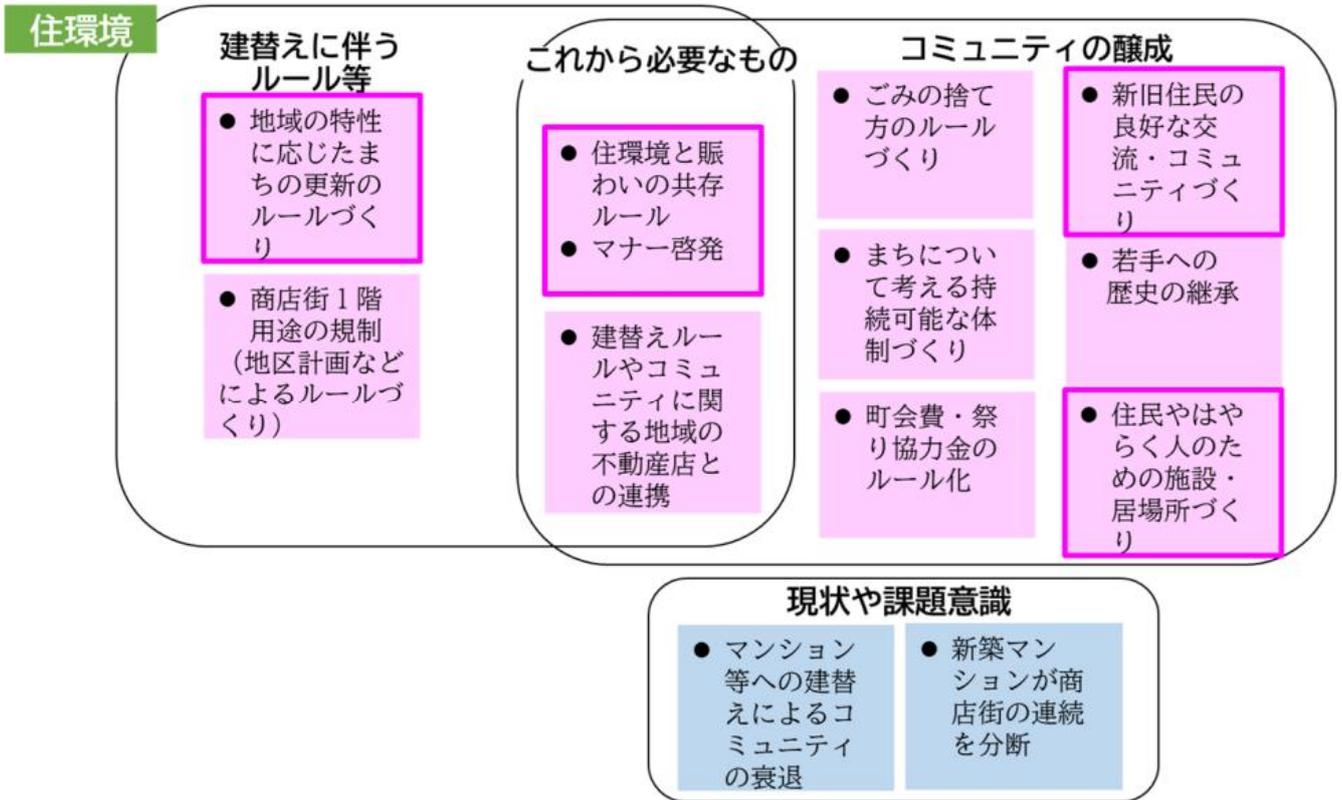
- 修学旅行生はじめ全世代

ソフト（来街者向け）

- 滞在時間を延ばすコト消費
- ボランティアガイドのレベルアップ・有償化
- 幅広い範囲の浅草の楽しみ方・回遊の仕方の発信
- 富裕層にも対応したホンモノを感じさせる高質な商品・サービス
- 夜の観音裏の魅力発信
- 時間的分散を図る工夫
- 周辺エリアとの往来
- 安全・快適なまち
- マナー啓発

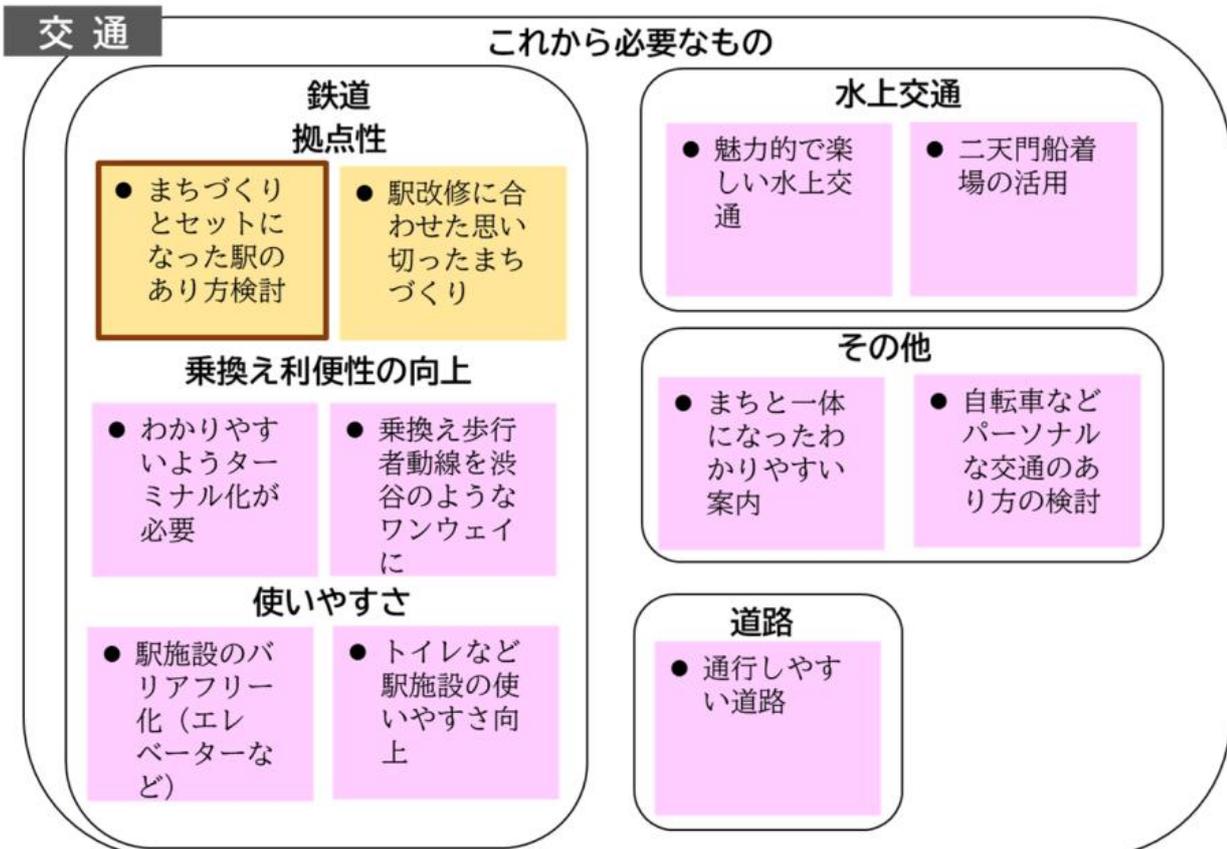
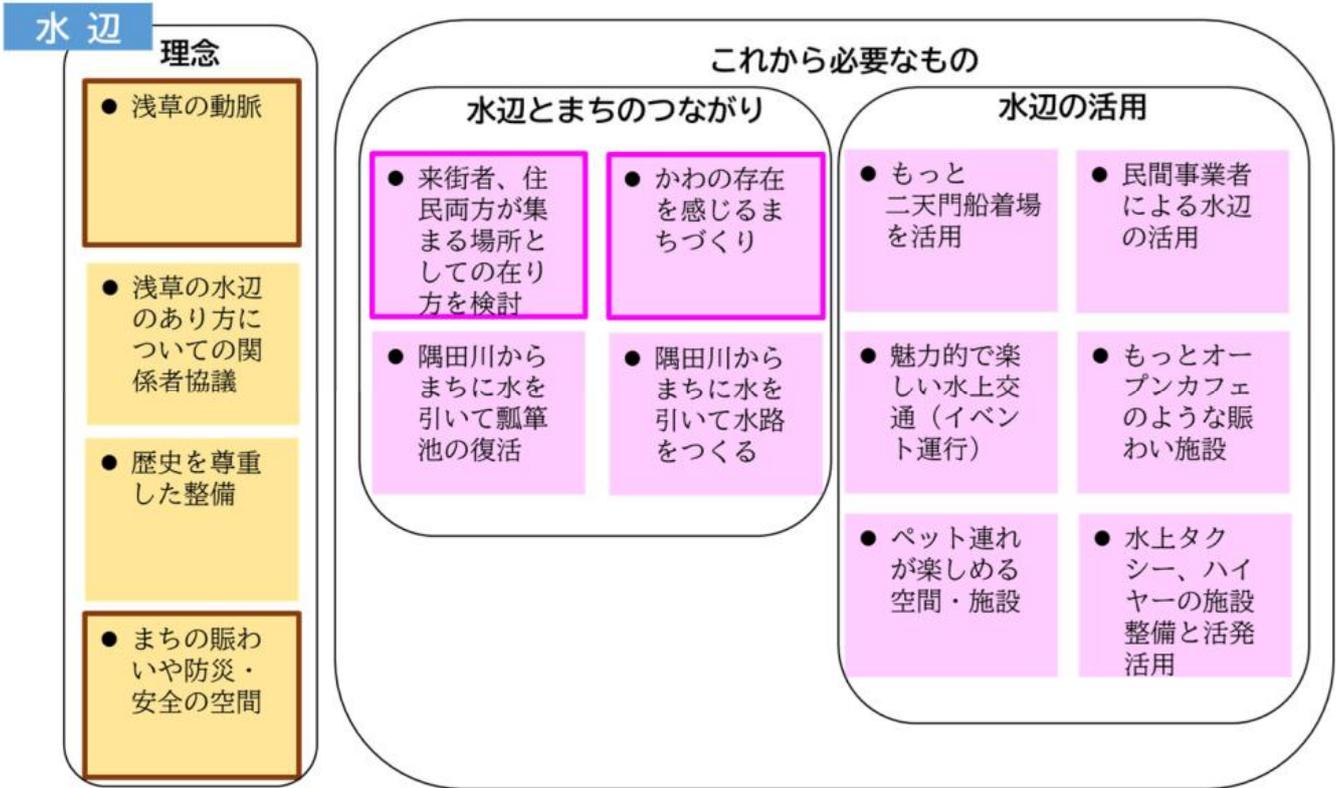
出典 浅草地区まちづくりビジョン策定委員会資料（令和5年度）

4. 地域・部会員から挙げた意見



出典 浅草地区まちづくりビジョン策定委員会資料（令和5年度）

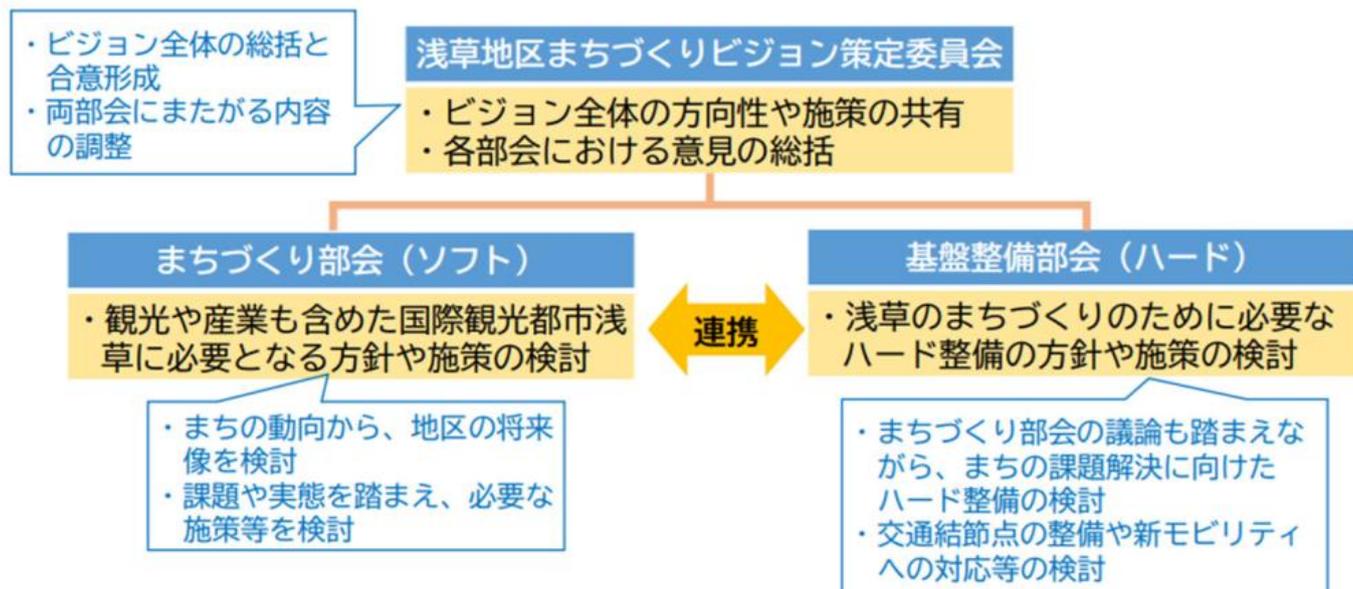
4. 地域・部会員から挙げた意見



5. 委員会・部会の開催経緯

本図案の検討にあたっては、浅草地区の将来像の明確化に向け、まちづくりと基盤整備の両輪で検討を推進しました。

- 「まちづくり部会」は、主にソフト面の取り組みを整理し、基盤整備部会の検討内容を共有
- 「基盤整備部会」は、地区の現状やまちづくり部会の検討を踏まえ、今後の社会動向を見据えたハード面の取り組みを整理
- 策定委員会は、両部会の意見を総括し、ビジョン全体の方向性や施策をとりまとめ



5. 委員会・部会の開催経緯

(1) 浅草地区まちづくりビジョン策定委員会（第1～11回）

回	日程	議事
第1回	令和4年9月28日（水）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 浅草地区の状況について 2. 浅草地区のまちの課題とまちづくりの視点について 3. 今後の検討の進め方について
第2回	令和5年2月15日（水）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1回ビジョン策定委員会（部会合同開催）の振り返り 2. ビジョン策定に向けた調査の結果 3. 課題解決のための論点 4. 今後の検討の進め方
第3回	令和5年8月2日（水）	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジョン策定のスケジュール 2. 令和4年度の検討の振り返り 3. 第3回各部会の概要 4. 基盤整備部会の検討状況 5. まちづくり部会の検討状況 6. ビジョンの基本的な考え方（案） 7. 令和5年度の取り組み 8. 今後の検討の進め方
第4回	令和6年2月7日（水）	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジョン策定のスケジュール 2. 第3回策定委員会の振り返り 3. まちづくり部会の検討状況 4. 基盤整備部会の検討状況 5. 雷門通りにおける社会実験 6. 今後の検討の進め方
第5回	令和6年8月21日（水）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和5年度の検討の振り返りについて 2. 前回部会での議論の状況について 3. ビジョンの構成検討について 4. ビジョン策定のスケジュールについて
第6回	令和7年3月28日（金）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前回委員会以降の各部会等での議論状況について 2. ビジョン策定のスケジュールについて 3. ビジョン素案作成に向けて 4. ビジョン策定後の検討体制（案）について
第7回	令和7年7月1日（火）	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジョン素案について
第8回	令和7年8月22日（金）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前回委員会以降の各部会等での議論の状況について 2. ビジョン策定のスケジュールについて 3. ビジョンについて
第9回 （第10回 部会合同 開催）	令和7年10月10日（金）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前回委員会の議論の状況について 2. ビジョン策定のスケジュールについて 3. ビジョンについて 4. ビジョン・プログラムの推進に向けた協議会等の設立について
第10回 （第11回 部会合同 開催）	令和7年12月 ※書面開催による意見聴取	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジョンに掲載するイラスト等の修正について 2. ビジョン・プログラムの推進に向けた会議体の体制について 3. ビジョン策定後の取り組みについて
第11回 （第12回 部会合同 開催）	令和8年1月22日（木）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前回委員会以降の議論の状況について 2. ビジョンについて

5. 委員会・部会の開催経緯

(2) まちづくり部会（第1～12回）

回	日程	議事
第2回	令和5年1月30日（月）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1回ビジョン策定委員会（部会合同開催）の振り返り 2. ビジョン策定に向けた調査の結果 3. 「ウォーカブルな空間づくり」「公民連携のまちづくり」 4. 課題解決のための論点 5. 今後の検討の進め方
第3回	令和5年7月24日（月）	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジョン策定のスケジュール 2. 令和4年度の検討の振り返り 3. 浅草地区まちづくり推進協議会ワークショップ結果報告 4. 将来イメージについて 5. 令和5年度の取り組み 6. 今後の検討の進め方
第4回	令和5年10月3日（火）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第3回各部会及び策定委員会の概要及び意見について 2. ビジョン策定のスケジュールについて 3. まちの将来イメージ・ビジョンのコンセプトについて 4. 今後の検討の進め方
第5回	令和5年12月4日（月）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第4回まちづくり部会での議論について 2. まちの将来イメージ・ビジョンのコンセプトについて 3. 各論点の議論（景観）について 4. ウォーカブル社会実験の概要について 5. 今後の検討の進め方
第6回	令和6年7月22日（月）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和5年度の検討の振り返りについて 2. ビジョン策定のスケジュールについて 3. 各論点の議論（観光、防災・避難、水辺空間）について 4. ビジョンコンセプトの検討状況について 5. まちのありたい姿と実現に向けた戦略について 6. 令和6年度の取り組みについて
第7回	令和7年1月14日（火）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前回の振り返りについて 2. ビジョン策定のスケジュールについて 3. ビジョン素案作成に向けて（全体構成、プロジェクトアイデアとロードマップ） 4. 今後の検討事項について
第8回	令和7年6月17日（火）	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジョン素案作成に向けて 2. ビジョンⅡ章に位置づける「地区内の回遊・地区外への広がりイメージ」について 3. ビジョンⅢ章に位置づけるソフト施策に関するプロジェクトやアイデアについて
第9回	令和7年8月8日（金）	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジョン作成に向けて（前回部会以降の検討状況、ビジョンの表紙・タイトル） 2. ビジョンⅠ～Ⅱ章について 3. ビジョンⅢ章について

※第1・10回・11・12回は、策定委員会・整備整備部会との合同にて開催。策定委員会の議事を参照。

5. 委員会・部会の開催経緯

(3) 基盤整備部会（第1～12回）

回	日程	議事
第2回	令和5年2月8日（水）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1回ビジョン策定委員会（部会合同開催）の振り返り 2. ビジョン策定に向けた調査の結果 3. 浅草地区における交通の現況 4. 「ウォーカブルな空間づくり」「公民連携のまちづくり」 5. 課題解決のための論点 6. 今後の検討の進め方
第3回	令和5年7月21日（金）	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジョン策定のスケジュール 2. 令和4年度の検討の振り返り 3. ビジョンの基本的な考え方（案） 4. まちづくり部会での議論 5. 交通結節点について 6. 論点5及び論点6について 7. 令和5年度の取り組み 8. 今後の検討の進め方
第4回	令和5年12月19日（火）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前回の各部会及び策定委員会の議論について 2. ビジョン策定のスケジュールについて 3. 基盤整備の方向性について 4. ウォーカブル社会実験の概要について 5. 今後の検討の進め方
第5回	令和6年8月1日（木）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和5年度の検討の振り返りについて 2. ビジョン策定のスケジュールについて 3. 第6回まちづくり部会の検討状況 4. 各論点の議論（防災・避難、水辺空間）について 5. ビジョンの構成検討について
第6回	令和6年9月30日（月）	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジョン策定のスケジュールについて 2. ビジョンの素案について 3. 東武浅草駅周辺都市整備の検討経緯について
第7回	令和7年3月11日（火）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前回の振り返りについて 2. ビジョン策定のスケジュールについて 3. 第7回まちづくり部会でのご意見について 4. 回遊性の向上に関する検討について 5. ビジョン素案作成に向けて 6. ビジョン策定後の検討体制（案）について
第8回	令和7年6月10日（火）	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジョン素案作成に向けて 2. ビジョンⅢ章に位置づける基盤整備関係の主要プロジェクトについて 3. ビジョンⅣ章で示す将来イメージパースの作成方針について
第9回	令和7年8月1日（金）	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジョン作成に向けて 2. ビジョンⅡ章で示す「実現に向けた取り組み」について 3. ビジョンⅢ章で示す将来イメージパースについて

※第1・10回・11・12回は、策定委員会・まちづくり部会との合同にて開催。策定委員会の議事を参照。

5. 委員会・部会の開催経緯

浅草地区まちづくりビジョン策定委員会設置要綱

浅草地区まちづくりビジョン策定委員会設置要綱

令和5年9月13日

5台都地二第285号

(目的)

第1条 台東区が、浅草地区におけるまちづくりの方向性を示す「浅草地区まちづくりビジョン」(以下「まちづくりビジョン」という。)を策定するにあたり、学識経験を有する者等からの意見を聴取するため、浅草地区まちづくりビジョン策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(検討事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について検討する。

- (1) まちづくりビジョンの策定に関すること。
- (2) 都市基盤整備等に関すること。
- (3) まちづくり等に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、浅草地区のまちづくりに関して必要な事項

(構成)

第3条 委員会は、別表1に掲げる者をもって構成する。

(会長及び副会長)

第4条 委員会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、別表1に規定する学識経験を有する者のうちから、委員の互選によってこれを定める。
- 3 会長は、委員会を代表し、会務を統括する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代理する。

(招集等)

第5条 委員会は、会長が招集する。

- 2 会長は、必要に応じて委員会に委員以外の者の出席を求め、意見若しくは説明を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

(書面等による会議)

第6条 前条第1項の規定にかかわらず、会長は、緊急の必要性があり、委員会を招集する時間的余裕がないと認める場合その他やむを得ない事由がある場合は、委員会の招集に代えて、委員に対する書面の回付その他会長が指定する方法により会議

5. 委員会・部会の開催経緯

浅草地区まちづくりビジョン策定委員会設置要綱

を行うことができる。

(専門部会)

第7条 第2条に規定する検討事項を専門的に検討するため、委員会の下に基盤整備部会及びまちづくり部会（以下「各部会」という。）を設置する。

2 各部会は次の各号に掲げる事項について検討する。

(1) 基盤整備部会 都市基盤整備等に関する事項

(2) まちづくり部会 まちづくり等に関する事項

3 各部会は、別表2及び別表3に掲げる者をもって構成する。

4 各部会に部会長を置く。

5 部会長は、学識経験を有する者の中から会長が指名する。

6 各部会は、各部会長が招集する。

7 各部会長は、必要に応じて部会に部会員以外の者の出席を求め、意見若しくは説明を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

8 第6項の規定にかかわらず、各部会長は、緊急の必要性があり、部会を招集する時間的余裕がないと認める場合その他やむを得ない事由がある場合は、部会の開催に代えて、部会員に対する書面の回付その他部会長が指定する方法により会議を行うことができる。

(委員会及び会議録等の取扱い)

第8条 委員会の会議並びに会議録及び会議に係る資料（以下これらを「会議録等」という。）は、公開する。ただし、東京都台東区情報公開条例（平成5年3月台東区条例第1号）第6条第1項各号の非公開情報に該当する会議録等については、この限りでない。

(任期)

第9条 会長、副会長及び委員並びに部会長及び部会員の任期は、まちづくりビジョンの策定が終了する日までとする。

(事務局)

第10条 委員会の事務局は、都市づくり部地域整備第二課に置く。

(委任)

第11条 この要綱に定めるもののほか、委員会及び部会の運営に必要な事項は、会長が別に定める。

5. 委員会・部会の開催経緯

浅草地区まちづくりビジョン策定委員会設置要綱

付 則

- 1 この要綱は、令和4年9月9日から施行する。
- 2 第5条第1項の規定にかかわらず、最初の委員会は、区長が招集する。

付 則

この要綱は、令和5年9月13日から施行する。

別表1（第3条関係）浅草地区まちづくりビジョン策定委員会

会 長	
副会長	学識経験を有する者
委 員	
委 員	浅草地区観光まちづくり推進協議会に属する者
委 員	花川戸まちづくり推進協議会に属する者
委 員	浅草寺に属する者
委 員	雷門地区町会連合会に属する者
委 員	馬道地区町会連合会に属する者
委 員	清川地区町会連合会に属する者
委 員	浅草寿地区町会連合会に属する者
委 員	協同組合浅草商店連合会に属する者
委 員	協同組合浅草おかみさん会に属する者
委 員	東京商工会議所台東支部に属する者
委 員	浅草観光連盟に属する者
委 員	奥浅草観光協会に属する者
委 員	東武鉄道株式会社に属する者
委 員	東京地下鉄株式会社に属する者
委 員	東京都交通局に属する者
委 員	首都圏新都市鉄道株式会社に属する者
委 員	墨田区都市計画部に属する者
委 員	台東区技監
委 員	台東区企画財政部長
委 員	台東区文化産業観光部長
委 員	台東区産業振興担当部長
委 員	台東区危機管理室長
委 員	台東区都市づくり部長
委 員	台東区土木担当部長
委 員	台東区都市づくり部参事

5. 委員会・部会の開催経緯

浅草地区まちづくりビジョン策定委員会設置要綱

別表2（第7条関係）基盤整備部会

基盤整備部会長	学識経験を有する者
基盤整備部会員	
基盤整備部会員	東武鉄道株式会社に属する者
基盤整備部会員	東京地下鉄株式会社に属する者
基盤整備部会員	東京都交通局に属する者
基盤整備部会員	首都圏新都市鉄道株式会社に属する者
基盤整備部会員	東京都公園協会に属する者
基盤整備部会員	国土交通省関東地方整備局東京国道事務所に属する者
基盤整備部会員	東京都都市整備局に属する者
基盤整備部会員	東京都建設局に属する者
基盤整備部会員	墨田区都市計画部に属する者
基盤整備部会員	台東区危機管理室長
基盤整備部会員	台東区都市づくり部長
基盤整備部会員	台東区土木担当部長
基盤整備部会員	台東区都市づくり部参事

別表3（第7条関係）まちづくり部会

まちづくり部会長	学識経験を有する者
まちづくり部会員	
まちづくり部会員	浅草地区観光まちづくり推進協議会に属する者
まちづくり部会員	花川戸まちづくり推進協議会に属する者
まちづくり部会員	浅草六区エリアマネジメント協会に属する者
まちづくり部会員	雷門地区町会連合会に属する者
まちづくり部会員	馬道地区町会連合会に属する者
まちづくり部会員	協同組合浅草商店連合会に属する者
まちづくり部会員	東京商工会議所台東支部に属する者
まちづくり部会員	浅草観光連盟に属する者
まちづくり部会員	奥浅草観光協会に属する者
まちづくり部会員	台東区文化産業観光部長
まちづくり部会員	台東区産業振興担当部長
まちづくり部会員	台東区都市づくり部長

5. 委員会・部会の開催経緯

浅草地区まちづくりビジョン策定委員会名簿

	氏名	役職等	備考	
会長	岸井 隆幸	計量計画研究所 代表理事		
副会長	清水 哲夫	東京都立大学都市環境学部 教授		
委員	加藤 孝明	東京大学生産技術研究所 教授 社会科学研究所特任教授		
	岡村 祐	東京都立大学都市環境学部 准教授		
	西村 亮彦	国土館大学工学部 准教授		
	熊澤 永行	浅草地区観光まちづくり推進協議会 会長		
	富永 照子	協同組合浅草おかみさん会 理事長		
	守山 雄順	浅草寺 執事長		
	飯田 龍生 (橋本 秋信)	雷門地区町会連合会 会長	令和7年6月30日から 令和7年6月18日まで	
	吉原 達雄	馬道地区町会連合会 会長		
	佐藤 明弘	清川地区町会連合会 会長		
	宮森 啓之	浅草寿地区町会連合会 会長		
	稲葉 和保	協同組合浅草商店連合会 理事長		
	二木 忠男 (桑山 征洋)	東京商工会議所台東支部 会長	令和7年11月1日から 令和7年10月31日まで	
	富士 滋美	浅草観光連盟 会長		
	井桁 鳳雄	奥浅草観光協会 代表理事		
	横打 忠 (家村 道人)	東武鉄道株式会社 経営企画本部部長	令和5年4月1日から 令和5年3月31日まで	
	川岸 康人 (田地 朗)	東京地下鉄株式会社 鉄道本部鉄道統括部長	令和5年4月1日から 令和5年3月31日まで	
	近藤 琢哉 (山本 康裕)	東京都交通局 総務部技術調整担当課長	令和5年4月1日から 令和5年3月31日まで	
	木村 久美 (森高 龍平)	首都圏新都市鉄道株式会社 経営企画部長	令和6年7月1日から 令和6年6月30日まで	
	久井 隆司	東京都墨田区 都市計画部長		
	赤星 健太郎 (鹿子木 靖)	台東区技監	令和5年7月1日から 令和5年3月31日まで	
	関井 隆人 (酒井 まり)	台東区企画財政部長	令和6年4月1日から 令和6年3月31日まで	
	上野 守代 (内田 円) (遠藤 成之)	台東区文化産業観光部長	令和7年4月1日から 令和7年3月31日まで 令和5年3月31日まで	
	上野 守代 (佐々木 洋人)	台東区産業振興担当部長	令和5年4月1日から 令和5年3月31日まで	
	杉光 邦彦 (内田 円)	台東区危機管理室長	令和5年4月1日から 令和5年3月31日まで	
	寺田 茂 (松本 浩一)	台東区都市づくり部長	令和5年4月1日から 令和5年3月31日まで	
	原島 悟 (齋藤 洋) (山本 聡)	台東区土木担当部長	令和7年4月1日から 令和7年3月31日まで 令和5年3月31日まで	
	坂本 秀昭 (柳田 努)	台東区都市づくり部参事	令和7年4月1日から 令和7年3月31日まで	
	オブザーバー	太田 裕之 (山田 大輔)	国土交通省都市局まちづくり推進課 国際競争力強化推進官 兼 官民連携推進室長	令和7年7月1日から 令和7年6月30日まで
		林 良太郎 (田中 成興) (角田 陽介)	国土交通省都市局街路交通施設課街路事業調整官	令和6年7月1日から 令和6年6月30日まで 令和5年7月13日まで
		本田 卓 (石井 宏明)	国土交通省関東地方整備局東京国道事務所 所長	令和6年4月1日から 令和6年3月31日まで
		高野 琢央 (栗原 聰夫) (谷内 加寿子)	東京都都市整備局都市づくり政策部土地利用計画課長	令和7年4月1日から 令和7年3月31日まで 令和5年3月31日まで
		大野 誠	東京都都市整備局都市基盤部都市基盤事業調整専門課長	
		牧野 格 (加賀屋 博文)	東京都建設局河川部低地対策専門課長	令和7年4月1日から 令和7年3月31日まで
		中居 貴幸 (遠藤 伸生)	警視庁浅草警察署交通課長	令和7年2月25日から 令和7年2月24日まで
白川 智章 (佐藤 剛)		UR都市機構東日本都市再生本部事業企画部担当部長	令和5年4月1日から 令和5年3月31日まで	

5. 委員会・部会の開催経緯

浅草地区まちづくりビジョン策定委員会基盤整備部会 部会員名簿

	氏名	役職等	備考	
部会長	清水 哲夫	東京都立大学都市環境学部 教授		
部会員	加藤 孝明	東京大学生産技術研究所 教授 社会科学研究所 特任教授		
	横打 忠 (家村 道人)	東武鉄道株式会社 経営企画本部部長	令和5年4月1日から 令和5年3月31日まで	
	川岸 康人 (田地 朗)	東京地下鉄株式会社 鉄道本部鉄道統括部長	令和5年4月1日から 令和5年3月31日まで	
	近藤 琢哉 (山本 康裕)	東京都交通局 総務部技術調整担当課長	令和5年4月1日から 令和5年3月31日まで	
	山本 良司 (増淵 豊)	東京都交通局 建設工務部計画担当課長	令和6年4月1日から 令和6年3月31日まで	
	木村 久美 (森高 龍平)	首都圏新都市鉄道株式会社 経営企画部長	令和6年4月1日から 令和6年3月31日まで	
	荒川 晴夫 (吉原 信貴)	東京都公園協会東京水辺ライン 水辺事業部長	令和7年4月1日から 令和7年3月31日まで	
	遠藤 一彦 (阿久津 正浩)	国土交通省関東地方整備局東京国道事務所 計画課長	令和6年4月1日から 令和6年3月31日まで	
	高野 琢央 (栗原 聰夫) (谷内 加寿子)	東京都都市整備局 都市づくり政策部土地利用計画課長	令和7年4月1日から 令和7年3月31日まで 令和5年3月31日まで	
	大野 誠	東京都都市整備局 都市基盤部都市基盤事業調整専門課長		
	牧野 格 (加賀屋 博文)	東京都建設局 河川部低地対策専門課長	令和7年4月1日から 令和7年3月31日まで	
	久井 隆司	東京都墨田区 都市計画部長		
	杉光 邦彦 (内田 円)	台東区危機管理室長	令和5年4月1日から 令和5年3月31日まで	
	寺田 茂 (松本 浩一)	台東区都市づくり部長	令和5年4月1日から 令和5年3月31日まで	
	原島 悟 (齋藤 洋) (山本 聡)	台東区土木担当部長	令和7年4月1日から 令和7年3月31日まで 令和5年3月31日まで	
	坂本 秀昭 (柳田 努)	台東区都市づくり部参事	令和7年4月1日から 令和7年3月31日まで	
	オブザーバー	太田 裕之 (山田 大輔)	国土交通省都市局まちづくり推進課 国際競争力強化推進官 兼 官民連携推進室長	令和7年7月1日から 令和7年6月30日まで
		林 良太郎 (田中 成興) (角田 陽介)	国土交通省都市局街路交通施設課街路事業調整官	令和6年4月1日から 令和6年3月31日まで 令和5年3月31日まで
		白川 智章 (佐藤 剛)	UR都市機構東日本都市再生本部事業企画部担当部長	令和5年4月1日から 令和5年3月31日まで

5. 委員会・部会の開催経緯

浅草地区まちづくりビジョン策定委員会まちづくり部会 部会員名簿

氏名		役職等	備考
部会長	岡村 祐	東京都立大学都市環境学部 准教授	
部会員	西村 亮彦	国土舘大学工学部 准教授	
	松本 光昭	浅草地区観光まちづくり推進協議会より推薦	
	安田 和章	浅草六区エリアマネジメント協会 代表理事	
	中川 雅雄	雷門地区町会連合会より推薦	
	不破 利郎	馬道地区町会連合会より推薦	
	岩崎 孝俊	協同組合浅草商店連合会より推薦	
	染谷 孝雄	東京商工会議所台東支部より推薦	
	辻 信之	浅草観光連盟より推薦	
	根本 修	奥浅草観光協会より推薦	
	上野 守代	台東区文化産業観光部長	令和7年4月1日から
	(内田 円)		令和7年3月31日まで
	(遠藤 成之)		令和5年3月31日まで
	上野 守代	台東区産業振興担当部長	令和5年4月1日から
	(佐々木 洋人)		令和5年3月31日まで
	寺田 茂	台東区都市づくり部長	令和5年4月1日から
	(松本 浩一)		令和5年3月31日まで

浅草未来図案－まちづくりビジョン－
資料編

令和8年3月発行（令和7年度登録 第●●号）

台東区都市づくり部 地域整備第二課 〒110-8615 東京都台東区東上野4丁目5番6号 電話 03(5246)1366(直通)